Pioneer

DVD レコーダー

DVR-2000

取扱説明書

まず、『最初にお読みください』をお読みください。

メールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての「お客様オンライン登録」をお願いいたします。
ご登録は上記 URL にアクセスしてご利用ください。
上記 URL からメールサービスにもご登録いただきますと各種製品情報をはじめ、
キャンペーン / イベント情報等のご案内をさせていただきます。
（i モード及び一部のインターネット対応携帯電話からもご利用いただけます。）

かならずお読みください

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになった後は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっと役立ちます。

絵表示について

**この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。**

 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

**△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。**

**⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。**

**● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。**

【お知らせ】

**この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。
補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。**

**私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052　東京都港区赤坂５丁目３番６号　赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL 03-3560-3107（代）
FAX 03-5570-2560**

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

安全上のご注意(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告[異常時の処理]

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ CONTENTS

こんなことができます

再生

映画館さながらの迫力ある音声

ドルビーデジタル対応のオーディオ機器につなぐと、立体感にあふれた迫力あるサラウンド音声を楽しむことができます。

見たい場面からすぐに再生（P.26）

DVDはテープのように巻き戻しの必要がないから見たい場面からすぐに再生することができます。見たい場面を探すための機能も豊富に用意されています。

ディスクナビ（P.24）

録画したタイトルを再生するならディスクナビ。各タイトルごとに映像の一部が一覧表示されます。再生したいタイトルを一目で見つけて、簡単に再生することができます。

イントロ再生（P.35）

録画したタイトルのチャプターの冒頭部分だけを連続再生します。編集機能でチャプターマーク（区切り）を入れておけば、ドラマのあらすじを見ることができます。

※マークが付いているディスクをセットした場合に行うことができます。

録画

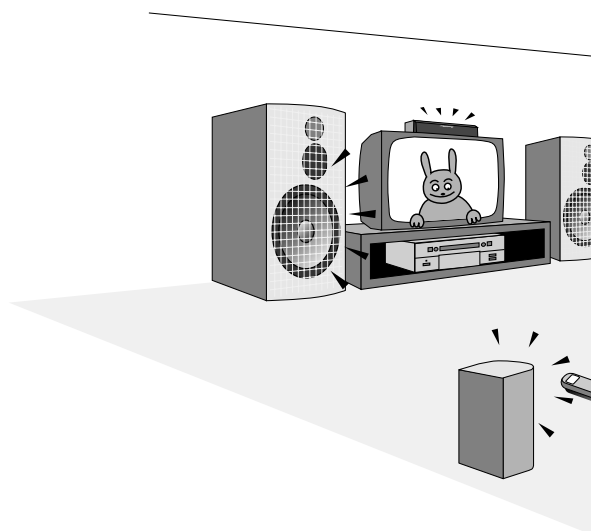
予約は最大8番組まで（P.55/61）

予約画面で日時やチャンネルを設定するのが通常のタイマー予約録画。Gコード予約なら番組欄の数字（Gコード番号*）を入力するだけの手間いらずです。

ワンタッチ録画（P.54）

いまから30分、いまから60分、と録画時間を決めて録画するのがワンタッチ録画。
予約録画中でも、いったん予約録画を中止してから、続けてワンタッチ録画に移ることができます。スポーツ中継の延長で後ろにずれ込んだ番組の予約録画を延長するときに便利です。

ディスク予約録画（P.63）

ディスクに予約機能を持たせてしまうのがディスク予約録画。私だけのMｙディスクを作りたいときや定期的に同じ番組を録画するときに便利です。

ジャスト録画（P.118）

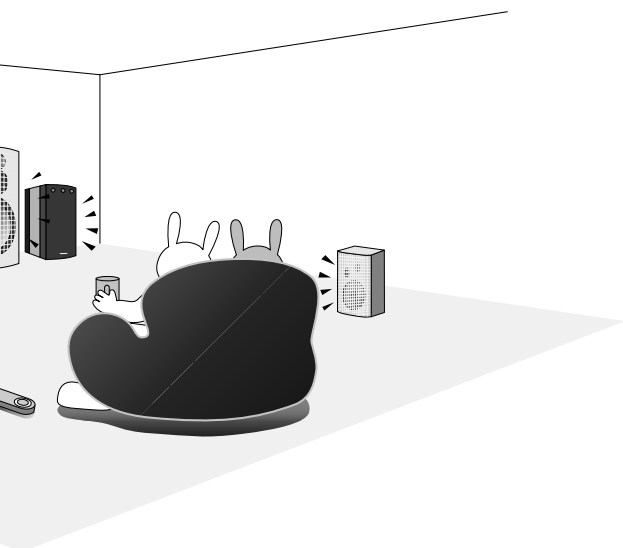
ディスクの空き時間と予約録画に必要な時間を比較して、空き時間が足りない場合、自動的に録画レートレベルを計算、録画する機能があります。出荷時の設定は「オフ」になっています。

CS録画（P.68）

録画用のディスクをセットし、CS 録画機能をオン。CSチューナー側でタイマー予約をセットしておくだけで、CS チューナーからの映像信号をキャッチして自動的に録画を開始し、映像信号が無くなると終了します。

映像の入力／出力

デジタルビデオカメラと接続（P.71）

DV端子を持つデジタルビデオカメラの映像を取り込み、編集、保存することができます。また、本機で録画した映像を出力することもできます。

編集

大切な映像はそのままだから安心（P.73）

本機では、実際に録画したタイトル（オリジナル）には手を加えない編集方法を採用。
オリジナルをもとに、編集用のタイトル（プレイリスト）を作成してから編集します。プレイリストを再生すると、まるでオリジナルを編集したように映像が再生されます。

チャプターマーク（P.34）

指定した場面にチャプターマーク（区切り）を付けます。イントロ再生ができるようになったり、チャプタースキップ機能で見たい場面が探しやすくなります。

A-B消去/移動/追加

範囲を指定して場面を消去したり、別の場所へ移動したり、オリジナルからプレイリストにタイトルを追加したりして好みのプレイリストを作成します。

互換性

ビデオモードなら他のDVDプレーヤーでも再生

ビデオモードで録画したディスクは、他の DVD プレーヤーでも再生できるようになります。
※ 再生できないプレーヤーもありますので、ご注意ください。

＊Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

お使いになる前に

本書の読み方

本書は『最初にお読みください』をご覧になり、本機の接続や設置などすべての準備作業が終わってからお読みいただく説明書です。
まずは、目次をご覧になり、操作に必要なページを探してからお読みください。本書に記載されているおもな内容は以下のとおりです。

本機能で扱うことができるディスクを示します。

DVD-RWディスクには、「VRモード」「ビデオモード」の２種類の記録方式がありますので、下記のように表記します。

記録方式については、P.11をお読みください。

記録方式については、P.11をお読みください。

- （VRモード RW）・・・VRモードのDVD-RWディスクのみ。
- （ビデオモード RW）・・・ビデオモードのDVD-RWディスクのみ。
- （RW）・・・どちらかのモードのDVD-RWディスク。

例）DVD-VIDEO、DVD-RおよびDVD-RW（ビデオモード）で扱うことができます。

操作・機能のおもな概要です。

本機能の見出しです。目次からも探していただけます。

本手順で操作する画面を示します。実際にはテレビ画面に表示されます。

操作のおもな概要です。

本体またはリモコンのボタンを表し、そのボタンを「押す」ことを意味します。

実際に操作するときの方法を示します。

リモコンで操作する場合のボタン位置と相当する手順番号です。

本機能が属する章タイトルです。見たいページを探すときにお使いください。

知ってて便利!　知っておくと便利なことがらを紹介します。

使用上の注意

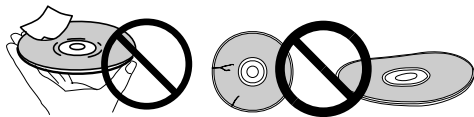
ディスクの取り扱いかた

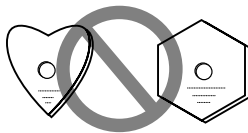
保管

- かならずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書はかならずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、画質や音質が低下することがあります。付属のクリーニングクロスで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。なお、付属のクリーニングクロスが汚れた場合は、繰り返し洗濯してご使用いただけます。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。**特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。**

特殊な形のディスクについて

- 本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は「保証とアフターサービス」(132ページ)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。**市販されているクリーニングディスクを使用すると、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。**

ディスクの結露について

冬期など、ディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだときにディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると録画や再生が正常にできない場合があります。その時はディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

録画について

- 大切な録画の場合には、DVD-RWディスク(VRモード)でかならず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 万一、本機やDVD-RW、DVD-Rディスクの不都合によって、または停電や結露などの外部要因などによって録画できなかった場合、録画内容の補償やそれに付随する損害について、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。
- ビデオモードで録画した場合は、編集操作が制限されます。

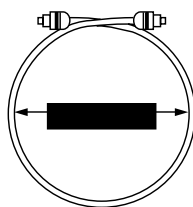
DVD-RW、DVD-Rディスクについて

- **本機では、録画用としてDVD-RW、DVD-Rディスクを使用します。DVD-RW、DVD-Rディスクはホコリや指紋、特に傷などに敏感です。傷などがつくと録画できなくなる場合または録画した大事なデータを再生できなくなる場合がありますので、取り扱いには十分に注意し、大切に保管してください。**

著作権について

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及び、それに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- 本機は、複製防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のディスク(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクは再生することができません。
- 本機では、1世代のみコピーすることを許可された映像素材は録画できません。
- 本機では、1世代のみコピーすることを許可された映像素材を録画したDVD-RW、DVD-Rディスクは再生できません。

別売りの光ファイバーケーブル取扱上のご注意

- 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- 長さが3m以下のものを使用してください。
- プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

ディスクの持ちかた

両手で持つ場合	
片手で持つ場合	

DVDについて

使用できるディスク

- 本機は下記のディスクをアダプターなしで、再生、録画することができます。
- 下記に表示されているマークは、ディスクレーベルまたはディスクジャケットに表示されています。
- 下表以外のディスクは使用できません。
- CD、CD-R/CD-RW は、本機では録音、再生できません。

ディスクの種類とマーク	大きさ / 再生面	最大再生 / 録画時間
DVD-VIDEO（再生のみ）	12cm/ 片面 1 層 2 層 12cm/ 両面 1 層 2 層	133 分(4.7GB) 242 分(8.5GB) 266 分(9.4GB) 484 分(17GB)
	8cm/ 片面 1 層 2 層 8cm/ 両面 1 層 2 層	41 分 75 分 82 分 150 分
DVD-RW（再生 / 録画）	12cm/ 片面 1 層 8cm/ 片面 1 層	本機 VR モードで使用した場合 最大約 360 分(4.7GB) 最大約 100 分(1.46GB)
DVD-R（再生 / 録画）	12cm/ 片面 1 層 8cm/ 片面 1 層	本機 V2 モードで使用した場合 最大約 120 分(4.7GB) 最大約 30 分(1.46GB)

- **DVD-VIDEO は、市販またはレンタルなどで入手することができるディスクで、再生専用です。**
- **DVD-RW は、本機の録画用ディスクです。録画した DVD は、本機で再生したり、編集したりすることができます。本機をお買い求めになった販売店などでご購入ください。**
- **本機で録画した DVD-RW（VR モード）は、通常の DVD-VIDEOプレーヤーでは再生できません。RW対応プレーヤーで再生可能です。**
- **DVD-R は、本機の録画用ディスク（ビデオモード録画のみ）です。録画した DVD は本機で再生することができますが、編集することはできません（タイトル消去、ディスク名、タイトル名変更を除く）。本機をお買い求めになった販売店などでご購入ください。**
- **本機で録画した DVD-R または DVD-RW（ビデオモード）ディスクは、ファイナライズ（P.123）することで、他の DVD-VIDEO プレーヤーで再生できるようになります（Ver.1.0 の DVD-RWディスクはビデオモードでの操作を行うことができません）。**

注意！ **すべてのプレーヤでの再生を保証する機能ではありませんので、再生できないプレーヤーもあります。**
一部のプレーヤーでは、DVD-R ディスクまたは DVD-RW（ビデオモード）を再生しようとしたとき以下のような動作を起こすことがあります。
・ディスクを受けつけない。
・再生画面にマクロブロック（モザイク状の画像）が多く発生する。
・音声・映像がとぎれる。
・再生が途中で停止する。

ディスクと記録方式

ディスクの種類	フォーマットの種類	記録方式	機能
DVD-VIDEO	ビデオフォーマット	-	再生のみ
DVD-RW (Ver1.0)	ビデオレコーディングフォーマット	VRモード	再生・録画・フル編集（プレイリスト／オリジナルの編集）
DVD-RW (Ver1.1)	ビデオレコーディングフォーマット（初期状態）	VRモード	再生・録画・フル編集（プレイリスト／オリジナルの編集）
	↑↓ビデオモード（初期設定のメニューの「ディスク設定」からモード変更可能。）※記録内容は全て消去されます		
	ビデオフォーマット※2	ビデオモード※1	再生・録画（一部除く）・一部編集（ビデオモードでの編集）
DVD-R	ビデオフォーマット	ビデオモード※1	再生・録画（一部除く）・一部編集（ビデオモードでの編集）

※1 ビデオモード：ファイナライズ後は他プレーヤーで再生可能
※2 DVD -RWディスクへのビデオフォーマット録画はVer1.1以降にのみ可能です。Ver1.0のRWディスクへの録画はVRフォーマットのみとなります。

ビデオモードについて

ビデオモードとは、市販のDVD-VIDEOディスクと互換性がある状態をさします。本機で録画した映像を本機以外のDVD プレーヤーで再生するときにご利用いただけます*。
なお、本機で扱うことのできる録画用 DVD-R ディスクおよびビデオモードの DVD-RW ディスクは、ビデオモードのみの録画や再生操作を行うことができます。

* すべてのプレーヤーで再生できる機能ではありませんのでご注意ください。再生できないプレーヤーもあります。また、ファイナライズを行わないと本機以外のプレーヤーで再生することはできません。

- **録画用DVD-Rディスクは、ビデオモードでのみ操作することができます。**
- **ビデオモードでは、編集操作（タイトル消去、ディスク名変更、タイトル名変更を除く）を行うことはできません。**
- **Ver.1.0のDVD-RWディスクはビデオモードの録画を行うことができません。Ver.1.1 以降のディスクを使用してください。**

VR モードについて

DVD-RW ディスクの基本フォーマットは、ビデオレコーディングフォーマット（VR モード）です。
一度も録画していない DVD-RW ディスクを本機にセットすると、最初に VR モードで初期化が行われます。
録画、編集はVRモードで行われます。VRフォーマットのディスクをビデオフォーマットに変更することができます（この際、VR モードで録画した内容は全て消去されます）。
本取扱説明書中の VR モードは、ビデオレコーディングフォーマットでの録画の SP（標準モード）と MN（マニュアルモード）を合わせた呼び方です。
VR モードでの録画、編集は DVD-RW ディスク（Ver1.0、1.1 〜共）で可能です。
DVD-R ディスクへの録画は、ビデオモードのみとなります。

VR モードとビデオモードに対応するディスク

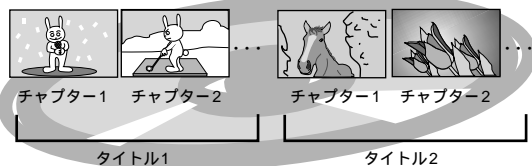
モード	DVD-R Ver2.0〜	DVD-RW Ver1.0	DVD-RW Ver1.1〜
VRモード	—	○	○
ビデオモード	○	—	○

ディスクの操作について

DVD-VIDEO では、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止したりしているものがあります。このため、ディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作が出来ないことがあります。本機では、ディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に禁止マークを表示します。また、メニューや再生中の操作によって対話的な操作が可能になっているようなディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作が出来ないことがあります。このような場合も本機では画面に禁止マークを表示します。

.... 本機による禁止マーク
.... ディスクによる禁止マーク
...... DVD-VIDEO の情報を読み出しているときに表示されます。

タイトルとチャプターについて

DVDでは、ディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、DVD-VIDEOに記録されているメニューの中には、どのタイトルにも属していないものもあります。
DVD-VIDEOの映画などでは、普通 1 つの映画が 1 タイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。

- DVD-RW ディスクに VR モードで録画した場合
  1回の録画が1タイトル(＝1チャプター)となります。録画の途中で一時停止をしたり、編集操作で指定範囲を消去したりすると、チャプターマーク（区切り）が自動的に入ります。また、録画・再生中に好みの場面にチャプターマークを入れることもできます（P.34）。
- ビデオモード（DVD-R ディスクまたは DVD-RW ディスク）で録画した場合
  1 回の録画が 1 タイトルとなります。
  3 分ごとに自動的にチャプターマークが入ります。（好みの場面にチャプターマークを入れることはできません。）

ファイナライズについて

ビデオモードで録画したディスクは、すべての録画を完了した時点で「ファイナライズ」処理を行ってください。ファイナライズを行うことで録画したディスクを市販のDVDプレーヤーで再生することができます*1。また、ファイナライズを行うことで、DVD プレーヤーのメニュー・ボタンで動作するメニューが自動的に作成されます（P.25）。

ビデオモードのディスクをファイナライズすると、一切の録画、編集操作ができなくなります。VR モードで録画した DVD-RW ディスクが他の DVD-RW 対応プレーヤーで再生されない場合にもファイナライズを行い、再生できるようにします。本機ではVR モードのディスクをファイナライズしたあとも通常通り録画、編集操作を行うことができます。（P.123）

*1　すべてのプレーヤーで再生できる機能ではありませんのでご注意ください。再生できないプレーヤーもあります。
また、ファイナライズを行わないと本機以外のプレーヤーで再生することはできません。

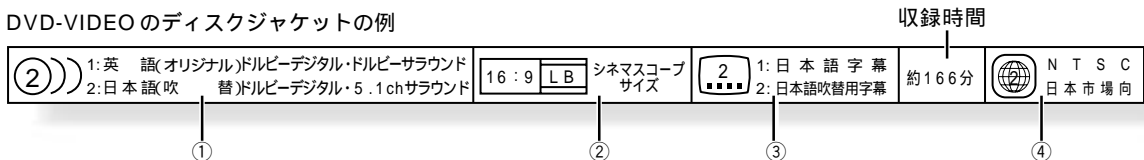
オリジナルとプレイリストについて

オリジナルとプレイリストは、VR モードで録画したDVD-RWディスクの映像を編集するときに使われる用語です。録画した1つのタイトルを「オリジナル」、オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。詳しくは、「編集（P.73）」をお読みください。

DVD-VIDEO のディスクジャケットの表記について

**DVD-VIDEO のディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、その DVD がどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは DVD-VIDEO のディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。**

DVD-VIDEO のディスクジャケットの例

②))) 1:英　語 (オリジナル) ドルビーデジタル・ドルビーサラウンド 2:日本語 (吹　替) ドルビーデジタル・5.1chサラウンド	16：9 LB シネマスコープサイズ	2 1:日本語字幕 2:日本語吹替用字幕	約166分	② NTSC 日本市場向
①	②	③	収録時間	④

① **音声トラック数**
：DVD-VIDEO は最大 8 言語を記録することができます。
②)))は言語数を表し、上記の場合、英語と日本語の 2 言語で記録されていることを示します。

音声トラック方式
：音声の記録方式を表します。
この場合、テレビにつないでいるときは、通常のステレオ放送として音声を聞きますが、ドルビーデジタル対応のアンプをつないでいるときは、臨場感あふれる音声を楽しむことができます。

●ステレオ
通常のステレオで記録されています。

● 5.1ch サラウンド
ドルビーデジタル5.1chサラウンド方式の音声が記録されています。

●ドルビーサラウンド
ドルビープロロジック方式の音声が記録されています。

● dts サラウンド
最新のサラウンド方式で、DVD-VIDEOのオプション音声フォーマットとして認められています。

●リニア PCM
音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD-VIDEO の場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHz などの表示があることもあります。

② **映像の左右を圧縮し、16：9 の画面サイズで記録されています。テレビの種類に合わせて本機の設定をうまく合わせておくとシネマスコープサイズの映像を楽しむことができます（『最初にお読みください』P.39）。**

③ **DVD-VIDEO では、最大 32 言語までの字幕を記録することができます。ディスクに記録されている字幕の言語数と言語の種類を示しています。本機でも字幕の言語を切り換えることができます（P.40/112）。**

④ **世界を 6 つの販売地域に分け、プレーヤーとディスクに各地域ごとの再生可能地域 ID（リージョン No.）を設定しています。日本の ID は「2」で、本機もリージョン No. が「2」が含まれている、または「ALL」以外の DVD は再生することができませんので、ご注意ください。**

その他のマーク

ドルビーデジタル * の音声圧縮技術を使用していることを示しています。

DTSは米国ＤＴＳ社が開発した映画用音声記録方式「ＤＴＳサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットのことです。**

舞台中継やスポーツ中継などでは複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVD-VIDEOでは最大9つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVD-VIDEOでは同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます（P.41）。

*　ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

**　DTS は米国 Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。米国 Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

DV端子について

接続機器について

本機前面のDV端子を使用して、DV方式のビデオカメラ・ビデオデッキと接続することができます（機種によってはできないものもあります）。本機はi.LINK＊を利用して、接続した機器と映像や音声を簡単にやりとりすることができます。

＊i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、映像・音声・データ信号・コントロール信号を入出力し、他機のコントロールを行うことが出来る機能です。
＊i.LINKはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様を示す呼称、i.はi.LINKに準拠した製品につけられるロゴです。
＊i.LINK、i.は商標です。

- **本機のDV端子はDV方式（DVC-SD信号）の信号のみを入出力できます。デジタルCSチューナー、BSデジタルチューナー、D-VHSデッキなどは方式が違うため入出力はできません。**
- **DV端子を使って他の機器から本機を操作することはできません。**
- **DV端子で本機2台を接続しても、もう一方を操作することはできません。**
- **DV出力音声（P.103）を切り換えたとき、機器によってはノイズが入る場合があります。**

DV取込について

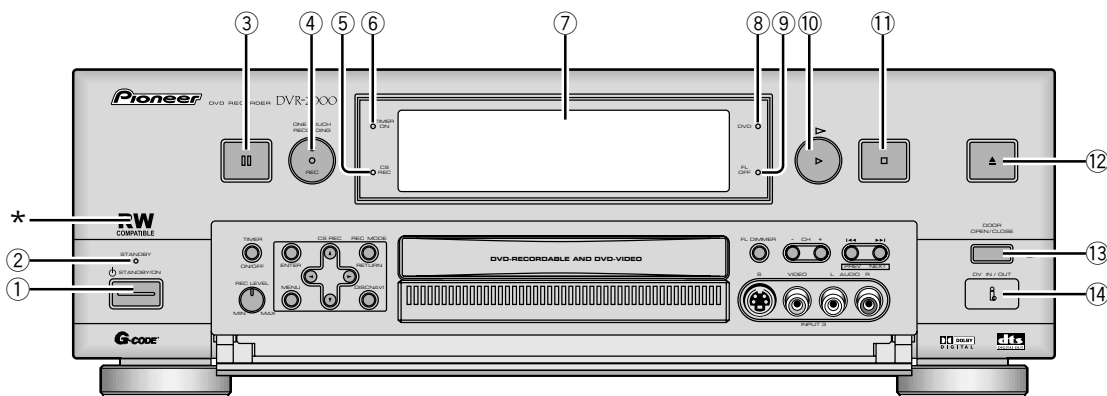
DV取込（P.70）は、接続した機器からの映像を本機のディスクに簡単に録画できる機能です。本機のボタンを使って、接続したビデオカメラなどを操作することができます。

- **コピーガードが含まれている映像は録画できません。**
- **日付、時刻の情報、カセットメモリの内容を記録することはできません。**

●取込時の注意

取込中に以下のような状態になると、異常な映像が記録されることがあります。
・接続した機器が無録画部分を再生したとき
・途中でDVケーブルを抜いたり、ビデオカメラの電源を切ったりしたとき
・ビデオカメラの再生を中止したとき
DV取込がうまくいかないときは「困ったとき!?」（P.126）、取込中の画面表示については「テレビ画面や本体表示窓にこんな表示が出たら」（P.128）をご覧ください。

各部のなまえと働き

本体（前面部）

※ 前面ドアを開いた状態です。

①「STANDBY/ON」スイッチ
電源スイッチです。

②「STANDBY」インジケーター
本機が電源オフのときに点灯し、電源がオンのときは消灯します。

③ 一時停止(II)ボタン
録画、再生をポーズ（一時停止）します。

④ 録画 / ワンタッチ録画 (REC/ONE TOUCH RECORDING)ボタン (P.53/54)
1回押すと録画を開始し、停止ボタンを押さないかぎりディスクの終わりまで録画をします。さらに録画中に1回押すと30分後、2回押すと1時間後に録画を停止します。30分単位で6時間まで録画設定が可能です。

DVD-R ディスクで録画する場合、ボタンを２回押して録画を開始します（詳しくは、P.51 を参照）。

⑤「CS REC」インジケーター(P.69)
「CS REC」をオンにしたときに点灯します。

⑥「TIMER ON」インジケーター(P.59/60/62/65/67)
予約録画をオンにしたときに点灯します。

⑦ 本体表示窓(P.17)

⑧「DVD」インジケーター
本機にディスクがセットされているときに点灯します。

⑨「FL OFF」インジケーター
「FL DIMMER」ボタンを操作して表示窓が消灯すると点灯します。

⑩ 再生(▷)ボタン
再生を開始します。

⑪ 停止(□)ボタン
録画、再生を終了します。

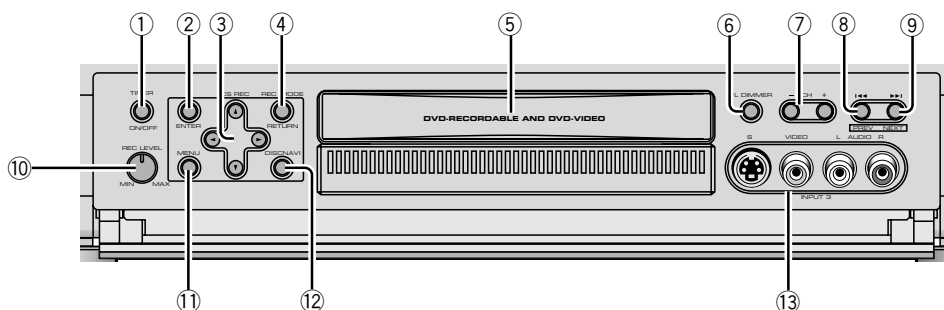
⑫ ディスクテーブル開閉(≜)ボタン
前面ドアが閉じているときに押すと、ドアが開きディスクテーブルが出てきます。ディスクテーブルが出ているときに押すとテーブルが閉まり、ドアも閉じます。

⑬「DOOR OPEN/CLOSE」ボタン / リモコン受光部（SR）
前面ドアを開閉します。このボタンはリモコン受光部も兼用していますので物などでふさがないでください。

⑭ 外部「DV IN/OUT」DV 端子（i.LINK、IEEE1394）
外部入力／出力 4 としてお使いください。
デジタルビデオカメラを接続し、映像・音声を入出力します。

・i.LINK は IEEE1394-1995 仕様およびその拡張仕様を示す呼称、i は i.LINK に準拠した製品につけられるロゴです。
・i.LINK、i は商標です。

＊ DVD レコーダーでビデオレコーディングフォーマットで記録された DVD-RW ディスクが再生できる機能を示します。
本機でビデオレコーディングフォーマットで録画した DVD-RW ディスクは、この表記のある DVD プレーヤーで再生が可能です。

本体（前面ドア内部）

①「TIMER ON/OFF」ボタン
予約録画をオンにする、または予約録画の録画中に予約録画を解除します。

②「ENTER」ボタン
メニューや設定画面などで、入力「決定」ボタンになります。

③「CS REC (▲)」ボタン (P.69) カーソルボタン(▲/►/▼/◄)
外部入力２にCSチューナーが接続されているとき、CS 録画機能をオンにします。
メニューや設定画面などでは、設定項目を選択するときにカーソルボタン(▲/►/▼/◄)で上下左右に動かします。

「CS REC」ボタンを押して CS 録画機能がオンになると、自動的に本機の電源がオフになり、ドアも閉まります。

④「REC MODE」ボタン(P.53)「RETURN」ボタン
録画モードを切り換えます。一度押すと現在の設定が表示されます。DVD-RWディスクの場合表示中にさらに押すと標準（SP）とマニュアル（MN）が交互に切り換わります。
ビデオモード（DVD-Rディスク）の場合表示中にさらに押すと、V1（１時間）とV2（２時間）が交互に切り換わります。
メニューや設定画面などでは、[↶]ボタンの操作になります。

⑤ ディスクテーブル
DVD をセットします。

⑥「FL DIMMER」ボタン
本体表示窓の明るさを３段階に調節し、消灯します。消灯状態で電源オフすると待機中の消費電力を節約することができます。

⑦「CH ー ＋」ボタン
レコーダー内蔵のチューナーおよび外部入力のチャンネルを選びます。VHF/UHF/CATV/BS/外部入力の順に切り換わります。

⑧「PREV」(|◄◄)ボタン(P.27)
タイトルやチャプターの頭出しをします。
メニューや設定画面などでは、[前頁]ボタンになります。

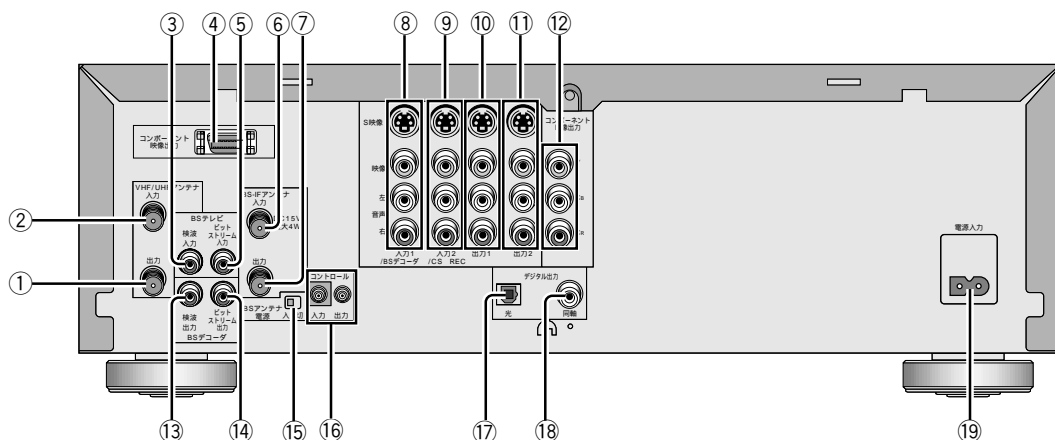
⑨「NEXT」(►►|)ボタン(P.27)
タイトルやチャプターの頭出しをします。
メニューや設定画面などでは、[次頁]ボタンになります。

⑩「REC LEVEL」ツマミ(P.50)
入力音声レベルを調節します。

⑪「MENU」ボタン
DVD-VIDEO のメニューを呼び出します。
ビデオモードの場合、タイトルのリストを表示します。

⑫「DISC NAVI」ボタン(P.24)
ディスクナビの画面を呼び出します。

⑬「INPUT 3」外部入力３端子
アナログビデオカメラなど外部機器からの映像・音声信号を入力します。接続中、ドアは閉じません。

本体（後面部）

①「VHF/UHF アンテナ出力」端子
テレビの VHF/UHF アンテナ入力と接続します。

②「VHF/UHF アンテナ入力」端子
アンテナ線を接続します。

③「検波入力」端子
BSチューナー内蔵テレビからの検波出力と接続します。

④「D1」端子
D 映像入力端子付きのテレビと接続すると、より一層きれいな映像がご覧いただけます。

⑤「ビットストリーム入力」端子
BSチューナー内蔵テレビからのビットストリーム出力と接続します。

⑥「BS-IF アンテナ入力」端子
BS アンテナ線を接続します。

⑦「BS-IF アンテナ出力」端子
BSチューナー内蔵テレビのBSアンテナ入力と接続します。

⑧ 外部「入力 1/BS デコーダ」端子
通常の外部入力 1 としてお使いください。
WOWOWを受信するときには、別売のBSデコーダの映像・音声出力と接続します。

⑨ 外部「入力 2/CS REC」端子
通常の外部入力 2 としてお使いください。
CS 放送を受信するときには、別売のデジタル CS チューナーからの映像・音声出力と接続します。

⑩「出力 1」端子
テレビや AV アンプに映像・音声信号を出力します。

⑪「出力 2」端子
テレビや AV アンプに映像・音声信号を出力します。

⑫「コンポーネント映像出力」端子
コンポーネント映像入力端子付きのテレビと接続すると、よりきれいな映像がご覧いただけます。

⑬「検波出力」端子
WOWOWを受信するために、別売のBSデコーダと接続します。

⑭「ビットストリーム出力」端子
WOWOWを受信するために、別売のBSデコーダと接続します。

⑮「BS アンテナ電源」スイッチ
BS アンテナへの電源の供給を「入 / 切」します。

⑯ SR「コントロール入力 / 出力」端子
SR マークの付いたパイオニア製 AV アンプなどにつないで、AVアンプなどのリモコンで本機を操作できます。市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし、∅3.5）を使って、本機のコントロール入力端子とAVアンプなどのコントロール出力端子と接続します。

⑰「光 デジタル出力」端子
音声信号を光デジタル出力します。デコーダ内蔵AVアンプなどの光デジタル入力端子と接続します。使用しないときはキャップをしてください。

⑱「同軸 デジタル出力」端子
音声信号を同軸デジタル出力します。デコーダ内蔵 AV アンプなどの同軸デジタル入力端子と接続します。

⑲「電源入力」
ご家庭の電源コンセントと接続します。

本体表示窓

① セットしたディスクがディスク予約の時に表示されます。（P.65）

② 録画モードの種類を表示します。（P.53/56/61）
・VR モードの場合
SP .... 標準モード
MN .... マニュアルモード
・ビデオモードの場合
V1 .... 1時間
V2 .... 2時間

③ 録画中であることを表示します。

④ 入力音声レベルを表示します。ディスク再生中は表示しません。

⑤ 動作インジケータ（P.18）
録画や再生の動作状態を表示します。

⑥ 再生中であることを表示します。

⑦ マルチアングルの場面を再生していることを表示します。

⑧ サンプリング周波数が96kHzのDVD-VIDEOを再生しているときに表示します。

⑨ セットされているディスクの種類を表示します。
RW .... DVD-RW
R .... DVD-R
非表示 .... DVD-VIDEO

⑩ プレイリストを扱う状態に切り換わっていることを表示します。

⑪ 日付、操作時の機能、再生中のタイトルやチャプター番号などの情報を表示します。

⑫ ドルビーデジタルで再生していることを表示します。

⑬ ラストメモリーを記憶中であることを表示します。

⑭ 再生の設定（コンディション）が記憶されているディスクの時に表示します。

⑮ BS放送のAモード独立音声を受信している時に表示します。（BS5 チャンネルの St. GIGA（有料）など）

⑯ ステレオ放送を受信している時に表示します。

⑰ 2カ国語放送を受信・再生している時に表示します。
L .... 主音声出力時
R .... 副音声出力時
L R .... 主音声 + 副音声出力時

⑱ BS..... BS 放送を受信している時に表示します。
B .... BS 放送の B モード音声を受信している時に表示します。

⑲ 表示チャンネルを表示します。

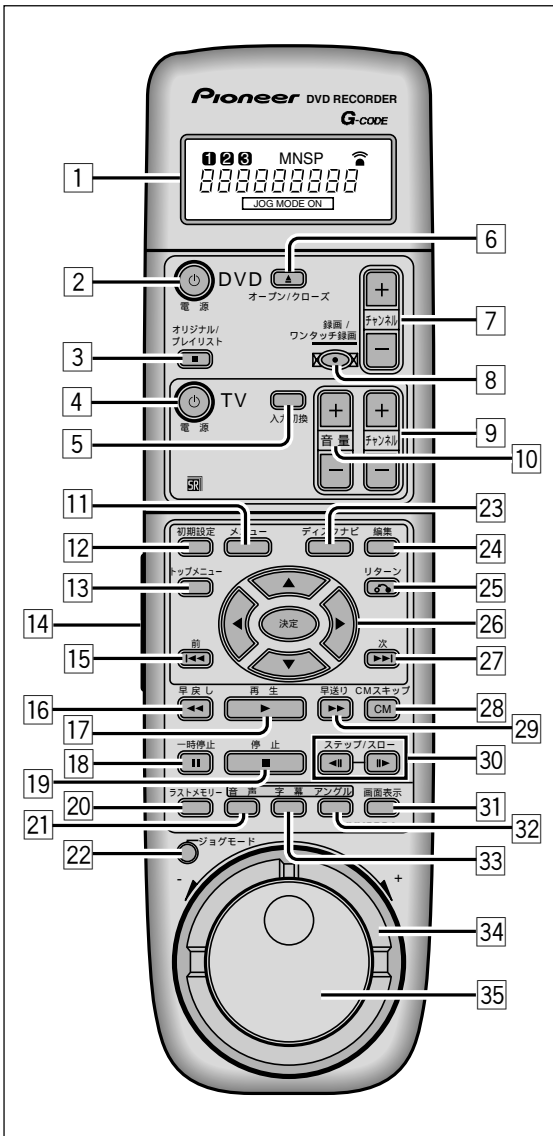
⑳ カウンタ
現在時刻や再生、録画時の経過時間、操作時の機能などの情報を表示します。動作インジケータ（P.18）も参考にしてください。

動作インジケータ（本体表示窓内）

本機の動作状態にあわせ、動作インジケータの色や動作が変わります。
外周は、再生、録画時の状況によって、速度や回転方向が変わります。
内周は、[画面表示]ボタンの操作で変わるテレビ画面に表示されるディスク情報（P.48）とカウンタの表示内容にそった時間が表示されます。

<table>
<tr><td rowspan="6">再
生
中</td><td colspan="4">外周（白色）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">動 作 状 況</td><td>動 作 表 示</td></tr>
<tr><td>VR モード
ビデオモード</td><td colspan="2">停止
通常再生
一時停止
スロー再生（→）
早送り（スキャン）
スロー再生（←）
早戻し（スキャン）</td><td>表示オフ
正転（中速）
点滅
正転（低速）
正転（高速）
逆転（低速）
逆転（高速）</td></tr>
<tr><td colspan="4">内周（白色）</td></tr>
<tr><td></td><td>ディスク情報の表示</td><td>動作表示</td><td>カウンタ表示</td></tr>
<tr><td>ビデオモード</td><td>非表示
48 ページⒶ
48 ページⒷ
48 ページⒸ
48 ページⒹ
48 ページⒺ</td><td>再生タイトルを円全体としたときの経過時間
再生タイトルを円全体としたときの経過時間
再生チャプターを円全体としたときの経過時間
再生タイトルを円全体としたときの残り時間
再生タイトルを円全体としたときの経過時間
再生タイトルを円全体としたときの経過時間</td><td>タイトル経過時間
タイトル経過時間
チャプター経過時間
タイトル残り時間
タイトル経過時間
タイトル経過時間</td></tr>
<tr><td></td><td>VR モード</td><td>非表示
48 ページ🅐
48 ページ🅑
48 ページ🅒
48 ページ🅓
48 ページ🅔</td><td>再生タイトルを円全体としたときの経過時間
再生タイトルを円全体としたときの経過時間
再生タイトルを円全体としたときの残り時間
再生タイトルを円全体としたときの経過時間
再生タイトルを円全体としたときの経過時間
再生タイトルを円全体としたときの経過時間</td><td>タイトル経過時間
タイトル経過時間
タイトル残り時間
タイトル経過時間
タイトル経過時間
タイトル経過時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="6">録
画
中</td><td colspan="4">外周（赤色）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">動 作 状 況</td><td>動 作 表 示</td></tr>
<tr><td>VR モード
ビデオモード</td><td colspan="2">停止
通常録画
一時停止</td><td>表示オフ
正転（中速）
点滅</td></tr>
<tr><td colspan="4">内周（赤色）</td></tr>
<tr><td></td><td>ディスク情報の表示</td><td>動作表示</td><td>カウンタ表示</td></tr>
<tr><td>VR モード
ビデオモード</td><td>非表示
１ページ目
２ページ目</td><td>録画開始時の空き時間を円全体としたときの経過時間
録画開始時の空き時間を円全体としたときの経過時間
録画開始時の空き時間を円全体としたときの空き時間</td><td>タイトル経過時間
タイトル経過時間
ディスクの空き時間</td></tr>
</table>

リモコン

1 **リモコン表示窓**
Gコード番号やリモコン番号を入力するときに表示されます。

2 **「DVD 電源」ボタン**
本機の電源をオン / オフします。

3 **「オリジナル / プレイリスト」ボタン（P .74）**
オリジナルとプレイリストを切り換えます。
一度押すと現在の状態を表示し、表示中にもう一度押すと切り換わります。

4 **「TV 電源」ボタン***
テレビの電源をオン / オフします。

5 **「入力切換」ボタン***
テレビの入力切り換えを行います。

6 **「オープン / クローズ」ボタン**
ディスクテーブルの開閉ボタンです。本体前面部の(▲)ボタンと同じです。

7 **「チャンネル」ボタン**
本機のチャンネルを切り換えます。

8 **「録画 / ワンタッチ録画」ボタン（P .54）**
録画を開始します。また、録画中はワンタッチ録画を設定します。
＊ DVD-R ディスクで録画する場合はボタンを 2 回押して録画を開始します。

9 **TV「チャンネル」ボタン***
テレビのチャンネルを切り換えます。

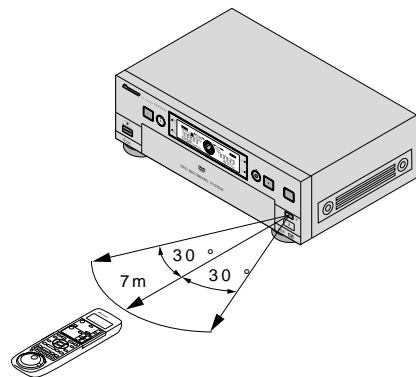
10 **TV「音量」ボタン***
テレビの音量を調節します。

11 **「メニュー」ボタン**
DVD-VIDEO のメニューを呼び出します。
ビデオモードの場合、タイトルのリストを表示します。

＊ 4、5、9、10 は、リモコンにテレビのメーカーを設定してからお使いください（「最初にお読みください」P.41 参照）。

リモコンの操作

リモコンはレコーダー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。レコーダーからリモコンの距離は7m以内、またリモコン受光部を基準にして左右30˚までの範囲で操作できます。

● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。
● 後面のコントロール入力端子が他の機器に接続されている場合（P.16 参照）は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。

⑫ **「初期設定」ボタン**
本機停止中は「初期設定」画面を、ディスク再生中は「画質設定」画面などを呼び出します。

⑬ **「トップメニュー」ボタン**
DVD-VIDEOの最上層のメニューを表示します。無ければ表示しません。
ビデオモードの場合、タイトルのリストを表示します。

⑭ **ライティングボタン**
約5秒間点灯します。(⑯⑰⑱⑲㉘㉙㉚のボタン)

⑮ **「前 |◀◀」ボタン(P.27/75/101)**
タイトルやチャプターの頭出しをします。
設定画面などでは、前のページに戻ります。

⑯ **「早戻し ◀◀」ボタン(P.26)**
早戻しをして、見たい場面を探します。

⑰ **「再生 ▶」ボタン**
再生を開始します。

⑱ **「一時停止 II」ボタン**
録画、再生を一時停止します。

⑲ **「停止 ■」ボタン**
録画、再生を終了します。

⑳ **「ラストメモリー」ボタン(P.32)**
あとから続きを再生したいときに、その場面を記憶します。

㉑ **「音声」ボタン(P.41)**
音声を切り換えます。一度押すと現在の状態を表示します。表示中さらに押すと切り換わります。

㉒ **「ジョグモード」ボタン(P.31)**
ジョグモードをオン/オフします。オン/オフはリモコン表示窓で確認できます。

㉓ **「ディスクナビ」ボタン(P.24)**
ディスクナビの画面を呼び出します。

㉔ **「編集」ボタン(P.75)**
編集画面を呼び出します。

㉕ **「リターン」ボタン**
ひとつ前の画面に戻ります。

㉖ **カーソルボタン(▲・▼・◀・▶)および「決定」ボタン**
カーソルボタン(▲・▼・◀・▶)は設定画面などで項目の選択などを行います。
決定ボタンは選択した項目を決定します。

㉗ **「次 ▶▶|」ボタン(P.27/75/101)**
タイトルやチャプターの頭出しをします。
設定画面などでは、次のページに進みます。

㉘ **「CMスキップ」ボタン(P.29)**
再生中、押すごとに30秒先をサーチします。CM部分をとばしたいときに便利です。

㉙ **「早送り ▶▶」ボタン(P.26)**
早送りをして、見たい場面を探します。

㉚ **「ステップ/スロー ◀II II▶」ボタン(P.30/31)**
ひとコマずつ進めたり、戻したりするときに押します。また、スロー再生のスピードを変えたりします。

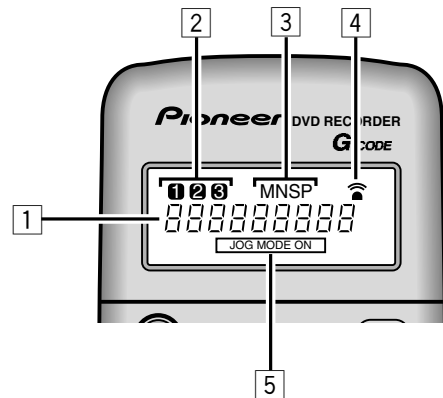
㉛ **「画面表示」ボタン(P.48)**
タイトル情報やディスクの情報を見るときに押します。

㉜ **「アングル」ボタン(P.41)**
マルチアングルディスクを再生しているとき、押すごとにアングルを切り換えられます。一度押すと現在の状態を表示します。表示中さらに押すと切り換わります。

㉝ **「字幕」ボタン(P.40)**
複数の字幕が記録されているディスクでは、押すごとに字幕を切り換えられます。一度押すと現在の状態を表示します。表示中さらに押すと切り換わります。

㉞ **シャトルリング(P.26)**
速度を変えながら早送り、早戻しをします。

㉟ **ジョグダイヤル(P.31)**
ジョグモードボタンを押してから使います。
コマ送り、コマ戻しの時に使います。

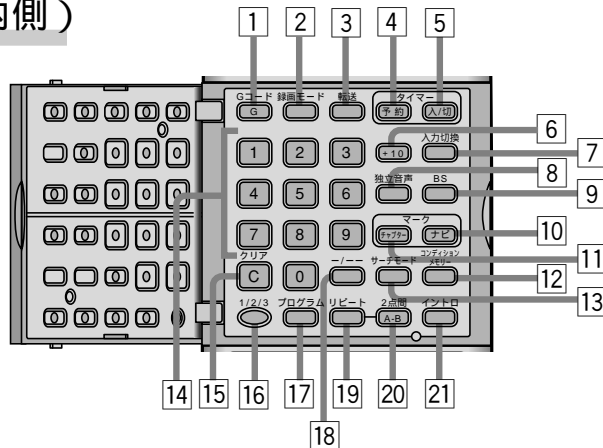
リモコン(表示窓)

1 **Gコードインジケーター**
Gコード番号を入力すると表示されます。

2 **「1/2/3」インジケーター**
複数のDVDレコーダーを操作するとき、どのレコーダーを操作できるかが表示されます。

3 **録画モードインジケーター**
Gコード予約時に設定する録画モードが表示されます。表示が無い場合は本体の設定となります。
(SP=標準モード、MN=マニュアルモード)

4 **転送インジケーター**
リモコンから送信中に点滅します。

5 **「JOG MODE ON」インジケーター**
ジョグモードをオンにすると表示されます。

リモコン（ふた内側）

1 **「G コード」ボタン（P.61）**
G コード番号を入力するときに押します。

2 **「録画モード」ボタン（P.53/56/61）**
録画モードを切り換えます。
一度押すと、現在の状態を表示し、表示中にさらに押すと、切り換わります。
ただし、録画中は切り換えることはできません。
・ VR モードの場合
　標準とマニュアルを切り換えます。
・ ビデオモードの場合
　V1（1時間）と V2（2時間）を切り換えます。

3 **「転送」ボタン（P.62）**
入力した G コード番号と設定を液晶表示で確認した後、レコーダーに転送します。

4 **「タイマー 予約」ボタン（P.56/59/62/65/66/67）**
録画予約画面を表示したり、終了したりします。

5 **「タイマー 入 / 切」ボタン（P.54/59/60/62/65/67）**
予約録画をオン / オフします。
予約録画中に押すと、予約録画をオフし、通常の録画を続けます。

6 **「+10」ボタン**
ダイレクトサーチで10以上を入力するときに使用します。
チャンネル数字の 2 桁入力時に 10 を足します。
例）12チャンネルのとき、[+10][2]と押します。

7 **「入力切換」ボタン**
停止中に、レコーダーの外部入力を切り換えます。

8 **「独立音声」ボタン**
BS 放送の独立音声を選択します。

9 **「BS」ボタン**
このボタンに続けて数字ボタンを押すと、BSチャンネルを選局します。

10 **「ナビ マーク」ボタン（P.33）**
ディスクナビ画面に好みの静止画像を取り込みます。

11 **「チャプター マーク」ボタン（P.34）**
チャプターマークを付けます。

12 **「コンディションメモリー」ボタン（P.46）**
DVD 再生時の各種設定状況を記憶します。

13 **「サーチモード」ボタン（P.28）**
サーチの種類を切り換えます。

14 **数字ボタン**
ビデオモードのディスク再生中はチャプターサーチ、VR モードのディスク再生中はタイトルサーチします。
停止中はチャンネルを選択します。

15 **「クリア C」ボタン**
各種設定をクリアします。

16 **「1/2/3」ボタン（P.107）**
複数の DVD レコーダーを操作するとき、操作するレコーダーに合わせます。

17 **「プログラム」ボタン（P.36）**
プログラム作成画面を呼び出します。

18 **「- /- -」ボタン**
停止中に2桁チャンネルの入力モードに切り換えられます。
約 5 秒間で入力モードは解除されます。
例）12 チャンネルのとき、[-/--][1][2]と押します。
　BS11 チャンネルのとき、[BS][-/--][1][1]と押します。

19 **「リピート」ボタン（P.38）**
リピートモードを選択します。

20 **「2 点間リピート A-B」ボタン（P.38/39）**
2 点間リピートを設定します。

21 **「イントロ」ボタン（P.35）**
VRモードのディスク再生中は現タイトルからのチャプターイントロになり、停止中はタイトル順のチャプターイントロ再生します。

基本的な再生操作

DVD を再生します

DVD を本機にセットし、再生します。

1 テレビの電源を入れ、テレビを「ビデオ入力」に切り換えます。

- 本機をつないだテレビの入力端子の番号に切り換えます。
  例）ビデオ：2
- アンプやスピーカーなどのオーディオ機器をつないだときは、それらの電源も入れてください。

2 本機の電源を入れます。

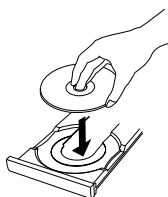
本機に電源が入り、STANDBY インジケーターが消えます。

3 ディスクテーブルを出します。

前面部のドアが開き、中からディスクテーブルが出てきます。

- ディスクテーブルをしまうときや見終わったディスクを取り出すときも、本ボタンで操作します。

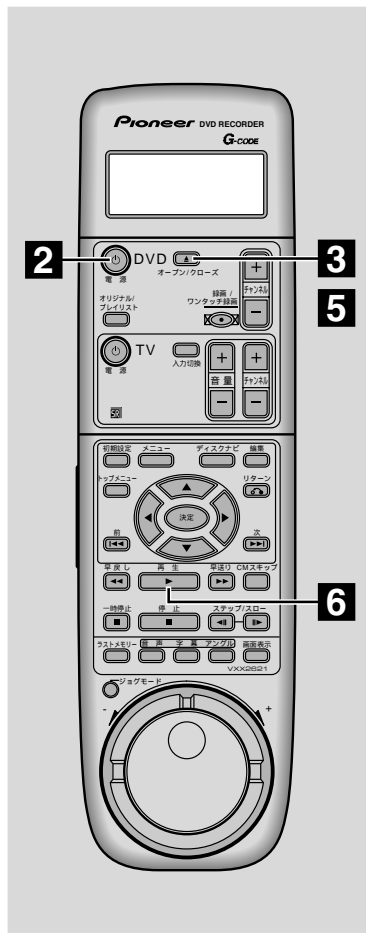
4 ガイドにあわせてディスクを置きます。

- 印刷面を上側に向けてセットします。
- ディスクの両面に記録されている場合、見たい面を下側に向けてセットしてください。

5 ディスクテーブルを閉めます。

ディスクテーブルが引き込まれ、前面部のドアが閉まります。

- ディスクによっては、セットすると自動的に再生されることがあります。その場合、6 の操作は不要です。

6 再生します。

テレビ画面に「再生」と表示されます。
DVD の再生が始まります。

- DVD-VIDEO の場合、ディスクによっては最初にメニューが表示される場合があります。たとえば、映画のキャストやスタッフ紹介などをメニューから選んで見ることができます。
  （24 ページ「メニューが表示されたとき」参照）
- 録画・予約録画などのあとに再生した場合、そのタイトルから再生されます。

本機の電源を入れるには

押しても

電源が入ります。

※ CD、ビデオ CD は再生できません。

●再生を一時停止する

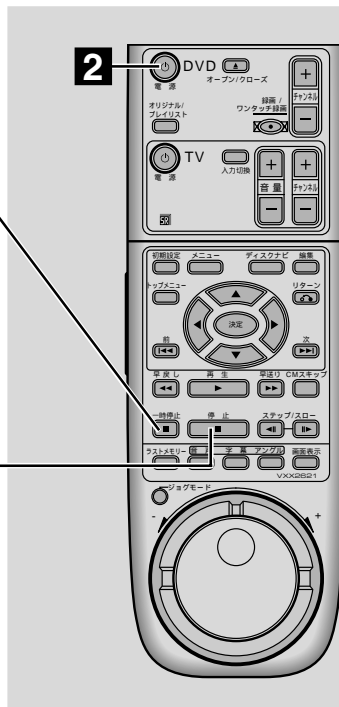
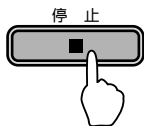
1 再生を一時停止します。

テレビ画面に「一時停止」と表示されます。
再生ボタンまたは再びこのボタンを押すと
一時停止が解除され、再生します。

●再生を停止する

1 再生を停止します。

テレビ画面に「リジューム」と表示され、
次に再生を開始する位置を自動的に記憶
します（リジューム機能）。

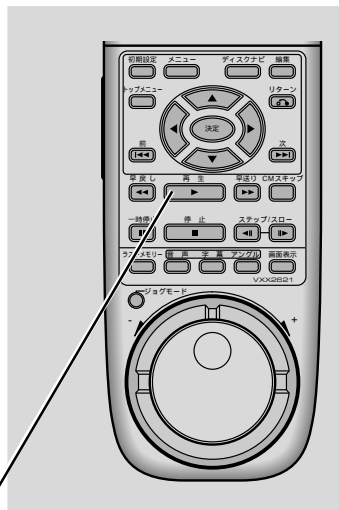
- 次の再生位置を記憶しないときは、再生を停止したあとに、もう一度［停止］ボタンを押します。テレビ画面に「リジューム　オフ」と表示され、再生開始位置の記憶を消去します。
- 見終わったときやディスクを取り出す前には再生を停止してください。

●つづきを再生する（リジューム）

再生を停止した位置の続きから再生します。
再生を停止したときに、リジューム機能が
働き続きから再生することができます。

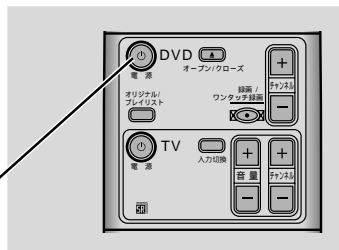
次の操作を行うと「リジューム」は働きません。
・ディスクの取り出し
・録画
・オリジナルとプレイリストの切り換え
・消去などの編集操作
こんなときは「ラストメモリー（P.32）」が便利です。

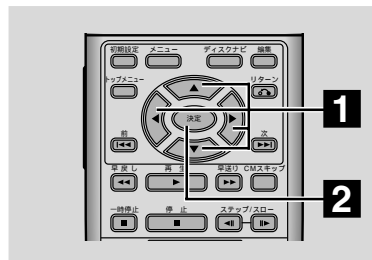
1 再生します。

テレビ画面に「リジューム」と表示され、
続きから再生します。

- DVD-VIDEO の場合、ディスクによっては停止したところから再生できないものがあります。

●電源をオフにする

1 本機の電源をオフにします。

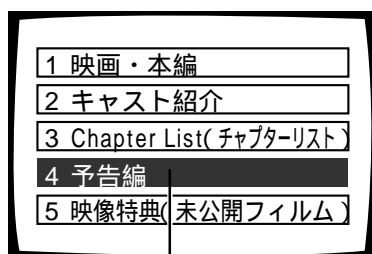
本機の電源が切れ、STANDBY
インジケーターが点灯します。

メニューが表示されたとき

メニューが表示されたら、リモコンを操作します。
表示されるメニューはディスクごとに異なります。メニューの詳しい内容は、DVD-VIDEOのディスクジャケットの説明などをお読みください。

1 メニュー項目を選びます。

2 選択したメニュー項目を再生します。

知ってて便利!
再生中にメニューを表示するには
メニューまたはトップメニューボタンを押します。

メニュー例

1 映画・本編
2 キャスト紹介
3 Chapter List (チャプターリスト)
4 予告編
5 映像特典 (未公開フィルム)

再生したい項目を選択

録画したDVDを再生します

※ビデオモードでは操作できません。

映像を確認してから再生する(ディスクナビ)

VRモードで録画または編集したDVDを再生するときはディスクナビが便利です。各タイトルの最初の映像が一覧表示されますので、再生するタイトルを視覚的に選ぶことができます。

1 ディスクナビ画面を表示します。

2 再生するタイトルの映像を選びます。

● 映像を選択し画面表示ボタンを押すと、そのタイトルの情報が表示されます。

知ってて便利!
ディスクナビに表示される画像は好みの場面に変更することができます。(P.33)

タイトルが何ページかあるときに表示

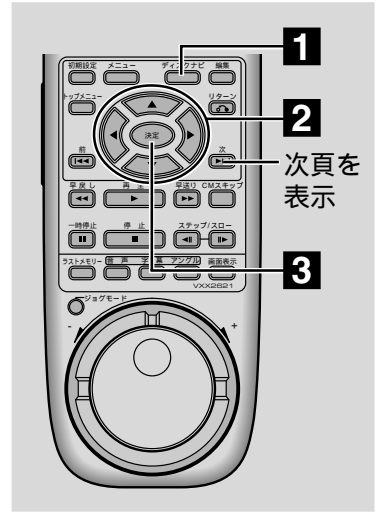
ディスクナビ画面例

再生したいタイトルを選択

3 選択したタイトルを再生します。

プレイリストを再生するには

プレイリストを再生するときは、［オリジナル／プレイリスト］で切り換え、プレイリストのディスクナビ画面を表示してください。
操作1または2の前に切り換えることができます。

プレイリストを選択

編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬ポーズが入ったように見えます。

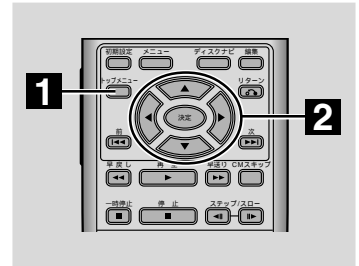
タイトル名を選んで再生する

ビデオモードで再生するときは、メニューに表示されるタイトル名を選びます。
ファイナライズ（P.12、P.123）を行うと新たなメニュー画面が自動的に作成されるため、ファイナライズ前とファイナライズ後ではメニュー画面が異なります。

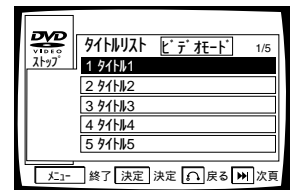
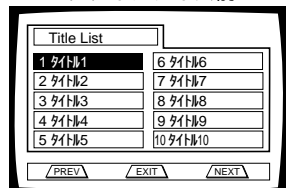
1 メニューを表示します。

● ［メニュー］ボタンでも操作可能です。

2 再生するタイトル名を選びます。

3 選択したタイトルを再生します。

タイトル名は24文字まで入力できますが、ファイナライズ前に表示されるのは20文字までです。ファイナライズ後は24文字全てが表示されます。

ファイナライズ前

Title List
1 タイトル1　6 タイトル6
2 タイトル2　7 タイトル7
3 タイトル3　8 タイトル8
4 タイトル4　9 タイトル9
5 タイトル5　10 タイトル10
PREV　EXIT　NEXT

ファイナライズ後

便利な再生操作

見たい場面を探します

DVD は見たい場面がすぐに探せるのが特徴です。探す方法はいくつかありますので、用途にあわせて利用すると便利です。

※ DVD-VIDEO ではディスクによってできないものがあります。

早送り・早戻し（スキャン）

DVD-RW（VR モード）の場合は「スキャン1」から「スキャン4」までの４段階、ビデオモードの場合は、「スキャン1」から「スキャン3」までの３段階の速度の切り換えが可能です。

●早送り

1 先へ進めます。

ボタンから指を離しても早送りされます。
テレビ画面には「►► スキャン 1」という文字が表示されます。

●「►► スキャン 1」表示中にさらに［早送り ►►］ボタンを押すと、押すたびに高速早送りになり、表示も切り換わります。。

2 見たい場面になったら再生ボタンを押します。

●早戻し

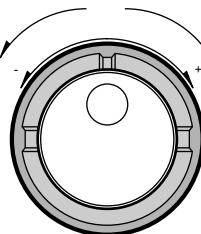
1 前に戻します。

ボタンから指を離しても早戻しされます。
テレビ画面には「◄◄ スキャン 1」という文字が表示されます。

●「◄◄ スキャン 1」表示中にさらに［早戻し ◄◄］ボタンを押すと、押すたびに高速早戻しになり、表示も切り換わります。

2 見たい場面になったら再生ボタンを押します。

速度を変えながら早送り・早戻し

左に回すと、早戻し

右に回すと、早送り

シャトルリングから手を離すと、通常の再生に戻ります。

※ DVD-VIDEO ではディスクによってできないものがあります。
※DVD-RW（VRモード）では、編集操作でチャプター区切りを設定した場合などにチャプター間の移動が可能です。

見たいチャプターにスキップする（頭出し）

再生中に次のチャプターへ進んだり、前のチャプターに戻ったりします。
再生されるタイトルやチャプターの番号が本体表示窓に表示されます。

●次へ進める

[次]を押します。

次のチャプターの先頭へ進み、再生します。
各タイトルの最後のチャプターの場合は、次のタイトルへ進みます。

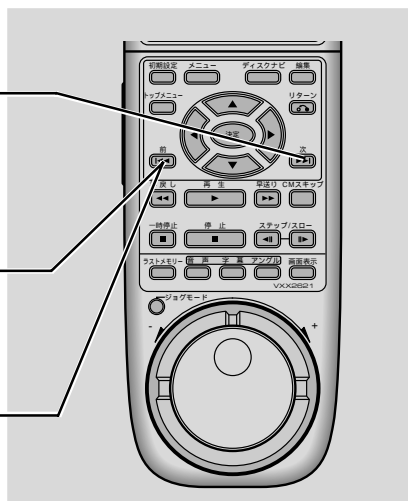
●再生中の先頭に戻す

[前]を押します。

再生中のチャプターの先頭に戻り、再生します。

● 1 つ前に戻す

[前]を続けて 2 回押します。

1 つ前のチャプターの先頭に戻り、再生します。
各タイトルの最初のチャプターの場合は、前のタイトルへ戻ります。

離れているチャプターにスキップするときは、進めたい（戻したい）チャプターの数だけボタンを続けて押します。最後または最初のチャプターの次はタイトルスキップに変わります。

※複数のタイトルが録画されている場合に、タイトル間の移動が可能です。

見たいタイトルにスキップする（頭出し）

再生中に次のタイトルへ進んだり、前のタイトルに戻ったりします。
再生されるタイトルやチャプターの番号が本体表示窓に表示されます。

●次へ進める

[次]を約 2 秒間押したままにします。

次のタイトルの先頭へ進み、再生します。

●再生中の先頭に戻す

[前]を約 2 秒間押したままにします。

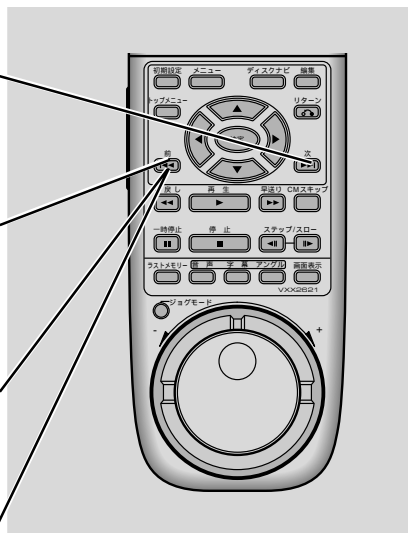
再生中のタイトルの先頭に戻り、再生します。

● 1 つ前に戻す

1 [前]を約 2 秒間押したままにします。

現在再生中のタイトルの先頭に戻り、再生します。

2 さらに[前]を押したままにします。

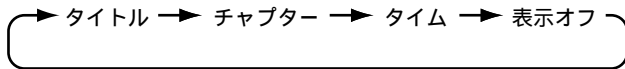
1 つ前のタイトルの先頭に戻り、再生します。

※ DVD-VIDEO ではディスクによってできないものがあります。

タイトル / チャプター / タイムを指定して再生する（サーチモード）

停止中、または再生中にタイトル番号、チャプター番号、タイム（経過時間）などを指定し、再生を開始する場面を探します。再生されるタイトルやチャプター番号、経過時間が本体表示窓に表示されます。

1 サーチモードの種類を選びます。

ボタンを押すたびに、テレビ画面に表示されるサーチの種類が変わります。

→ タイトル → チャプター → タイム → 表示オフ

2 タイトル、チャプター、経過時間などを入力します。

・タイトル / チャプターサーチのとき

例）3 を入力するには、[3]を押します。

10 を入力するには、[1][0]の順に押します。

・タイムサーチのとき

ビデオモード：00.00（分 . 秒）
VR モード：0.00.00（時間 . 分 . 秒）　という桁数で入力します。

例）21 分 53 秒を入力するには、

[2][1][5][3]の順に押します。

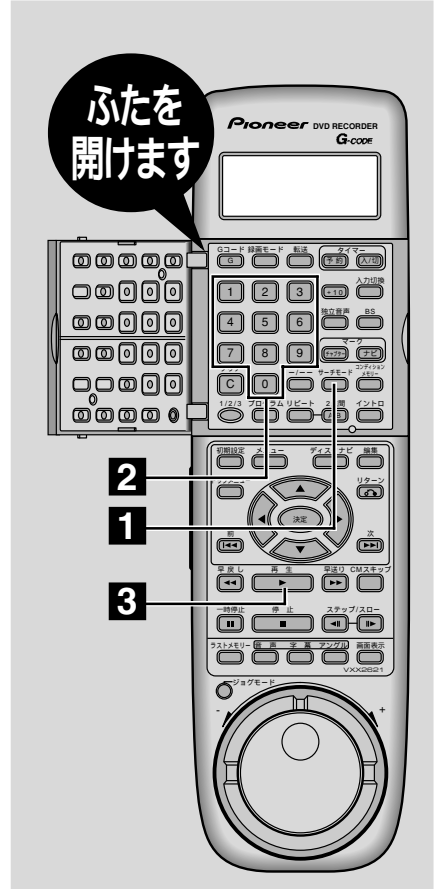
1 時間 20 分 5 秒を入力するには、

[1][2][0][0][5]の順に押します。

● 範囲外の入力の場合は、操作しても受け付けません。
● [C]（クリア）ボタンで入力を取り消します。

DVD-VIDEO またはビデオモードでは停止中にタイムサーチはできません。

3 再生します。

タイトル / チャプターサーチの場合、
入力したタイトル / チャプター番号の先頭から再生します。また、タイムサーチの場合、
入力した経過時間の場面から再生します。

●サーチモードを解除するには

テレビ画面に「タイトル」「チャプター」「タイム」などが表示されているときに[C]（クリア）ボタンを押します。

ダイレクト・サーチ

再生中なら、
サーチモードに切り換えないでタイトル / チャプターサーチが可能です。

ビデオモードの場合
チャプターサーチになり、
VR モードの場合
タイトルサーチになります。

※ 2 桁の数字を入力するときは、方法が異なります。

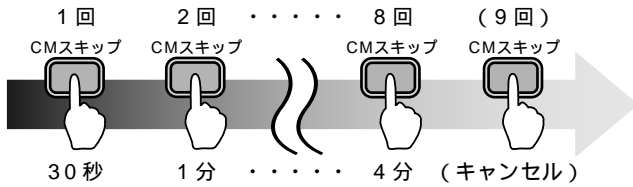
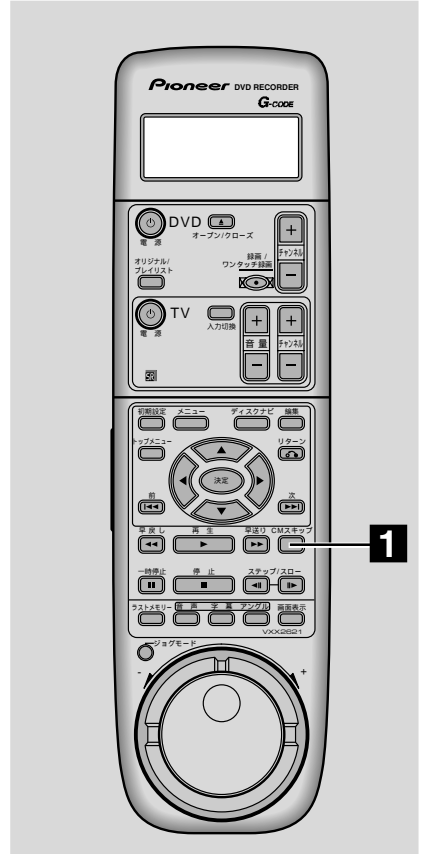
例）22 を入力するとき

[+10][+10][2]の順に押します。

※ 停止中に数字を入力すると、チャンネル切り換えになります。

CMをとばして再生する（CM スキップ）

再生中に簡単な操作で CM をとばすことができます。再生中のタイトル内を 30 秒単位で先を探し、そこから再生します。最大 4 分（8 回）までとばすことができ、録画した TV 番組を見るときに便利です。

1 再生中にとばしたい秒数にあわせてボタンを連続して押します。

● CM は 1 本約 15 秒。通常 1 回押しでCMを 2 本とばすことになります。

速さを変えて再生します

再生する速度を変えます。速度を変える再生には、「スロー再生」と「コマ送り再生」があります。どちらも音声は再生されません。

スロー再生

4 段階（1/16、1/8、1/4、1/2）の速度から選び、送り方向にスロー再生します。
戻り方向のスロー再生は、2 種類（スロー 1、スロー 2）のモードがあります。

●送り方向スロー再生

1 再生中または一時停止中に ステップ/スロー [▮▶] を約 2 秒間押します。

テレビ画面に「▮▶1/2」が表示されたら 1/2 の再生速度でスロー再生の開始です。ボタンから指を離します。

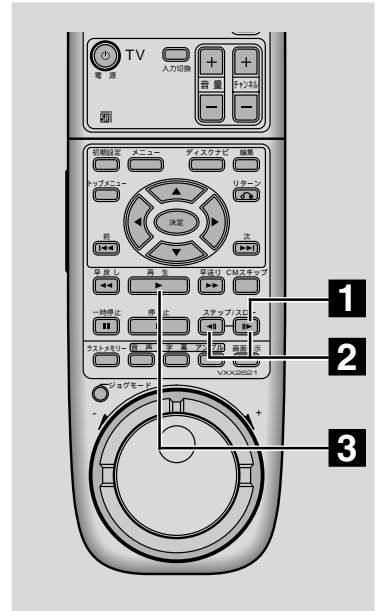
2 スロー再生の速度を変えます。

ステップ/スロー [◀▮]－[▮▶] **どちらかを押す**

ボタンを押すたびに、
テレビ画面の速度表示が変わります。

[◀▮]：1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 の順に遅くなります。

[▮▶]：1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2 の順に早くなります。

3 普通の再生に戻します。

●戻り方向スロー再生

1 再生中または一時停止中に ステップ/スロー [◀▮] を約 2 秒間押します。

テレビ画面に「スロー 1」が表示されたら
スロー再生の開始です。ボタンから指を離します。

2 スロー再生の種類を変えます。

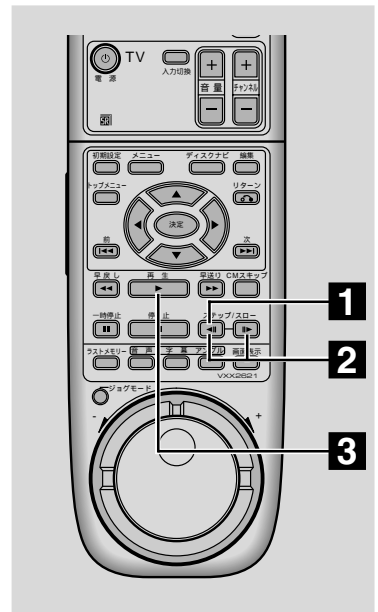
ステップ/スロー [◀▮]－[▮▶] **どちらかを押す**

ボタンを押すたびに、スロー再生の方法が変わります。
スロー 1 は 1 フレームずつ、スロー 2 は約 0.5 秒ずつ戻りながら再生します。

[▮▶]：スロー 1 →スロー 2 の順に変更します。

[◀▮]：スロー 2 →スロー 1 の順に変更します。

3 普通の再生に戻します。

DVD VIDEO DVD RW DVD R

コマ送り再生

1 コマずつ再生します。

1

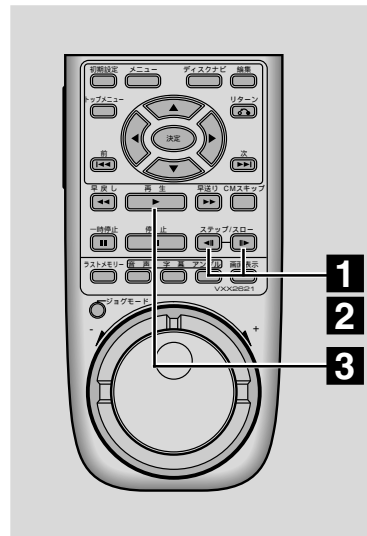
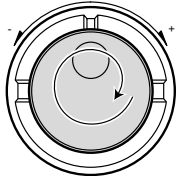
再生中に ステップ/スロー ◀II / II▶ のどちらかのボタンを短く押します。

テレビ画面に「一時停止」が表示され、再生が一時停止します。

2

コマ送り再生します。

ボタンを押すたびに、
その方向にコマ送りされます。

3

普通の再生に戻します。

●ジョグダイヤルでコマ送り再生する

1

ジョグモードにします。

リモコンの表示部に
「JOG MODE ON」と表示されます。

2

ジョグダイヤルを回します。

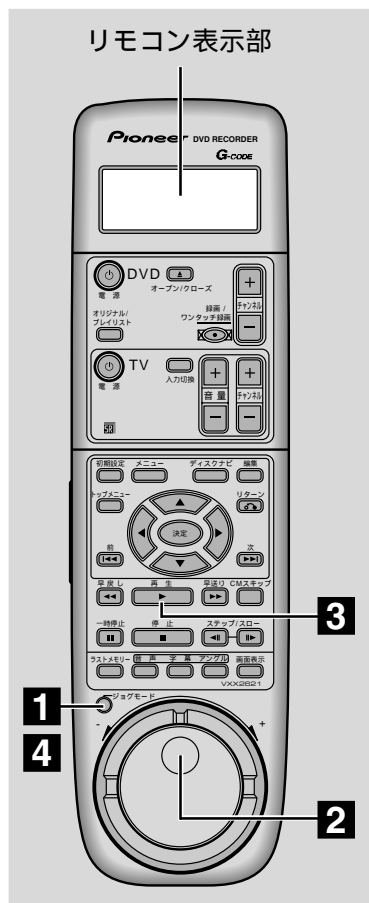
テレビ画面に「一時停止」が表示され、
ジョグダイヤルを回すたびに、
その方向にコマ送りされます。

3

普通の再生に戻します。

4

ジョグモードを解除します。

リモコン表示部の「JOG MODE ON」が
消えます。
解除を忘れた場合でも約 30 秒で自動解除します。

前に見たディスクのつづきを再生します（ラストメモリー）

DVD を途中まで再生し、あとからそのつづきを見るときに利用すると便利です。
この時、音声や画質など再生時の設定も記憶され、記憶した設定内容はディスクを取り出したり、本機の電源を切っても記憶されています。

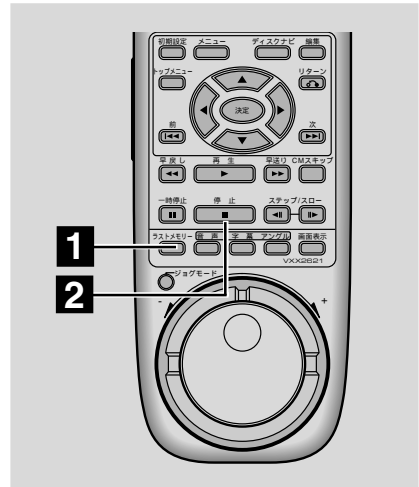
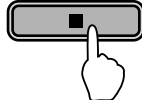
つづきから見る場面を記憶する

本機に記憶できるディスクの枚数はビデオモード（DVD-VIDEOを含む）で5枚、VRモードで5枚の合計10枚分です。この枚数を超えると、古い記憶が消され、新しく記憶されます。

再生を停止する前に操作してください。

1 再生中に現在の場面を記憶します。

テレビ画面に「ラストメモリー」と表示されます。

2 再生を停止します。

つづきから見るには

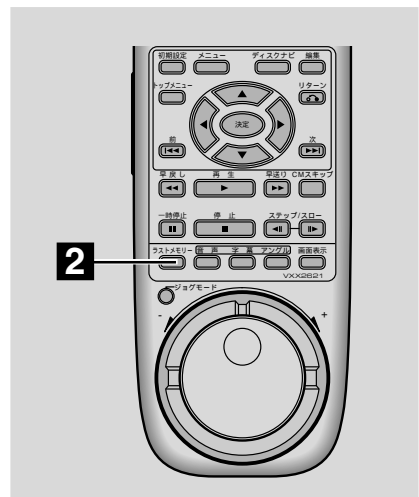
1 ラストメモリーを記憶させたディスクをセットします。

ディスクによってはセットしただけで、自動的に再生を始めることがあります。その場合、［停止 ■］を押し、再生を停止してください。

2 停止中に記憶させた場面からつづきを再生します。

ラストメモリー

テレビ画面に「ラストメモリー」と表示されます。

- **コンセントを抜いたまま長時間放置しておくと消去される場合があります。**
- **「出荷時の設定にもどす」（P.125）の操作を行うと消去されます。**

●ラストメモリーを消去するには

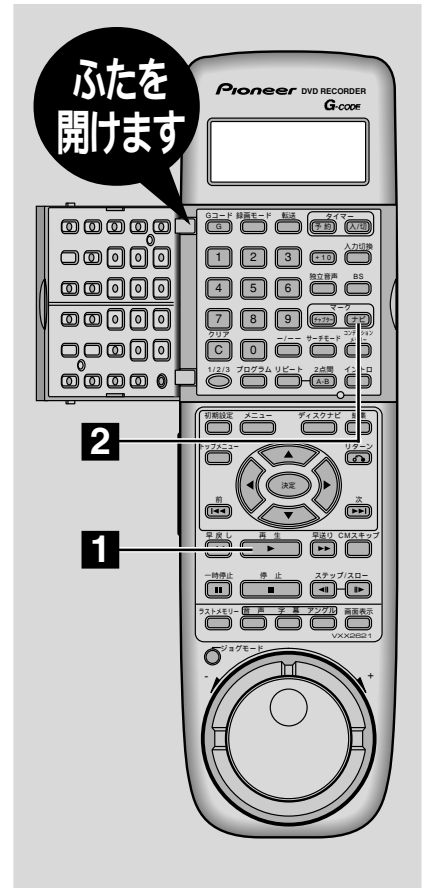
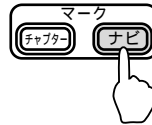
［ラストメモリー］ボタンを押し、画面に「ラストメモリー」と表示されている間に ［クリア C］ ボタンを押します。

ディスクナビの画像を変更します

ディスクナビに表示される各タイトルの画像を好みの場面に変更します。

1 変更したいオリジナルまたはプレイリストのタイトルを再生します。

2 好みの場面を選びます。

テレビ画面に「NAVI MARK」と表示され、ディスクナビに表示される画像が入れ換わります。

ディスクナビ画面例

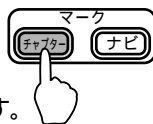
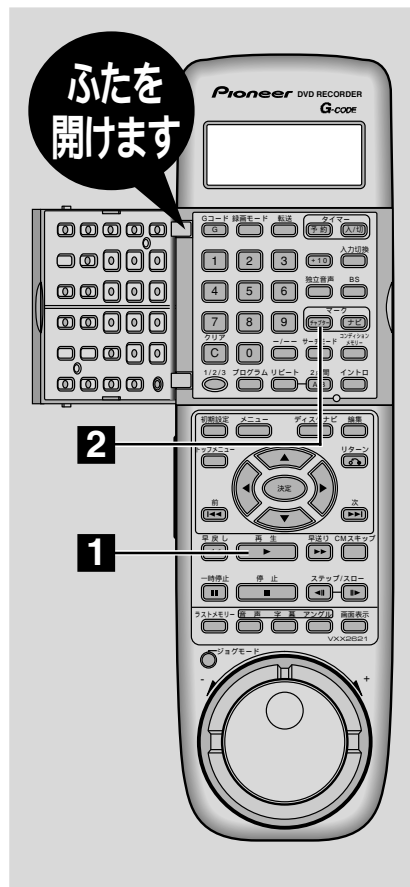
チャプターマークを入れます

再生中のオリジナルやプレイリストのタイトルにチャプターマーク（区切り）を入れます。
チャプタースキップやチャプターサーチが行えるようになります（P .27/28)。
チャプターマークを消去する場合は「チャプターマークを消去する（P .82/95)」をお読みください。
※ビデオモードで録画した場合、3分ごとに自動的にチャプターマークが入ります。
本操作でチャプターマークを入れることはできません。

1 オリジナルまたはプレイリストを再生します。

オリジナルとプレイリストの切り換えについては、P.74 を参照してください

2 再生中にマークを入れたい場面で操作します。

テレビ画面に「CHP MARK」と表示されます。

録画中に 2 の操作でチャプターマークを入れることも可能です。

各チャプターの冒頭を再生します（イントロ再生）

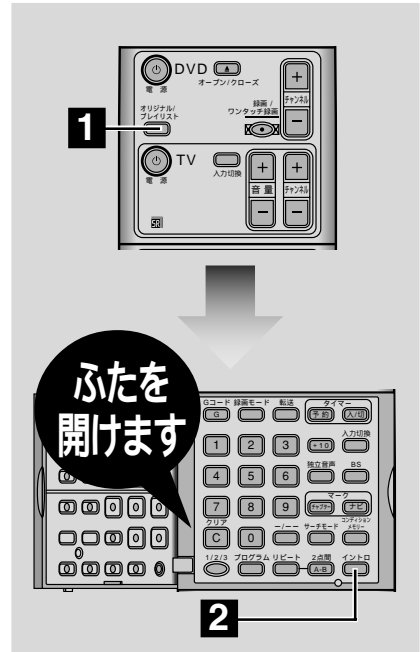
オリジナルまたはプレイリストにチャプターの区切りが入っている場合､各チャプターの冒頭部分を約5秒間づつ連続再生します。録画したドラマのあらすじを見たいときなどに利用すると良いでしょう。なお、イントロ再生はタイトルをまたがって行われます。
チャプターの区切りは、「チャプターマークを入れます（P.34）」をお読みになり、操作してください。また､録画中に一時停止した部分や[A-B消去]した部分などには、自動的にチャプター区切りが入ります。

1 プレイリストまたはオリジナルに切り換えます。

2 イントロ再生を開始します。

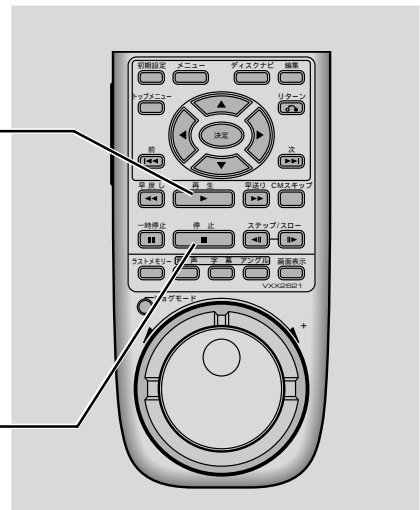
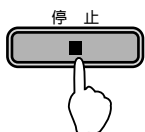
イントロ再生中は、テレビ画面に「イントロ」と表示されます。また、イントロ再生しているタイトルやチャプター番号がテレビ画面および本体表示窓に表示されます。
イントロ再生が終わると、自動的に停止します。

● 再生中は現タイトルからのチャプターイントロ再生、停止中はタイトル順にチャプターのイントロ再生を行います。

※ チャプター区切りが行われていない場合、１タイトル＝１チャプターとして再生しますので、タイトルのイントロ再生になります。

●イントロ再生の途中で再生するには

1 イントロ再生中に見たい場面になったら再生ボタンを押します。

●イントロ再生を途中で終了するには

1 イントロ再生中に停止ボタンを押します。

順番を変更して再生します（プログラム再生）

DVDを構成しているタイトルまたはチャプターの再生順を並べ換えます。チャプターをプログラムする場合は、同一タイトル内でのみプログラムすることができます。VR モードではプログラム再生できません。

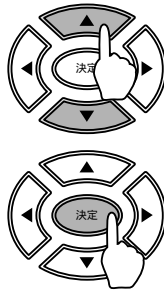
●プログラムを作成する

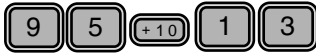
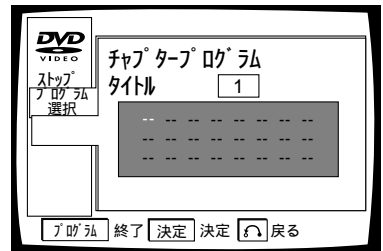
1 再生中または停止中に「プログラム選択」画面を表示します。

2 タイトルまたはチャプターを選びます。

①選択したい項目にカーソルを合わせます。

②プログラム作成画面を表示します。

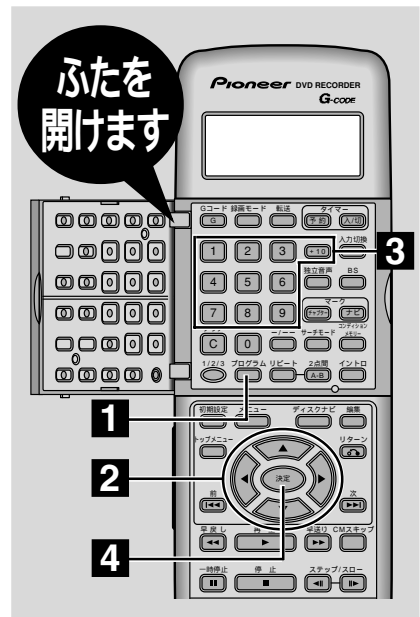
「プログラム選択」画面

3 再生したい順にチャプターまたはタイトル番号を入力します。

例）9 → 5 → 1 1 → 3 の順に設定する場合

を続けて押します。

（チャプタープログラムの場合）

4 指定した順に再生を開始します。

一時停止機能をプログラムする*

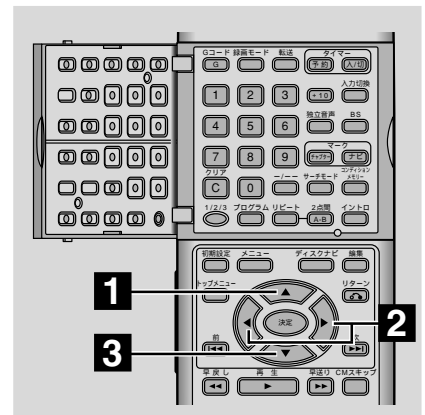
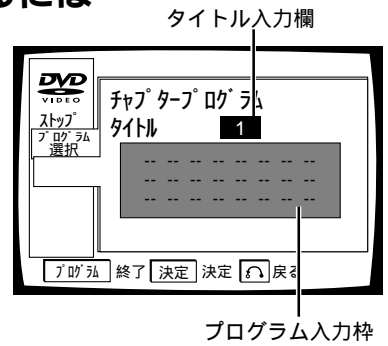
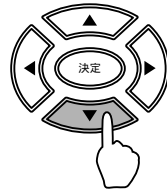
数字ボタンの代わりに［一時停止］ボタンを押します。
プログラム順に再生された場合、
その場所では一時停止になります。
［一時停止］ボタンを押すことで、
再生を次に進めることができます。

＊プログラムの最初と最後、
または連続して 2 回以上
プログラムすることはできません。

●チャプタープログラムでタイトル番号を変えるには

1 **プログラム入力枠の最上段からタイトル入力欄に移動します。**

2 **タイトル番号を切り換えます。**

● 数字ボタンでも入力できます。その場合は自動的にプログラム入力枠に移動しますので、3 の操作は不要です。

3 **プログラム入力枠へ移動します。**

●入力した番号を直すには

直したい場所にカーソルを移動し、クリア[C]ボタンで消去、正しい番号を入力します。

●プログラム再生を確認するには

画面表示ボタンを押すとプログラム再生であるかを確認することができます。

●通常の再生にするには

プログラム再生中にクリア[C]を押します。

●プログラム再生を停止するには

プログラム再生中に停止[■]を押します。

●プログラムを消すには

ディスクテーブルを開いたり、停止中に[C]ボタンを押したりすると、プログラムはすべて消えます。

繰り返し再生します（リピート再生）

タイトルやチャプター単位、指定した位置や指定した範囲を繰り返し再生します。

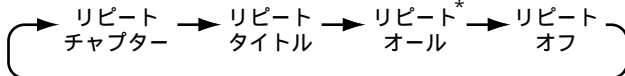
●チャプターやタイトルを繰り返し再生する

再生中のチャプターやタイトルを繰り返し再生します。また、VR モードの場合、ディスク内のすべてのタイトルを順次繰り返し再生することもできます。

1 繰り返し再生したいチャプターやタイトルを再生します。

2 リピートの種類を選びます。

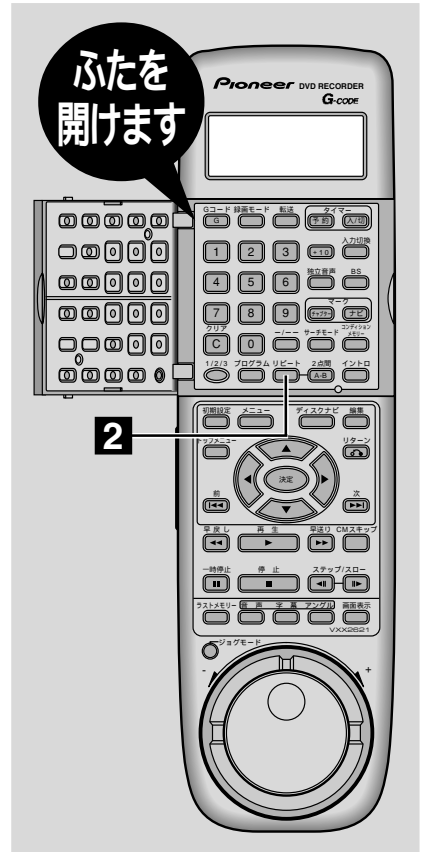
ボタンを押すたびに、テレビ画面に表示されるリピートの種類が変わります。

リピート チャプター → リピート タイトル → リピート オール* → リピート オフ

＊ ビデオモードのディスク（DVD-VIDEOを含む）がセットされている場合、リピートオールはありません。

リピートチャプター：再生中のチャプターが再生し終わると、そのチャプターの先頭から繰り返し再生します。

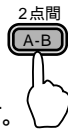
リピートタイトル：再生中のタイトルが再生し終わると、そのタイトルの先頭から繰り返し再生します。

リピートオール：再生中のタイトルが再生し終わると、次のタイトルを再生し、ディスク内のすべてのタイトルを再生し終わると、最初のタイトルから繰り返し再生します。

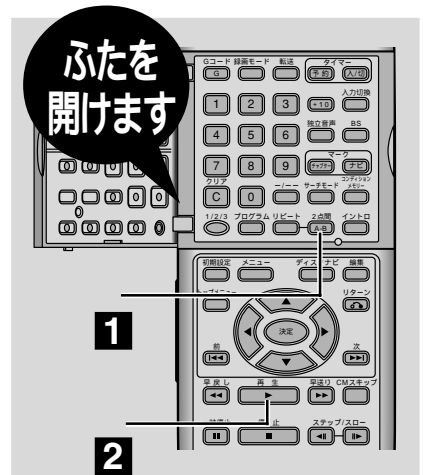
リピートオフ：リピート再生を終了します。

●指定した位置へ戻って再生する

繰り返し再生を行う開始位置を記憶し、その場面から繰り返し再生します。

1 再生中に開始位置を記憶させます。

開始位置を指定したい場面でボタンを押します。テレビ画面に「メモリー」と表示され、位置が記憶されます。

2 記憶した位置から再生します。

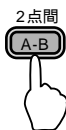
テレビ画面に「リピートメモリー」と表示されます。

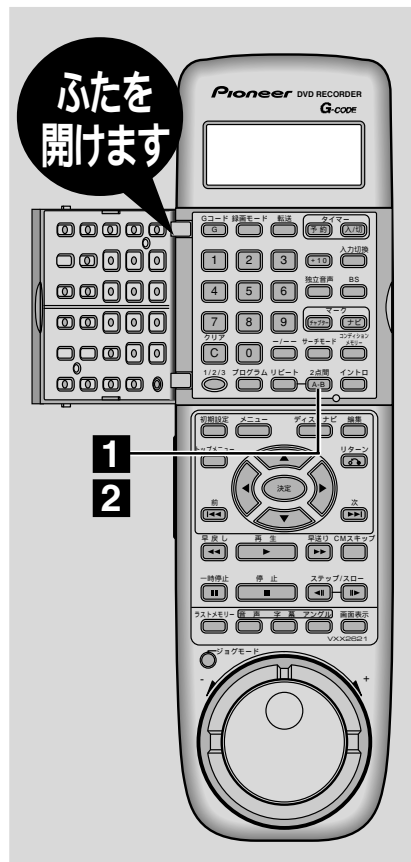
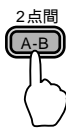
● 2点間 A-B ボタンで位置指定を行ったあとに、スロー再生やコマ送りなど他の操作を行った場合、再生 ▶ ボタンを 2 回押して再生してください。1 回目の操作で、他の操作がいったん解除され、2 回目の操作で繰り返し再生機能が働きます。

●指定した範囲を繰り返し再生する（2 点間リピート）

再生を行う開始と終了の位置を指定し､その範囲を繰り返し再生します。

※ 繰り返しの範囲指定は､チャプター間をまたがって設定することができます。また、ビデオモード（DVD-VIDEO を含む）ではタイトルをまたいだ繰り返し再生はできませんが、VR モードでは、タイトル間もまたがって繰り返し再生することができます。

1 再生中に開始位置を記憶させます。

テレビ画面に「メモリー」と表示されます。
再生は続きます。

2 再生中に終了位置を記憶させ、繰り返し再生を開始します。

終了位置を指定したい場面でボタンを押します。
テレビ画面に「リピート A-B」や A 点の時間が表示されます。
記憶させた開始位置から繰り返し再生します。

●繰り返し再生を解除する

1 繰り返し再生を解除します。

テレビ画面に「リピートオフ」と表示されます。
繰り返し再生の設定は解除されますが、
再生はそのまま続行します。

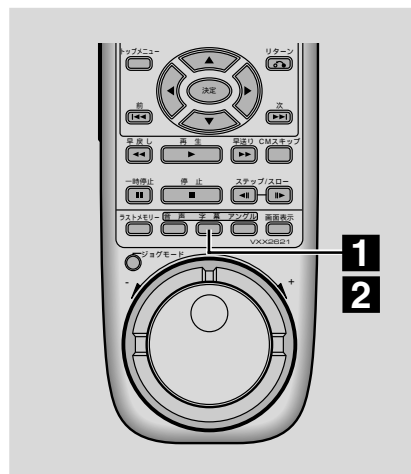
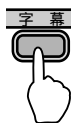
● リピート または 2点間 A-B ボタンを押しても、
繰り返し再生を解除できます。

字幕を切り換えます

複数の言語で字幕が記録されたDVD-VIDEOを再生しているときは、表示する字幕を変更することができます。

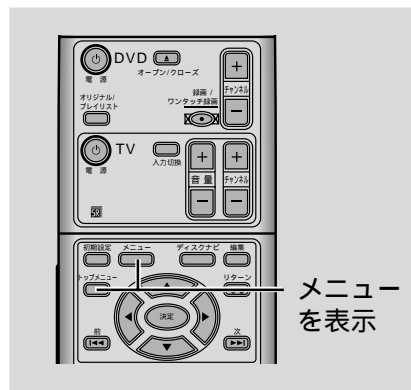
1 再生中の字幕の言語や番号を表示します。

2 字幕を切り換えます。

ボタンを押すたびに字幕表示が切り換わり、最後は字幕表示をオフします。

●字幕表示を消すには

1 字幕番号などがテレビ画面に表示されているときに クリア C を押します。

●字幕の切り換えができないときは

複数の言語で字幕が記録されていても字幕ボタンで切り換えることができない場合があります。
その場合、メニューボタンまたはトップメニューボタンを押して、ディスクに収録されているメニューを表示し、操作してください。

音声を切り換えます

日本語と英語など複数の言語で音声が記録されたDVD-VIDEOを再生しているときは、再生する音声を変更することができます。
また、二カ国語放送など二重音声の番組を受信中、または二重音声を記録したDVD-RW（VRモード）を再生するときには主音声、副音声などの音声を切り換えることができます。

デジタル接続のみで音声出力しているときは、VRモードのディスク再生時に音声を切り換えることができません。（「最初にお読みください」P.11）

1 再生中に音声を切り換えます。

ボタンを押すたびに、音声が切り換わります。
選択した音声の種類がテレビ画面に表示されます。

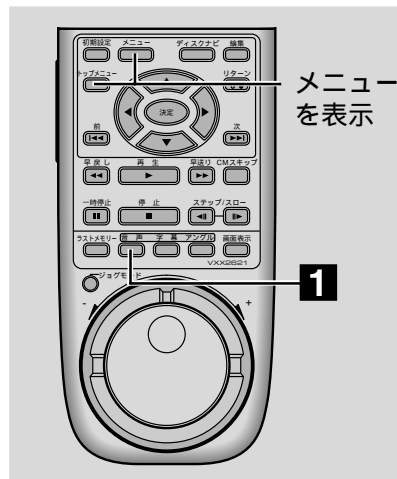
● DVD-VIDEOの再生中

テレビ画面表示	選ばれている音声
音声：1 英語	英語
音声：2 日本語	日本語

※ 上記音声は一例です。ディスクによって収録されている音声の種類は異なります。

● 二重音声の受信 / 二重音声を記録したDVD-RW（VRモード）の再生中

テレビ画面表示	選ばれている音声
主	主音声
副	副音声
主＋副	主音声＋副音声

※ 将来DVD-RWで音声2がある場合、次のようになります。
（本機で音声2を録音する機能はありません。）
ステレオの場合：
→ 音声1 → 音声2
二重音声の場合：
→ 音声1(主) → 音声1(副) → 音声1(主+副) → 音声2(主) → 音声2(副) → 音声2(主+副)

●音声の切り換えができないときは

・複数の言語で音声が記録されているDVD-VIDEOでも、［音声］ボタンで切り換えることができない場合があります。その場合、［メニュー］ボタンまたは［トップメニュー］ボタンを押して、ディスクに収録されているメニューを表示し、操作してください。
・ファイナライズしていないビデオモードのディスクがセットされているときは、受信している二カ国語放送などの二重音声を切り換えることはできません。二重音声の音声を切り換えたいときは「二カ国語のときの音声を選ぶ」（P.120）をご覧ください。

映像のアングルを切り換えます（マルチアングル）

DVD VIDEO

複数のアングル（方向）から映した映像が記録されているDVD-VIDEOでは、同一場面をいろいろなアングルで見ることができます。複数のアングルが収録されたDVD-VIDEOのジャケットには マークが表記されています。
また本機では、再生中に複数のアングルが収録された場面にくるとテレビ画面に マークを表示します（初期設定：オン）。アングルを切り換えるタイミングの目安になります。

1 再生中に他のアングルを表示します。

ボタンを押すたびに、
アングルが切り換わります。

画質を調整します

より良い画質で映像をご覧になりたいとき、またDVDの内容に合った画質で映像をご覧になりたいときに調整します。

※停止中は初期設定画面から操作します。（P.108）

ビデオモード（DVD-VIDEOを含む）の場合とVRモードの場合とそれぞれ別々に設定・記憶します。

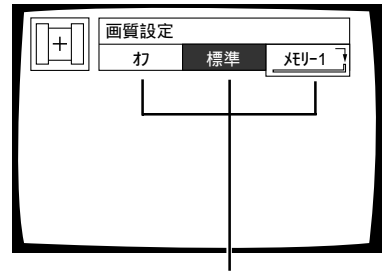
●画質設定を変更・記憶させるには

好みの画質に設定した内容を記憶させせます。また、画質設定をオフにする場合や標準に戻す場合もここで操作します。

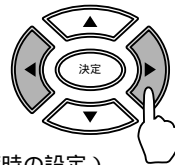
「画質設定」画面

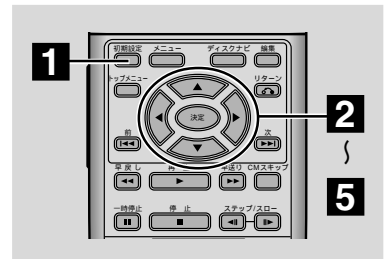
好みの画質を選択

1 再生中に設定画面を表示します。

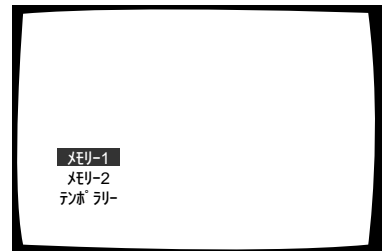
テレビ画面の上部に
「画質設定」画面が表示されます。

2 好みの画質を選びます。

①好みの画質に合わせます。

オフ：画質調整をしません。
標準：本機の標準的な画質設定に戻します。（出荷時の設定）
メモリー1/メモリー2/テンポラリー
：好みの画質に調整します。その設定内容を記憶させ、あとから簡単に画質の切り換えを行うことができます。

②決定します。

［メモリー1/メモリー2/テンポラリー］を選んだ場合は、3 の操作へ進みます。

3 設定を記憶させる場所を選びます。

①選びたい記憶場所にカーソルを合わせます。

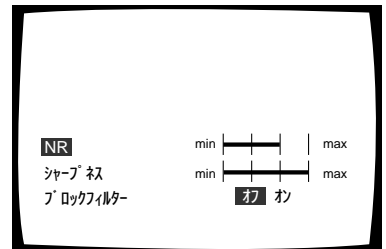
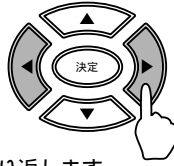
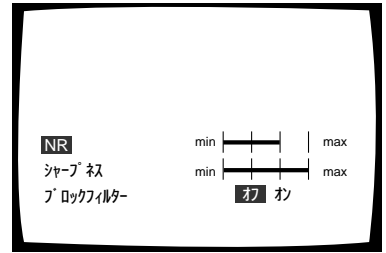
メモリー1、メモリー2
：画質設定の内容を本機に記憶します。
テンポラリー　：画質設定の内容を一時的に記憶します。
現在の画質を一時的に調整したいときに選びます。
また、コンディションメモリーで呼び出された設定もここにセットされます。

②記憶場所を決定します。

4 調整する項目を選びます。

①調整する項目にカーソルを合わせます。

NR：輝度に対して効果を発揮します。
シャープネス：エッジ（輪郭）を強調します。
ブロックフィルター：MPEG特有のブロックノイズに対して効果を発揮します。
オンまたはオフの設定のみです。

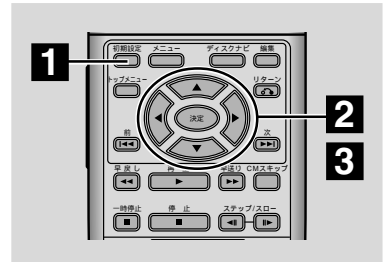
ビデオモードのディスクの場合

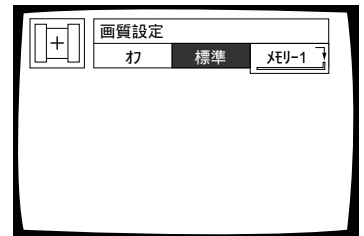
● ビデオモードのディスク（DVD-VIDEOを含む）を再生しているときは、［NR］や［シャープネス］の微調整が可能です。
VRモードのディスクを再生しているときは、すべて調整のオンまたはオフのみの設定になります。

②**選んだ項目の内容を調整します。**

※ 他の項目も調整する場合は、①② の操作を繰り返します。

表示：min ←→ max
効果：小 ←→ 大

5 調整した内容を記憶し、画質設定を切り換えます。

設定画面が消え、再生中画面に戻ります。

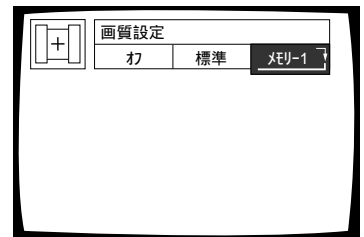
●あとからメモリーなどに記憶させた画質設定にするには

メモリー 1、メモリー 2、テンポラリーなどに記憶させた画質設定を呼び出し、再生中の画質を切り換えます。

1 再生中に設定画面を表示します。

テレビ画面の上部に
「画質設定」画面が表示されます。

2 画質メモリーの選択画面を表示します。

①**右端の項目にカーソルを合わせます。**

● メモリー 1、メモリー 2、テンポラリーのいずれが表示されています。

②**決定します。**

3 好みの画質メモリーを選びます。

①**好みの画質メモリーにカーソルを合わせます。**

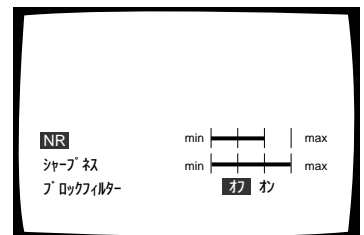
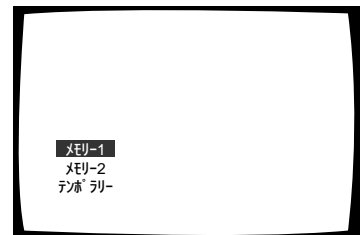
画質設定を記憶させた場所を選びます。

②**選択した画質メモリーの設定に切り換えます。**

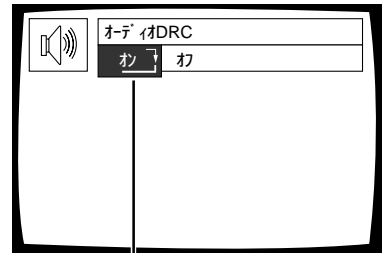
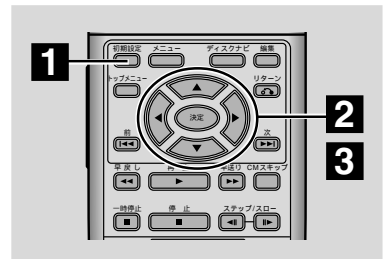
選択した記憶場所にある画質設定の内容が表示されます。

③**表示内容を確認し、決定します。**

音の強弱の幅を調節します

DVD VIDEO　DVD RW　DVD R

再生中に音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るような場合、その効果が大きくなるように変更するといいでしょう。

※停止中は初期設定画面から操作します。（P.109）

ドルビーデジタル音声で記録されている場合で、アナログ出力およびリニアPCM出力時（最初にお読み下さいP.37）に効果があります。ディスクによっては効果がない場合もあります。

1 再生中に設定画面を表示します。

テレビ画面の上部に「オーディオDRC」画面が表示されます。

「オーディオDRC」画面

2 「オーディオDRC」機能をオンにします。

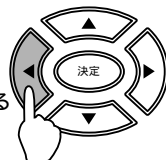
①［オン］にカーソルを合わせます。

②機能をオンにします。

オーディオDRCの効果を調節する画面を表示します。（出荷時「オフ」）

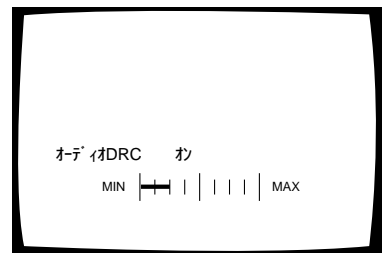
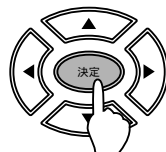
3 効果の量を調節します。

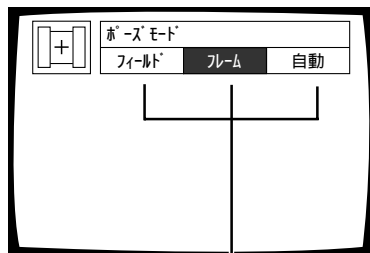
①効果を大きく（MAX）します。

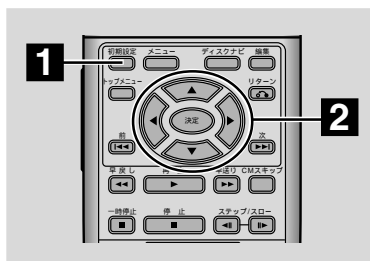
または効果を小さく（MIN）します。

● カーソルボタン▲/▼でオン、オフを切り換えることができます。

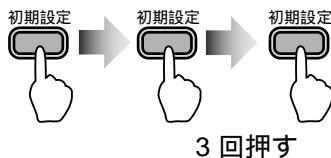
②効果の量を決定します。

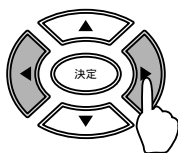
設定画面が消え、再生している画面に戻ります。

静止画の見え方を変更します DVD VIDEO DVD RW DVD R

再生中に一時停止などをしたときの静止画の見え方を変更します。

※停止中は初期設定画面から操作します。（P.109）

「ポーズモード」画面

好みの画質を選択

1 再生中に設定画面を表示します。

テレビ画面の上部に「ポーズモード」画面が表示されます。

2 好みの設定を選びます。

①好みの設定にカーソルを合わせます。

フィールド　：静止画状態のとき画面のブレを少なくします。
フレーム　　：静止画像は鮮明ですが、多少ブレることがあります。
自動　　　　：再生しているディスクにあわせ、フィールドまたはフレームのどちらかに自動切り換えします。（出荷時の設定）

②選択した設定に変更します。

設定画面が消え、再生している画面に戻ります。

よく見るディスクの設定を記憶させます（コンディションメモリー）

DVDを再生するときのいろいろな設定内容をディスク単位で本機に記憶させることができます。例えば、よく見る映画を見るたびに音声を英語にして、字幕を日本語にするという操作が不要になります。記憶させた設定内容は、ディスクを取り出したり、本機の電源を切ったりしても記憶されています。
記憶することができる設定内容は次のとおりです。

- **音声の種類（P.41/111）**
- **字幕の種類（P.40/112）**
- **ディスク情報の表示位置（P.105）**
- **アングル（P.41）**
- **見せたくない場面の制限（P.110）**
- **画質設定（P.42/108）**

- **音声の種類（P.41）**
- **ディスク情報の表示位置（P.105）**
- **画質設定（P.42/108）**
- **オリジナル / プレイリストの選択（P.74）**

●設定を記憶させるには

ディスク単位で設定内容を本機に記憶します。一度設定した内容は、消去するまで何度再生しても保持されます。また、本機に記憶できるディスクの枚数はビデオモードのディスク（DVD-VIDEOを含む）を15枚、VRモードのディスクを15枚の合計30枚分です。この枚数を超えると、古い記憶が消され、新しく記憶されます。一度記憶させた設定内容を変更するときも以下の手順で行います。

1 設定を記憶させたいDVDを再生します。

2 いろいろな設定を変更します。

● 記憶される内容は、上の表を参考にしてください。

3 設定された内容を記憶します。

テレビ画面には「コンディション」と表示されます。

●記憶させた設定を呼び出すには

1 設定を記憶させたディスクをセットします。

再生すると、テレビ画面には「コンディション」と表示され、記憶させた設定内容の環境で見ることができます。

DVD-VIDEOでは、ディスクによって自動的に音声が切り換わるものがあります。
また、コンディションの内容が反映されないことがあります。

●記憶させた設定内容を消すには

1 設定を記憶させたディスクをセットします。

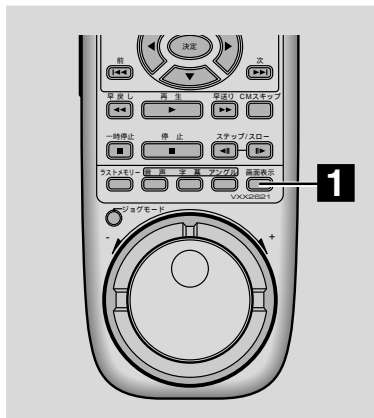
［コンディションメモリー］ボタンを押すと、テレビ画面には「コンディション」と表示されます。

2 記憶させた設定内容を消去します。

テレビ画面に「コンディション」と表示されている間にボタンを押します。

・コンセントを抜いたまま長時間放置しておくと消去される場合があります。
・「出荷時の設定にもどす」（P.125）の操作を行うと消去されます。

ディスクの情報を画面に表示します

ディスクの情報をテレビ画面に表示します。ディスクや動作状態によっては情報が異なったり、表示されない場合があります。

1 ディスクの情報を表示します。

ボタンを押すたびに、表示される情報の内容が変わります。

画面表示

DVD VIDEO / DVD RW（ビデオモード）/ DVD R 再生中

Ⓐ
1-1　0.04　再生
- タイトル番号
- チャプター番号
- タイトル内の再生時間
- 動作状態

Ⓑ
1-1　0.04　再生
ﾁｬﾌﾟﾀｰﾀｲﾑ　0.04 ― チャプター内の再生時間
ﾁｬﾌﾟﾀｰﾘﾒｲﾝ　2.26 ― 再生中のチャプターの残り時間

Ⓒ
1-1　0.04　再生
ﾀｲﾄﾙﾘﾒｲﾝ　2.26 ― 再生中のタイトルの残り時間
ﾀｲﾄﾙﾄｰﾀﾙ　1　5.30 ― 再生中のタイトルの総チャプター数と総再生時間

Ⓓ
1-1　0.04　再生
字幕　オフ ― 表示する字幕の情報
音声　1　英語
DOLBY DIGITAL 5.1CH ― 出力する音声の情報

Ⓔ
1-1　0.04　再生
転送ﾚｰﾄ: ▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮　8.3 ― 転送レート＊1のレベルメーター

↓

消える＊2

DVD RW（VRモード）再生中

Ⓐ
PL　2-1　0.00.06　再生
午前 8:33:26
[ﾀｲﾄﾙ1]
- PL：プレイリスト（P.73）
  ORG：オリジナル（P.73）
- タイトル番号
- チャプター番号
- タイトル内の再生時間
- 動作状態
- 現在の時刻
- 再生中のタイトル名

Ⓑ
PL　2-1　0.00.06　再生
ﾀｲﾄﾙﾘﾒｲﾝ　0.04.56 ― 再生中のタイトルの残り時間

Ⓒ
PL　2-1　0.00.06　再生
ﾀｲﾄﾙﾄｰﾀﾙ　0.05.15 ― 再生中のタイトルの総再生時間
CHP数　1 ― 再生中のタイトルの総チャプター数

Ⓓ
PL　2-1　0.00.06　再生
音声　1
DOLBY DIGITAL　2CH ― 出力する音声の情報

Ⓔ
PL　2-1　0.00.06　再生
転送ﾚｰﾄ: ▮▮▮▮▮▮▮　4.1 ― 転送レート＊1のレベルメーター

↓

消える＊2

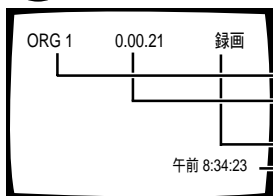
録画や再生時の時間表示について

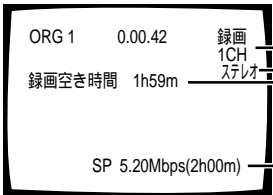
本機の録画や再生の時間は、実際の録画・再生時間より 0.1% 程度短く表示されます。

放送などの映像では、1 秒当たり 29.97 フレームの映像が送られてきます。
本機では、便宜上 30 フレームを 1 秒として計算しています。このため、約 0.1% 時間が短く表示されます。
例えば、1 時間録画を行うと実際に 1 時間分録画が行われます。しかし、本機の時間表示は

$$60（分）\times \frac{29.97}{30} = 59.94（分） = 59（分）56（秒）$$

となります。

VRモード DVD RW 録画中

ORG 1　0.00.21　録画
午前 8:34:23

タイトル番号／タイトル内の録画時間／動作状態／現在時刻

ORG 1　0.00.42　録画 1CH ステレオ
録画空き時間　1h59m
SP 5.20Mbps(2h00m)

チャンネル表示／音声モード／ディスクの空き時間／録画モード・レートレベル＊4

消える＊2

ビデオモード DVD RW DVD R 録画中

1　0.21　録画
午前 8:34:23

タイトル番号／タイトル内の録画時間／動作状態／現在時刻

1　0.42　録画 1CH ステレオ
録画空き時間　7m
V1　（ 61m）

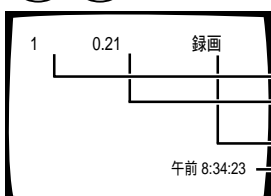
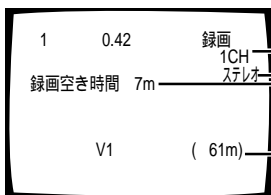
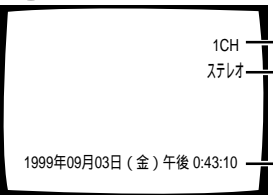
チャンネル表示／音声モード／ディスクの空き時間／録画モード＊4

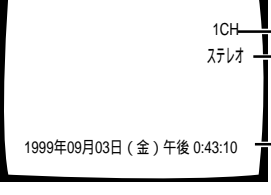
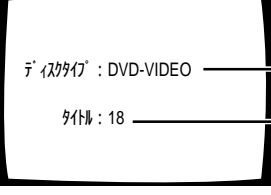
消える＊2

VRモード DVD RW 停止中

1CH　ステレオ
1999年09月03日（金）午後 0:43:10

チャンネル表示／音声モード／現在時刻

ﾃﾞｨｽｸ名：
[　　　　]
ﾃﾞｨｽｸﾀｲﾌﾟ　：DVD-RW
空き時間　：1h38m　SP　(2h00m)
ﾃﾞｨｽｸ予約：ｵﾌ　　ﾃﾞｨｽｸ保護：ｵﾌ
ORGﾀｲﾄﾙ　：7　ORG　CHPﾏｰｸ：11
PL　ﾀｲﾄﾙ　：4　PL　CHPﾏｰｸ：11

ディスク名／ディスクの種類／ディスクの空き時間＊4／ディスク予約 / ディスク保護の状況／オリジナル / プレイリスト内の総タイトル数 / 総チャプターマーク数

消える＊2

DVD VIDEO 停止中

1CH　ステレオ
1999年09月03日（金）午後 0:43:10

チャンネル表示／音声モード／現在時刻

ﾃﾞｨｽｸﾀｲﾌﾟ：DVD-VIDEO
ﾀｲﾄﾙ：18

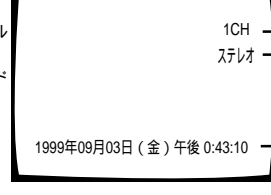
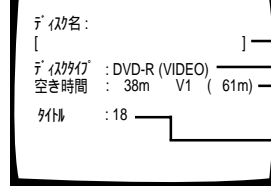
ディスクの特徴／タイトル数

消える＊2

ビデオモード DVD RW DVD R 停止中

1CH　ステレオ
1999年09月03日（金）午後 0:43:10

チャンネル表示／音声モード／現在時刻

ﾃﾞｨｽｸ名：
[　　　　]
ﾃﾞｨｽｸﾀｲﾌﾟ　：DVD-R (VIDEO)
空き時間　：　38m　V1　（ 61m）
ﾀｲﾄﾙ　：18

ディスク名＊3／ディスクの種類／ディスクの空き時間＊4／ディスク内の総タイトル数

＊総タイトル数が99の場合それ以上録画することはできません

消える＊2

＊1　DVD に記録されている映像・音声などの情報量を示す値です。
　　転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが､画質が良いとは限りません。

＊2　情報画面を表示させたままにしておくと、約 80 分で自動的に消えます。

＊3　ファイナライズ操作を行った後は表示されません。

＊4　カッコ内には12cm未記録ディスクを使用したときに録画できる時間を表示します。

録画の前にかならずお読みください

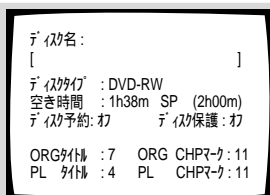
※CD-R/CD-RW は、本機では録音、再生できません。

ディスク情報

本機に VR モード(DVD-RW)またはビデオモード(DVD-R、DVD-RW)のディスクをセットすると、ディスク情報がテレビ画面に表示され、本体表示窓には録画モード・レベルと残り時間が表示されます。

ﾃﾞｨｽｸ名：
[ ]

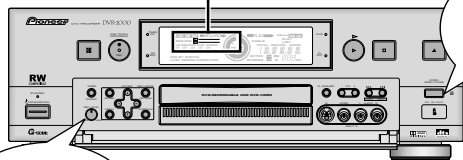
ﾃﾞｨｽｸﾀｲﾌﾟ ：DVD-RW
空き時間 ：1h38m SP (2h00m)
ﾃﾞｨｽｸ予約：ｵﾌ ﾃﾞｨｽｸ保護：ｵﾌ

ORGﾀｲﾄﾙ ：7 ORG CHPﾏｰｸ：11
PL ﾀｲﾄﾙ ：4 PL CHPﾏｰｸ：11

VR モードの場合

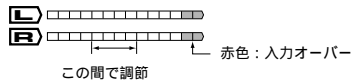
ディスク情報では、ディスクの空き時間や録画したタイトル数などを知ることができます。
録画を行う前に確認しておくとよいでしょう。

- ディスク停止中に［画面表示］ボタンを２回押して表示することができます。（前ページ）
- **VR モードのディスクでは、オリジナルタイトル・プレイリストタイトルをそれぞれ「99」まで作成できます。ビデオモードのディスクでは「99」タイトルまで作成できます。**
- チャプターマークは、１ディスク全体でオリジナル・プレイリストそれぞれ「**999**」まで作成可能です。

音声レベル

録画するときは、本体表示窓の音声レベルを確認してから操作してください。
レベルが大きすぎるときや上がっていないときは、本体の前面ドアを開き、REC LEVEL ツマミを回し、調節してください。

＊通常は、中央に設定します。

音声レベルの調節

通常は、左側４個〜８個の間で点滅するように調節します。右端の赤色が点滅した時は入力オーバーですので、音声レベルを下げてください。

ビデオモード（DVD-R、DVD-RW）で録画するときの注意

ビデオモード（DVD-R、DVD-RW）で録画するときは、下記の内容をお読みになってから操作してください。

- **DVD-RW ディスクへのビデオモード録画には、Ver1.1 以降のディスクを使用してください。**
- **DVD-RWディスクをビデオモードで使用するには、最初にディスクをビデオモードに変更してから録画してください。詳しくは、ディスク設定の「ビデオモードに変更する」（P.124）をお読みください。**
- **ディスクの空き時間は録画するたびに減少します。ファイナライズ操作（P.12、P.123）を行うまでは残りの時間を使って追加録画を行うことができますが、空き時間を録画前の状態に戻したり、上書き録画をしたりすることはできません（DVD-RW ディスクで、最後に録画したタイトルを消去したときに限り空き時間が増えます）。**
- **二カ国語放送の番組を録画する場合、主音声または副音声のどちらで記録するか、あらかじめ選んでください。（P.120）同時に２音声を記録することはできません。**
- **30 秒単位で録画するため、録画を停止した場面のあとの映像が録画される場合があります。**
- **DVD-R ディスクに録画するときは、[録画］ボタンを２回押して録画を開始します。テレビ画面の表示が「録画スタンバイ中」から「録画ボタンをおしてください」に変わってから、２回目のボタンを押します。**
- **編集の「タイトル消去」は、不要なタイトルを表示しないようにする機能です。ディスク内の空き時間は増えませんので、ご注意ください（DVD-RW ディスクで、最後に録画したタイトルを消去したときに限り空き時間が増えます）。**

録画モード

● VR モード（DVD-RW ディスク）の場合

録画するときの画質と録画できる時間を決めるのが録画モードです。録画モードには「SP」と「MN」とがあります。各モードの録画時間は 12cm（4.7GB）の DVD-RW ディスクを使用したときの数値です。

SP（標準モード）

標準となる録画モードです。マニュアルモードの録画レートレベル 21 に相当します。ディスク１枚で約 120 分録画することができます。工場出荷時、録画モードは「SP」に設定されています。

MN（マニュアルモード）
出荷時の設定は録画レートレベル 9 で、ディスク 1 枚で約 240 分録画することができます。
マニュアルレート設定（P.117）で、お好みの録画レートレベルに変更することができます。録画レートレベルを変更すると、録画時間を長くしたり、より高画質で録画したりすることができます。
また、予約録画時は、予約画面でマニュアルモードの録画レートレベルを設定することもできます。

録画レートのレベルは

「画質の良し悪し」と「録画時間」との関係から以下のようになっています。
※ 最も高画質のレベル 32 では録画時間が短くなります。それに対してレベル 1 では画質は下がりますが、長時間の録画が可能です。

※ DVDでの録画はビデオモードとVRモードの一部の録画レートレベルを除き、VBR（可変ビットレート・「VBRコントロール（P.130）」参照）を使用して行われるため、画像によって録画時間が変わります。録画時間は目安としてお考えください。

- **受信状態の悪いテレビ放送などのように録画する映像の画質が悪い場合、上記よりも録画時間が短くなるときがあります。**
- **録画されている時間と空き時間の合計は、表の値とは一致しないことがあります。**
  - 正確な録画時間（上記表）は、録画が終了しないと分かりません。
  - 編集を多く行ったディスクは、ディスク全体の録画可能時間が減ることがあります。
  - 静止画のような画像や、音声のみ等を録画し続けた場合、録画レートレベルの録画時間よりも実際の録画時間が長くなることがあります。

●ビデオモード（DVD-R、DVD-RW ディスク）の場合

**ビデオモードは、「V1（1 時間）」または「V2（2 時間）」のどちらかの録画モードを選びます。
「V1」の方が高画質、「V2」の方が長時間の録画を行います。
本体で選択されているモードで通常の録画、予約録画、G コード予約録画が行われます。
V1（1 時間）モードは、ほぼ VR モードで録画するときの MN32 モードの画質に相当します。
V2（2 時間）モードは、VR モードで録画するときの SP モードの画質に比べて動きの速い場面等でマクロブロック（モザイク状の画像）が目立つことがあります。
録画する前に、V1 と V2 の画質を確認することをおすすめします（P.119）。**

録画できない映像について

● コピーガードが入っている映像は、録画することができません。
例）・ DVD-VIDEO
・ CS 放送のペイ・パー・ビュー　など

●本機の外部入力端子（L1 ～ L3）につないだ機器の映像にコピーガードが含まれている場合、正しい映像が得られない場合があります。
例）・正確な輝度で出力されない
・アスペクト比（P.130）などの情報が正しく出力されない
このような機器は、本機を通さず直接 TV に接続してください。

● 録画中のソース映像に途中から複製禁止信号が入っているなどした場合、その時点で録画が一時停止状態になります。複製禁止信号がなくなると再び録画を開始しますが、複製禁止信号が入っている部分の映像は録画されません。このような場合、画面には

録画禁止の映像がありました
ディスクを出すと、この表示は消えます

と表示されますので、いったんディスクを取り出して、表示を消してください。（それ以外の操作では表示は消えません）

ディスクの空き時間を増やすには

**VR モードの場合、録画したオリジナルタイトルの消去や A-B 消去でディスクの空き時間を増やすことができます。不要な部分を消去することで 1 枚のディスクでも繰り返し録画を行うことができ、画質も劣化することがありません。空き時間を増やすには、「タイトル単位で消去する（P.92）」「選んだ場面を消去する（P.93）」「全タイトルを消去する（P.96）」をお読みになり、操作してください。
ディスクの空き時間は、本機にディスクをセットしたとき、ディスク情報を表示したときに知ることができます。**

テレビ番組を録画します

1 テレビの電源を入れ、テレビを「ビデオ入力」に切り換えます。

● 本機をつないだテレビの入力端子の番号に切り換えます。
例）ビデオ：2
● アンプやスピーカーなどのオーディオ機器をつないだときは、それらの電源も入れてください。

2 本機の電源を入れます。

本機に電源が入り、STANDBY
インジケーターが消えます。

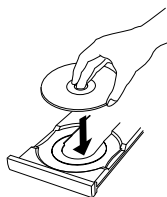
3 ディスクテーブルを出します。

前面部のドアが開き、
中からディスクテーブルが出てきます。

4 ガイドに合わせて録画用のディスクを置きます。

● 印刷面を上側に向けてセットします。
● ディスクに汚れ、傷、結露はないか確認してからセットしてください。

5 ディスクテーブルを閉めます。

オープン/クローズ

ディスクテーブルが引き込まれ、
前面部のドアが閉まります。

一度も録画していない DVD-RW ディスクをセットした場合、VR フォーマットで自動的に初期化が行われますので、しばらくお待ちください。

・ **DVD-RWディスクの場合は、最初に録画するモード（VRモード、ビデオモード）を決定します（途中で変更する事はできません）。モードについては「DVDについて」（P.10/11）、「録画の前に必ずお読みください」（P.50/51）をご覧ください。また、モードを変更する場合は「ビデオモードに変更する」（P.124）をご覧ください。**

6 録画したいチャンネルに切り換えます。

録画したいチャンネルの映像であるかを
テレビ画面で確認しながら、操作します。

チャンネル

※ DVD（本機）のチャンネル切り換えボタンです。

● **停止中は、数字ボタンを押してチャンネルを切り換えることができます。**

例）3ch → 3 を押します。

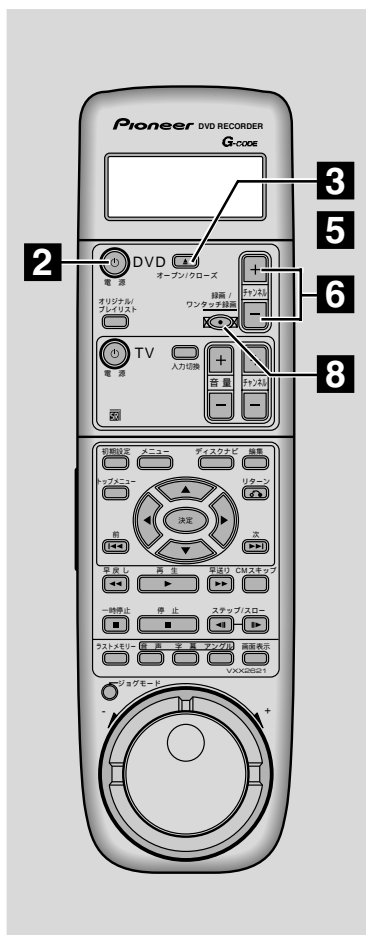
12ch → を押します。

BS11ch → BS を押します。

● **録画するチャンネルを確認するには**
本機の表示窓内のチャンネル表示を確認してください。
ここに表示されているチャンネルの番組が録画されます。
● 音声レベルを調節する時は、前面ドア内部の「REC LEVEL」ツマミで調節します（P.50）。

知ってて便利！

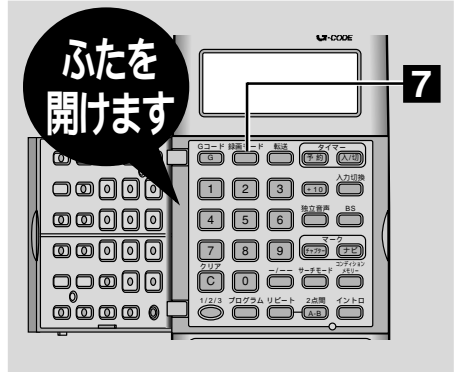
録画中に裏番組を見る

**録画中は
テレビのチャンネルを変えて
裏番組を見ることができます。
テレビの入力切り換えを
「テレビ」にした後、
チャンネルを変えます。
また、テレビの電源を切る
こともできます。**

7 録画モードを切り換えます。

録画モード

［録画モード］ボタンを一度押すと、本体表示窓およびテレビ画面に現在の状態を表示します。表示中に押すとモードが切り換わります。

● VR モードのとき　SP ←→ MN
MNモードの場合、「◄►」が表示されている間にカーソルボタン（◄►）を操作すると、MNモードの録画レートレベルを変更することができます。

●ビデオモードのとき　V1 ←→ V2

8 録画します。

録画 / ワンタッチ録画

- DVD-RW の場合、テレビ画面に「録画」と表示され、録画を開始します。
- DVD-R の場合、テレビ画面に「録画スタンバイ中です」と表示されます。数秒後に「録画ボタンをおしてください」と表示されたら、もう一度［録画 / ワンタッチ録画］（録画）ボタンを押し、録画を開始します。

録画を停止するまで、またはディスクがいっぱいになるまで録画が続きます。
録画時間を決めたい場合は、ワンタッチ録画（P.54）が便利です。

●録画を一時停止する

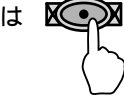
1 録画を一時停止します。

一時停止

テレビ画面に「一時停止」と表示されます。

● VR モードのディスクの場合、録画中に一時停止すると、その場面に自動的にチャプター区切りが入ります。

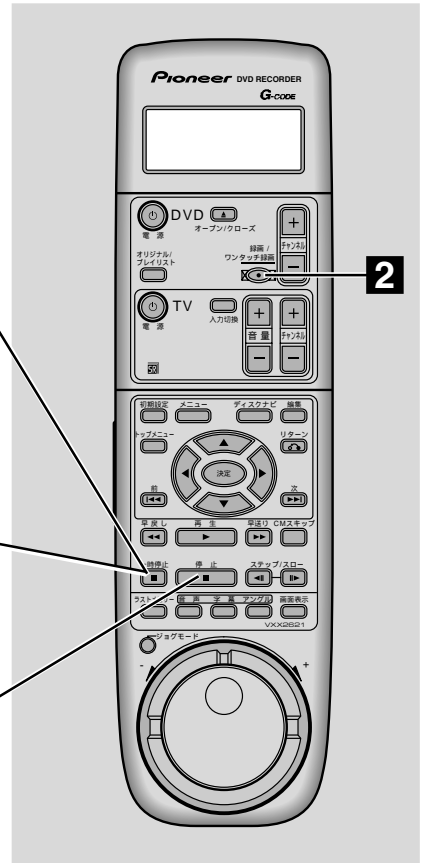
2 録画を再開します。

一時停止が解除され、続きを録画します。

●録画を停止する

1 録画を停止します。

停　止

テレビ画面に「停止」と表示されます。

● ディスクを取り出す前には録画を停止してください。
● テレビ画面の「しばらくお待ちください」の表示が消えてから、次の操作を行ってください。

- ビデオモードの場合、30 秒単位で録画を行うため、録画を停止した後の映像が録画される場合があります。この場合、録画を一時停止してから停止すると 30 秒以下の黒い映像を録画することができます。
- 録画したタイトルが不要になったときは、タイトルを消去してください（P.92，99）。VRモードで録画した場合、消去したタイトルの分だけ、ディスクに空き時間が増えます。ビデオモードで録画した場合、タイトルは見えなくなりますが、空き時間は増えません（DVD-RWディスクで、最後に録画したタイトルを消去したときに限り空き時間が増えます）。

録画時間を設定する（OTR: ワンタッチ録画）

録画ボタンを押す回数によって、いまから30分だけ、60分だけ録画する、というように30分単位で録画時間を簡単にセットすることができます。ただしディスクの残り時間が足りない場合は、設定した時間を録画できませんので ご注意ください。

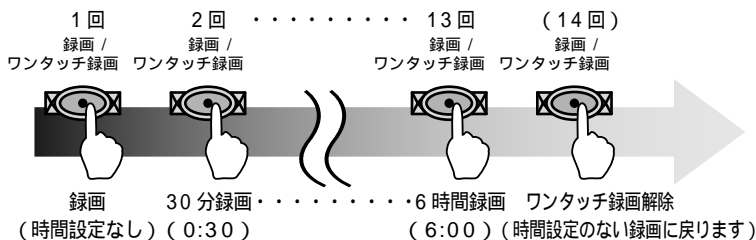
1 録画までの操作を行います。

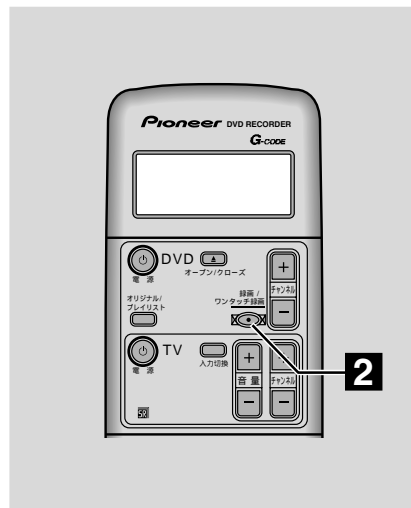
録画の操作 1 ～ 7 と同様です。（P.52/53）
DVD-Rディスクの場合、続いて[録画/ワンタッチ録画]ボタンを押します。テレビ画面に「録画ボタンを押してください」と表示されてから、手順2に進みます。

2 録画したい時間に合わせてボタンを続けて押します。

テレビ画面に「ワンタッチ録画」と録画の時間が表示されます。

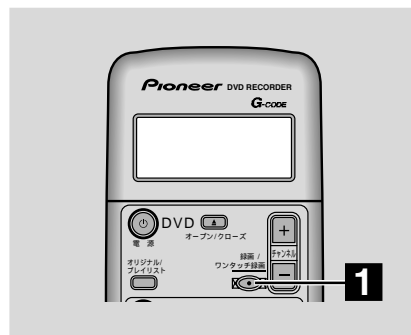
1回 録画/ワンタッチ録画　2回 録画/ワンタッチ録画　・・・・・・・・・・　13回 録画/ワンタッチ録画　（14回）録画/ワンタッチ録画

録画（時間設定なし）　30分録画（0:30）・・・・・・・・・6時間録画（6:00）　ワンタッチ録画解除（時間設定のない録画に戻ります）

● 最大360分（6時間）まで設定できます。
ワンタッチ録画で指定した時間が終了すると、自動的に電源がオフになります。

・3秒以上経ってからボタンを押した場合、通常の録画に戻ります（ワンタッチ録画解除）。ワンタッチ録画を解除したあとも、再びワンタッチ録画を設定することができます。

●ワンタッチ録画を解除する

1 ワンタッチ録画中に［録画／ワンタッチ録画］ボタンを押します。

録画/ワンタッチ録画

「ワンタッチ録画0.00」が表示され、時間設定なしの録画になります。停止するまで録画は続きます。

●予約録画を延長する

予約録画中の録画をいったん通常の録画に戻し、そのあとワンタッチ録画の操作をすると予約録画を延長することができます。スポーツ中継が延びて、予約した番組の放送時間がずれてしまった、というときに便利です。

1 予約録画を解除します。

タイマー　予約　入/切

予約録画は解除しますが、
録画はそのまま続き「通常の録画」になります。

2 録画したい時間をセットします。

録画/ワンタッチ録画

タイマー予約で録画します

DVD RW　DVD R

テレビ番組などをタイマー予約録画します。
予約した日時になると自動的に録画を開始します。
留守中に放送される番組や深夜の番組を録画するときに便利です。

タイマー予約録画は
最大 8 番組までセットすることができます。

※ G コード予約録画を含みます。

タイマー予約録画は
1 カ月先までセットすることができます。

「毎週木曜日」のように
定期的に同じ番組の録画をセットすることができます。

注意！

ディスク予約（P.63）や CS 録画（P.68）と併用することはできません。
ビデオモードで予約録画する場合
- **録画モードは本体で選択されている「V1」または「V2」モードで録画されます。予約画面でのモード選択はできません。**
- **予約内容と照合し、ディスクの空き時間を計算する機能はありません。**

1 テレビの電源を入れ、テレビを「ビデオ入力」に切り換えます。

- 本機をつないだテレビの入力端子の番号に切り換えます。
  例）ビデオ：2
- アンプやスピーカーなどのオーディオ機器をつないだときは、それらの電源も入れてください。

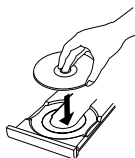
2 本機の電源を入れます。

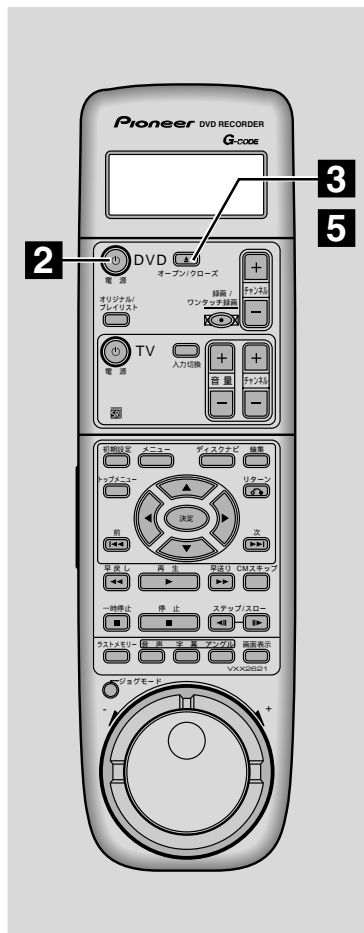
本機に電源が入り、STANDBY インジケーターが消えます。

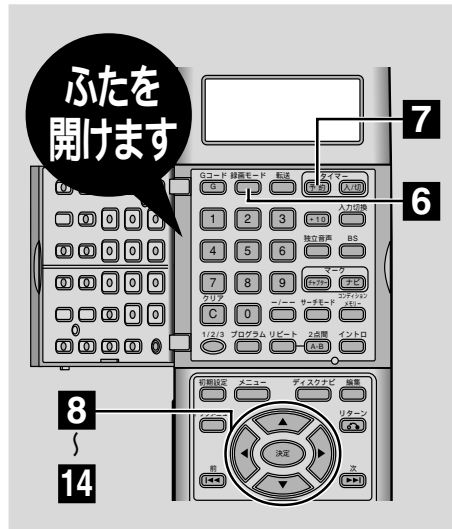
3 ディスクテーブルを出します。

前面部のドアが開き、
中からディスクテーブルが出てきます。

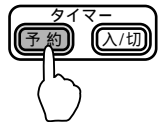
4 ガイドに合わせて録画用のディスクを置きます。

- 印刷面を上側に向けてセットします。
- ディスクに汚れ、傷、結露はないか確認してからセットしてください。

5 ディスクテーブルを閉めます。

ディスクテーブルが引き込まれ、
前面部のドアが閉まります。
一度も録画していない DVD-RW ディスクをセットした場合、VR フォーマットで自動的に初期化が行われますので、しばらくお待ちください。

6 ビデオモードのときは、録画モードを選びます。

● テレビ画面または本体表示窓に表示される録画モード「V1」または「V2」の表示を確認してください。

7 予約画面を表示します。

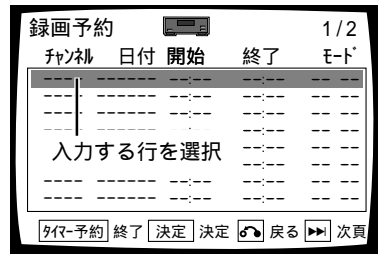
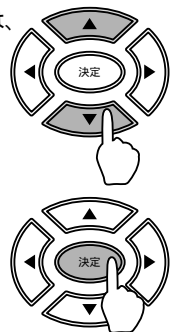
テレビ画面に予約画面が表示されます。

例）25日（水）の午後2時から
2時30分まで1chを標準モードで
録画予約する場合

8 予約画面で入力する行を選びます。

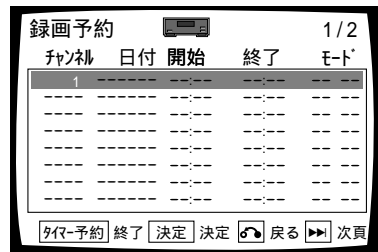
※ タイマー予約が1つも入っていないときは、すぐに②の操作をします。

①選択したい行を選びます。

選んだ行は色が変わります。

②入力する行を決定します。

9 チャンネルを設定します。

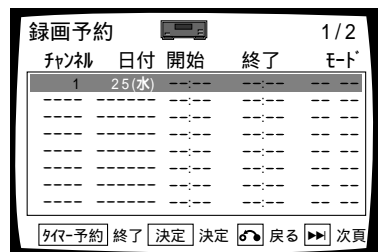
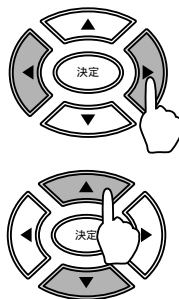
①予約する表示チャンネルを選びます。

地上波放送チャンネル
↕
CATVチャンネル
↕
BSチャンネル
↕
外部チャンネル　　の順にチャンネル表示が切り変わります。

10 日付を設定します。

①日付の列を選びます。

日付の文字色が変わります。

②予約する日付を選びます。

日にち
↕
毎日曜･･･毎土曜
↕
月-金
↕
月-土
↕
毎日　　の順に日付表示が切り変わります。

11 開始時刻を設定します。

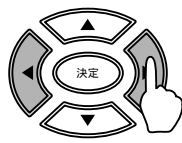
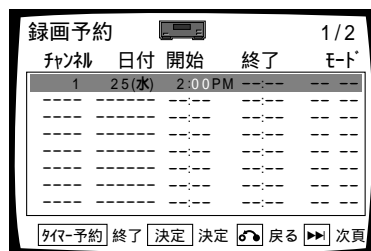
①開始時刻の列（時分）を選びます。

開始時刻（時分）の文字色が変わります。

②予約する番組の開始時刻（時分）を選びます。

録画予約　1/2

チャンネル	日付	開始	終了	モード
1	25(水)	2:00PM	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --

タイマー予約 終了　決定 決定　戻る　次頁

12 終了時刻を設定します。

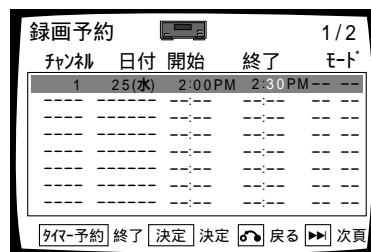
①終了時刻の列（時分）を選びます。

終了時刻（時分）の文字色が変わります。

②予約する番組の終了時刻（時分）を選びます。

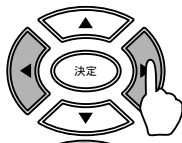
録画予約　1/2

チャンネル	日付	開始	終了	モード
1	25(水)	2:00PM	2:30PM	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --

タイマー予約 終了　決定 決定　戻る　次頁

13 録画モードを設定します。

ビデオモードのときは、6で設定された録画モードになります。ただしこの項目を空白にすると入力内容が決定されませんので、SP/MN どちらかを設定してください。

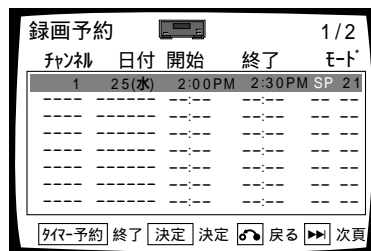
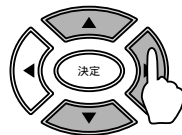
①録画モードの列を選びます。

録画モードの文字色が変わります。

②録画モードを選びます。

「SP」 ←→ 「MN」

● 録画モードとして「MN」（マニュアル）を選んだ場合、さらに「録画レートレベル」（P.51）を設定します。

③録画レートレベルの列を選び、レートレベルを選びます。

●この番組に対してのみ、MNモードの録画レートレベルが設定されます。

14 予約の内容を決定します。

選択した行の設定をすべて完了します。

● さらに他の番組についても予約を続けて行いたい場合は、操作 8 ～ 14 を繰り返します。

● 音声レベルを調節する時は、前面ドア内部の「REC LEVEL」ツマミで調節します（P.50）。

ビデオモードで録画する場合は、手順 16 へ進みます。

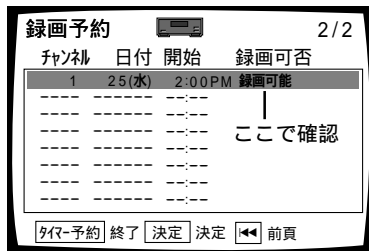
15 録画可否を確認します。

設定された予約内容とディスクの空き時間を
計算し、設定した予約録画の可否を表示します。

●「録画可能」の表示がなくても、空き時間の許す限り録画します。
●ジャスト録画機能（P.118）を使用すると、ディスクの空き時間不足で番組が録画しきれないとき、できるだけ空き時間内に録画することができます。
予約録画（タイマー、Gコード）または、ディスク予約録画でジャスト録画機能が働きます。

録画予約			2/2
ﾁｬﾝﾈﾙ	日付	開始	録画可否
1	25(水)	2:00PM	録画可能
----	------	--:--	
----	------	--:--	
----	------	--:--	
----	------	--:--	
----	------	--:--	
----	------	--:--	

ここで確認

タイマー予約 終了　決定 決定　⏮ 前頁

●録画可否の列には、次の表示がされます。

・ 日にち指定の予約（1 回のみの予約）
「録画可能」
・ 曜日指定および毎日指定の予約
録画可能な最後の日にちを表示します。

●何も表示されない場合は、以下のような理由により録画できない、または終了時間まで録画できないことが考えられます。

ディスクの空き時間が不足している。

（対処その 1）
① ［予約］ボタンで予約画面を終了する。
② 空き時間の多い別のディスクに入れ換える。
③ ［予約］ボタンで予約画面を表示する。
④ ［▶▶|］ボタンで再び録画可否を確認する。

（対処その 2）
① ［|◀◀］ボタンで予約画面へ戻る。
② 録画モードを「MN」（マニュアル）にして、録画レートレベルを、現在の設定よりも低く設定する。
③ ［▶▶|］ボタンで再び録画可否を確認する。

（対処その 3）
① ［予約］ボタンで予約画面を終了する。
② 不要なタイトルを消去（P.92）する。
③ ［予約］ボタンで予約画面を表示する。
④ ［▶▶|］ボタンで再び録画可否を確認する。

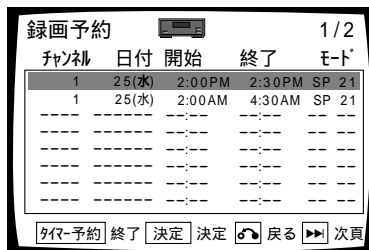
オリジナルのタイトル数が 99 ある。

録画できるタイトル数は、99 までです。
（対処その 1）
① ［予約］ボタンで予約画面を終了する。
② 不要なタイトルを消去（P.92）する。
③ ［予約］ボタンで予約画面を表示する。
④ ［▶▶|］ボタンで再び録画可否を確認する。

ディスク保護がオンに設定されている。

（対処その 1）
① ［予約］ボタンで予約画面を終了する。
② ディスク保護を解除する（P.121）。
③ ［予約］ボタンで予約画面を表示する。
④ ［▶▶|］ボタンで再び録画可否を確認する。

開始時刻が同じ予約が、予約画面で上の行にある。

開始時刻が同時刻の予約がある場合は、予約画面で上の行にある予約が優先されます。
（対処その 1）
① ［|◀◀］ボタンで予約画面へ戻る。
② 予約録画したい方の予約が上の行に来るように設定をやり直す。

上にある
行が優先

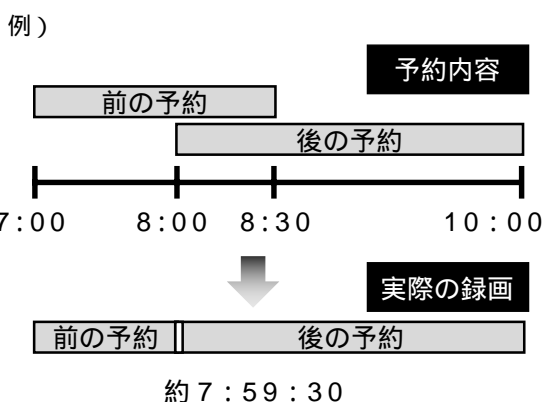
●録画可否についての注意

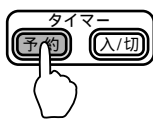
- 録画可否の計算は、計算日より最大1か月先までしか行いません。
- 予約録画の時間が重なっている場合は後の予約が優先されて前の予約は途中までしか録画されませんが、このような場合はどちらの予約に対しても「録画可能」と表示されます。
- 録画の状況においては、録画可否の表示通りにならない場合もあります。（ディスクにキズなどがあり、正常に録画できなかった場合など）
- 録画可否の計算は、ジャスト録画の設定（P.118）を考慮して行います。

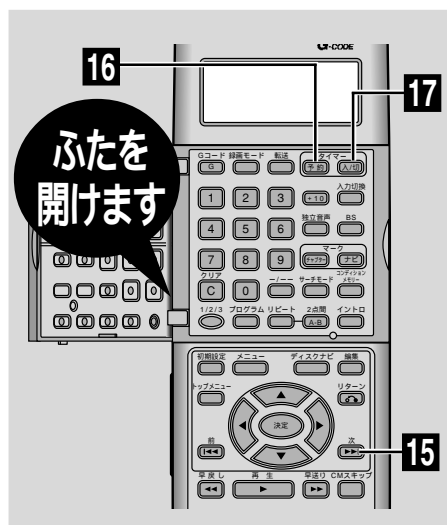
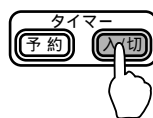
●予約録画についての注意

- 時計合わせが設定されていないと、予約録画を行うことができません。（『最初にお読みください』P.35）
- 現在の日時よりも過去の予約は消去されます。
- 以下の場合には、予約録画のセットができません。
  - 時計合わせが設定されていない。
  - 予約が 1 つも設定されていない。
  - 録画中である。
  - セットしているディスクが、録画可能ディスクではない。（P.10）
  - セットしているディスクが、ディスク保護の設定になっている。（P.121）
  - セットしているディスクのオリジナルタイトル数が 99 ある。
- 予約録画中にディスクの空きがなくなると、予約録画を解除し、メッセージを表示します。
- 録画の開始時刻が同じ予約がある場合は、予約画面で上の行にある予約が優先されます。下の行の予約録画は行われません。
- 予約の終了時刻と別の予約の開始時刻が同じ場合は、先に録画される予約は、終了時刻の約30秒前に録画が終了されます。
- 予約録画の時間が重なっている場合は、重なっている前の予約は録画途中で中断され、重なっている後の予約が録画されます（下図）。*

＊ 重なっている前の予約は、重なっている後の予約の開始時刻の約 30 秒前まで録画されます。

例）

16 予約画面を終了します。

予約画面が消えます。
- ● すぐに予約録画をセットする場合、本操作を省略することができます。

17 予約録画をセットします。

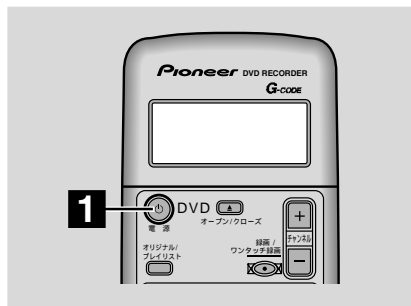
「TIMER ON」インジケーターが点灯し、本機の電源がオフになります。
- ●ビデオモードの場合、画面に表示される録画モードを確認してください（例：V1 で録画します）。

●予約録画のセット、予約録画中についての注意

- 予約の録画中は、［DOOR OPEN/CLOSE］、［FL DIMMER］、［画面表示］、［TIMER ON/OFF］および［タイマー 予約 入/切］ボタンしか受け付けません。
  すべてのボタンを受け付けるには、［TIMER ON/OFF］または［タイマー 予約 入/切］ボタンを押して予約録画を中止させる必要があります。
- 予約録画がセットされている場合は、予約の開始時刻の約 2 分前に電源が入り、予約録画の準備を始めます。

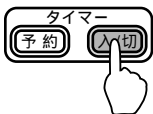
●セットした予約録画を解除するには（録画がまだ始まっていないとき）

1 本機の電源を入れます。

本機に電源が入り、「TIMER ON」インジケーターが消えます。

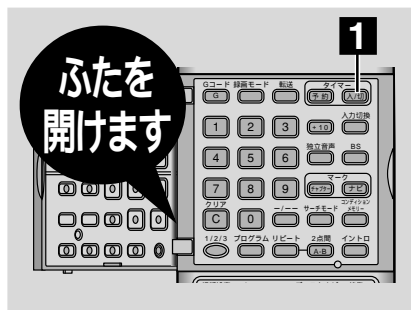
● 本機の DOOR ボタン、ディスクテーブル開閉(▲)ボタン、再生(►)ボタンのいずれかでも電源が入り、予約録画のセットを解除します。

●予約録画を中止するには（録画中のとき）

1 通常の録画に戻します。

予約が解除され、そのまま通常の録画が続きます。

いったん予約録画を中止すると、それ以降の予約録画は行われません。

● さらに［停止 ■］ボタンを押すと、録画が停止します。

Gコード予約で録画します

DVD RW　DVD R

新聞や雑誌などのテレビ欄に記載されているGコード番号を入力して、予約録画します。
Gコードシステムで予約すると録画のチャンネル、日付、開始時刻、終了時刻などが自動的にセットされるため、設定の手間が省け、簡単に予約できます。

知ってて便利!

Gコード予約録画は
最大8番組までセットすることができます。
※タイマー予約録画を含みます。

Gコード予約録画の延長・解除は
通常の予約録画と同じ方法です。
(54/60ページ)

- ディスク予約(P.63)やCS録画(P.68)と併用することはできません。
- ビデオモードで予約録画する場合、
  - 録画モードは本体で選択されている「V1」または「V2」モードで録画されます。予約画面でのモード選択はできません。
  - 予約内容と照合し、ディスクの空き時間を計算する機能はありません。

1 ディスクをセットします。

録画の操作 1 ～ 5 と同様です。(P.52)

2 ビデオモードの場合は、ここで録画モードを選びます。

録画モード

- テレビ画面または本体表示窓に表示される録画モード「V1」または「V2」の表示を確認してください。

3 Gコード入力を始めます。

リモコンの液晶部にカーソルが表示されます。

4 Gコード番号を入力します。

録画したい番組のGコード番号を入力し、液晶部に表示された数字が正しいかを確認します。

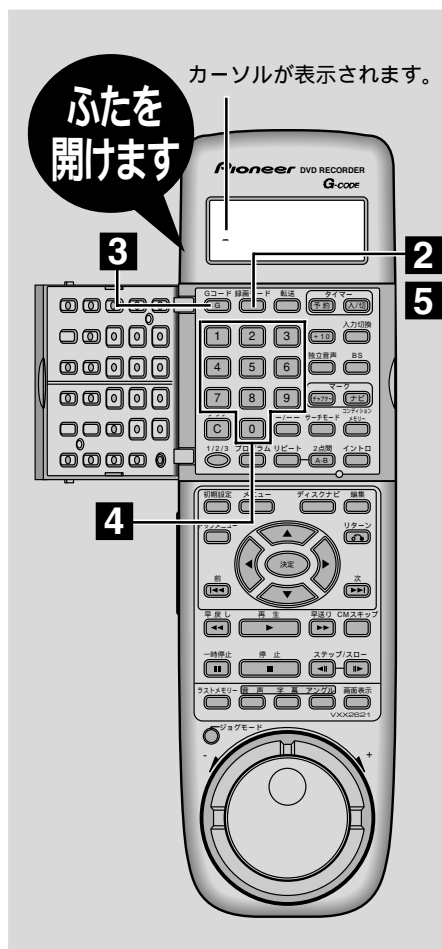
例）20362の場合............

- 入力の取り消しは クリア C を押します。
- 約30秒間入力がないと、Gコード入力が解除されます。その場合は、3 の操作からやり直してください。

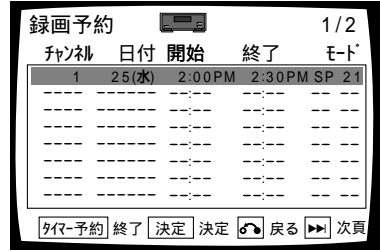
5 VRモードの場合は、ここで録画モードを設定します。

液晶部に設定する録画モードを表示します。
ボタンを押すごとにモードが切り換わります。

→ 表示なし → SP → MN →

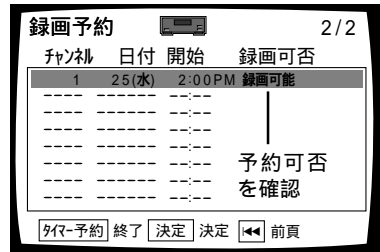
- 録画モードを設定しない場合や、表示なしを選んだ場合は、本機で現在選択されている録画モードになります。
- あとから予約画面で録画モードや録画レートレベルを変更することもできます。

6 本機にGコード情報を転送します。

転送終了時にはブザー音が鳴り、
予約画面が表示されます。

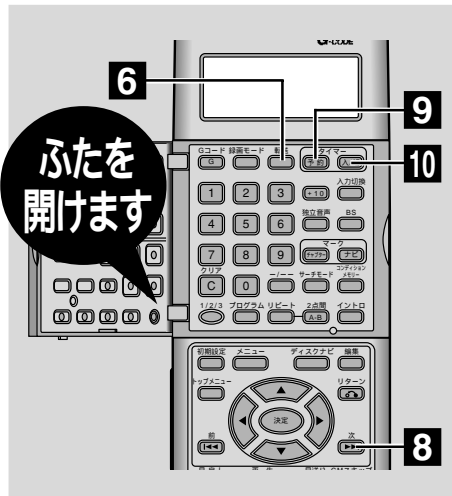
● 転送時のブザー音は、オフにすることもできます。（P.106）

7 予約画面で確認します。

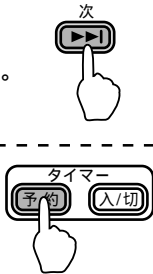
Ｇコード番号を入力した番組の予約が
正しく入っているかを確認します。

● さらに他の番組についても予約を続けて
行いたい場合は、操作 4 ～ 7 を繰り返します。

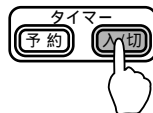
● 音声レベルを調節する時は、前面ドア内部の
「REC LEVEL」ツマミで調節します。

**ビデオモードで録画する場合は、
手順 9 へ進みます。**

8 予約可否を確認します。

詳しくは、P.58/59 を参照してください。

9 予約画面を終了します。

予約画面が消えます。

● すぐに予約録画をセットする場合、
本操作を省略することができます。

10 予約録画をセットします。

「TIMER ON」インジケーターが点灯し、
本機の電源がオフになります。

● ビデオモードの場合、画面に表示される録画
モードを確認してください（例：V1 で録画します）。

● G コード予約についての注意

- **G コード予約は、予約画面の空いた行に上から順に設定されます。**
- **以下の場合には、G コード予約の設定が行われません。**
  - 電源が「切」の状態である。
  - ディスクを再生中である。
  - 録画中または予約録画の準備中である。
  - セットしているディスクが、録画可能ディスクではない。（P.10）
  - 時計合わせが設定されていない。
  - 予約がすでにいっぱいである。
- **G コード予約で指定されたチャンネルが設定されずに外部入力 2（L2）が設定される場合は、ガイドチャンネルの設定が正常でないことが考えられます。ガイドチャンネルの設定を行ってください。（『最初にお読みください』P.32）**

ディスク予約で録画します

ディスクに予約機能を持たせるのが「ディスク予約」です。P.55 ～ P.62 の通常の予約録画（本体での予約録画）に対して、ディスク予約はディスクごとに予約内容を持たせて予約録画します。そのため、同じ番組を１枚のディスクに録画するときや、自分だけの専用ディスクとして予約録画するときに便利です。

ディスク予約の予約録画は
１ディスクに最大 8 番組まで設定することができます。

ディスク予約の予約設定は
通常のタイマー予約、G コード予約などの方法で行います。

- 本体での予約録画に使用するディスクとは別に、ディスク予約用に VR モードの DVD-RWディスクを用意してください。
- 本体での予約録画と併用することはできません。
- ビデオモードではディスク予約はできません。

ディスク予約をオンにする

VR モードの DVD-RW ディスクを「ディスク予約」用に設定して、そのディスクに予約録画の設定をします。

1 テレビの電源を入れ、テレビを「ビデオ入力」に切り換えます。

- 本機をつないだテレビの入力端子の番号に切り換えます。
  例）ビデオ：2
- アンプやスピーカーなどのオーディオ機器をつないだときは、それらの電源も入れてください。

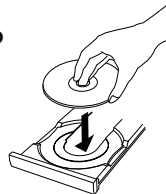
2 本機の電源を入れます。

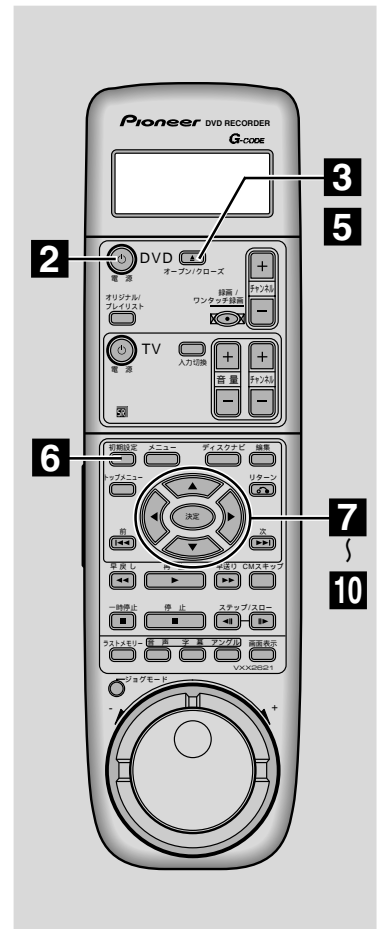
本機に電源が入り、STANDBY インジケーターが消えます。

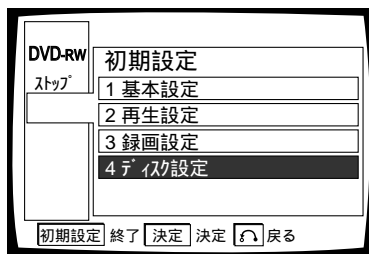
3 ディスクテーブルを出します。

前面部のドアが開き、
中からディスクテーブルが出てきます。

4 ガイドに合わせてディスク予約する録画用のディスクを置きます。

- 印刷面を上側に向けてセットします。
- ディスクに汚れ、傷、結露はないか確認してからセットしてください。

5 ディスクテーブルを閉めます。

ディスクテーブルが引き込まれ、
前面部のドアが閉まります。
一度も録画していない DVD-RW ディスクをセットした場合、VR フォーマットで自動的に初期化が行われますので、しばらくお待ちください。

6 初期設定画面を表示します。

初期設定画面

7 ［ディスク設定］を選択します。

①［ディスク設定］に
　合わせます。

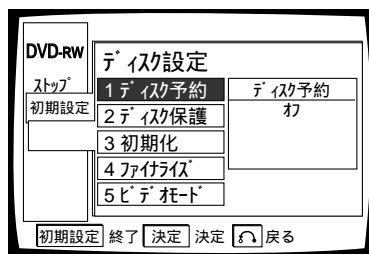
②決定します。

「ディスク設定」画面が表示されます。

8 ［ディスク予約］を選択します。

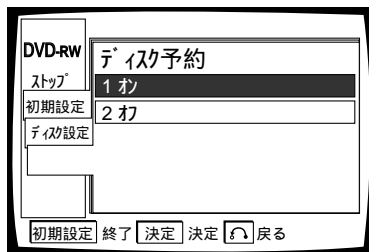
①［ディスク予約］に
　合わせます。

②決定します。

「ディスク予約」画面が表示されます。

9 ［オン］を選択します。

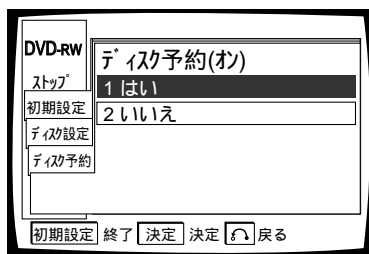
①［オン］に合わせます。

②決定します。

「ディスク予約オン」画面が
表示されます。

10 ［はい］を選択します。

①［はい］に合わせます。

②決定します。

予約録画画面が表示されます。

11 ディスク予約で予約録画の設定をします。

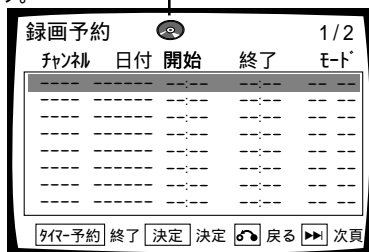
タイマー予約の操作 8 〜 17（P.56/57）、または
G コード予約の操作 3 〜 10（P.61/62）の要領で
設定します。

**予約内容がなくなったときにディスクを取り出すと、
自動的にディスク予約がオフに戻ります。**

ディスク予約のときに
表示されます。

録画予約　1/2

ﾁｬﾝﾈﾙ	日付	開始	終了	ﾓｰﾄﾞ
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --
----	------	--:--	--:--	-- --

ﾀｲﾏｰ予約 終了 決定 決定 戻る 次頁

ディスク予約をするには

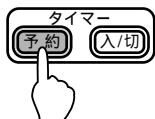
ディスク予約で予約設定したディスクをセットして、予約録画の待機状態にします。

1 ディスクをセットします。

P.63 の操作 1 ～ 5 の要領で、ディスク予約をオンにしたディスクをセットします。
本体表示窓に「RESERVED」が表示されます。

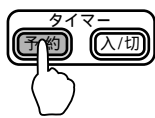
2 予約の内容を確認します。

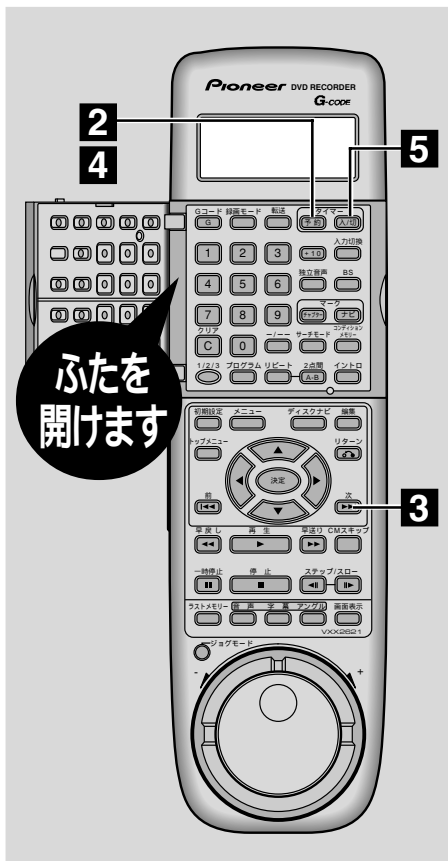
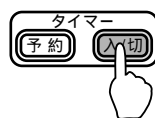
予約画面が表示されますので、
ディスク予約の内容を確認してください。

タイマー
予約　入/切

3 予約可否を確認します。

詳しくは、P.58/59 を参照してください。

4 予約画面を終了します。

予約画面が消えます。
- すぐに予約録画をセットする場合、本操作を省略することができます。

5 予約録画をセットします。

「TIMER ON」インジケーターが点灯し、
本機の電源がオフになります。

ディスク予約の予約内容を変更、追加するには
P.66「予約した内容を確認・変更します」をお読みになって操作してください。

ディスク予約録画の延長・解除は
通常の予約録画と同じ方法です。
（P.54/60）

●本体の予約とディスク予約の関係

- **本体の予約かディスク予約かは、予約画面で表示されるマークで区別できます。本体の予約のときは ▭ 、ディスク予約のときは ◎ が表示されます。**
- **本体の予約とディスク予約の併用はできません。**
- **以下の場合には、ディスク予約がオンとなります。**
  - ディスク予約をしたディスクをセットし、ディスクの内容を読み込んで予約があった場合。
  - 初期設定画面で、ディスク予約を「オン」にした場合。
- **以下の場合には、本体の予約となります。**
  - ディスクを取り出した場合。
  - ディスクをセットし、ディスクの内容を読み込んで予約がない場合。
  - 初期設定画面で、ディスク予約を「オフ」にした場合。（このとき、設定されているディスク予約の内容はすべて消去されます。）

予約した内容を確認・変更します

本体の予約の場合、ディスクの有無に関係なく、予約録画が開始するまでは、予約画面で内容を確認したり、変更したりすることができます。
ディスク予約の場合は、予約内容が記録されたディスクをセットしてから予約画面の内容を変更します。

1 テレビの電源を入れ、テレビを「ビデオ入力」に切り換えます。

● 本機をつないだテレビの入力端子の番号に切り換えます。
例）ビデオ：2

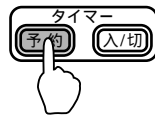
2 本機の電源を入れます。

本機に電源が入り、STANDBY
インジケーターが消えます。

3 ディスク予約のときはディスクをセットします。

※ 本体の予約（タイマー予約や G コード予約）の場合、
特にディスクをセットする必要はありません。

4 予約画面を表示します。

テレビ画面に予約画面が
表示されます。

5 予約画面で変更する行を選びます。

● 予約画面を確認するだけの場合、操作 9 へ進みます。

① 変更したい行に合わせます。

②変更する行を決定します。

録画予約 1/2

ﾁｬﾝﾈﾙ	日付	開始	終了	ﾓｰﾄﾞ
1	今日	2:00PM	2:30PM	SP 21
4	17(土)	11:00AM	11:30AM	SP 21
8	月ー土	11:00AM	11:30AM	SP 21
10	月ー金	8:00PM	9:00PM	MN 12
12	18(日)	5:00PM	6:30PM	MN 10
3	19(月)	11:00AM	11:30AM	SP 21
6	20(火)	2:00PM	2:45PM	MN 9
1	20(火)	3:00PM	4:00PM	MN 8

ﾀｲﾏｰ予約 終了　決定 決定　戻る　次頁

変更する行を選択

6 変更する項目列を選びます。

ビデオモードの録画
モード変更は予約画面を終了した後に 録画モード ボタンで操作してください。

録画予約 1/2

ﾁｬﾝﾈﾙ	日付	開始	終了	ﾓｰﾄﾞ
1	今日	2:00PM	2:30PM	SP 21
4	17(土)	11:00AM	11:3[illegible]AM	SP 21
8	月ー土	11:00AM	11:3[illegible]AM	SP 21
10	月ー金	8:00PM	9:[illegible]PM	MN 12
12	18(日)	5:00PM	6:[illegible]PM	MN 10
3	19(月)	11:00AM	11:3[illegible]AM	SP 21
6	20(火)	2:00PM	2:[illegible]PM	MN 9
1	20(火)	3:00PM	4:[illegible]PM	MN 8

ﾀｲﾏｰ予約 終了　決定 決定　戻る　次頁

変更する項目列を選択

7 選択内容を選び直します。

8 変更した予約内容を決定します。

● 他の番組についても予約の変更を続けて行いたい場合は、操作 5 ～ 8 を繰り返します。

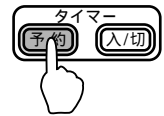
9 予約画面を終了します。

予約画面が消えます。

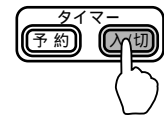
予約録画をセット

ふたを開けます

9

5 ～ 8

●予約録画をセットするには

1 予約録画をセットします。

「TIMER ON」インジケーターが点灯し、本機の電源がオフになります。

●予約内容を削除するには

1 予約画面で削除する行を選びます。

① **削除したい行に合わせます。**

② **削除する行を決定します。**

2 クリア C を押します。

●予約録画のセットを解除するには

1 本機の電源を入れます。

● 本機の DOOR ボタン、ディスクテーブル開閉(⏏)ボタン、再生(►)ボタンのいずれかでも電源が入り、予約録画のセットを解除します。

CS 放送の番組を自動で録画します(CS REC)

本機の CS 録画機能をオンにしておくと、CS 放送の予約機能により CS 放送の録画を簡単に行うことができます。
CS チューナーから出力される映像信号を本機がキャッチし、CS 放送の録画を自動的に開始し、終了します。
CS 放送の受信契約のもと、CS アンテナが接続された CS チューナーが本機に接続されている場合に利用することができます(『最初にお読みください』P.13「CS チューナーをつなぐには」参照)。

- CS 録画中は、手動録画やワンタッチ録画の操作は受け付けません。
- 他の予約録画と併用することはできません。
- CS チューナーからの映像信号をキャッチしてから本機の電源が入るため、番組の冒頭部分が録画されない場合があります。
- CS 録画機能をオンにする前に、CS チューナーを予約スタンバイ状態（電源オフ）にしてください。電源が入っていると設定した時間に関係なく録画が開始されます。

1 CS チューナー側で番組の予約を行います。

詳しい操作は、CS チューナーに付属の取扱説明書などをお読みください。

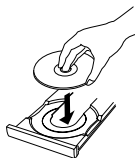
2 本機の電源を入れます。

本機に電源が入り、STANDBY
インジケーターが消えます。

3 ディスクテーブルを出します。

前面部のドアが開き、
中からディスクテーブルが出てきます。

4 ガイドに合わせて録画用のディスクを置きます。

- 印刷面を上側に向けてセットします。
- ディスクに汚れ、傷、結露はないか確認してからセットしてください。

5 ディスクテーブルを閉めます。

ディスクテーブルが引き込まれ、前面部のドアが閉まります。
一度も録画していない DVD-RW ディスクをセットした場合、VR フォーマットで自動的に初期化が行われますので、しばらくお待ちください。

6 外部入力の音声を選びます。

二重放送番組を録画する場合、外部音声として「二カ国語」を選びます。

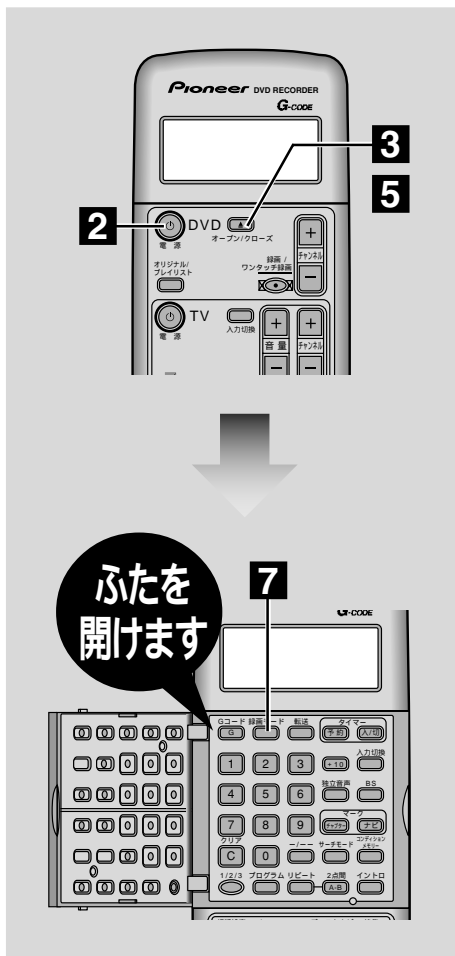
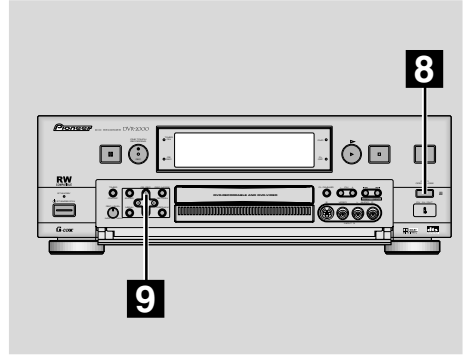
- 詳しくは、「外部入力の音声を選ぶ（P.118)」に従って操作してください。

7 録画モードを切り換えます。

［録画モード］ボタンを１度押すと、本体表示窓およびテレビ画面に現在の状態を表します。表示中に押すとモードが切り換わります。

● VR モードのとき　**SP** ←→ **MN**

MNモードの場合、「◀▶」が表示されている間にカーソルボタン（◀▶）を操作すると、MNモードの録画レートレベルを変更することができます。

●ビデオモードのとき　**V1** ←→ **V2**

8 本体前面部のドアを開きます。

9 CS 録画機能をオンにします。

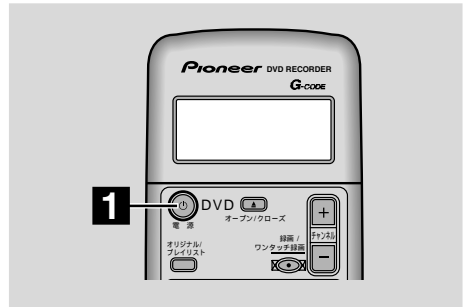
CS REC インジケーターが点灯し、自動的に電源オフになり、ドアも閉まります。

● CS チューナー側の予約がオンになると、本機の電源が入り、録画が開始されます。CS チューナー側の予約時間が終了すると、本機の録画も終了し、電源オフとなります。

●セットしたCS録画機能を解除するには（録画がまだ始まっていないとき）

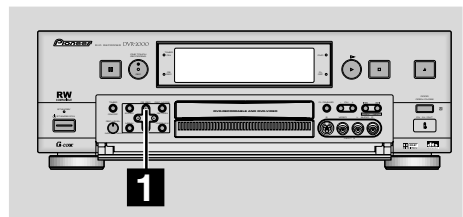
1 本機の電源を入れます。

本機に電源が入り、
CS REC インジケーターが消えます。

● 本機の DOOR ボタン、ディスクテーブル開閉(▲)ボタン、再生(►)ボタンのいずれかでも電源が入り、CS 録画のセットを解除します。

● CS 録画を中止するには（録画中のとき）

1 通常の録画に戻します。

CS REC インジケーターが消え、
そのまま録画は続きます。

● さらに［停止 ■］ボタンを押すと、録画が停止します。

● CS 録画についての注意

・以下の場合には、CS 録画のセットができません。

- ・録画中である。
- ・セットしているディスクが、録画可能ディスクではない。（P.10）
- ・セットしているディスクが、ディスク保護の設定になっている。（P.121）
- ・セットしているディスクのオリジナルタイトル数が 99 ある。
- ・予約録画（タイマー予約・G コード予約・ディスク予約）がセットされている。

・CS録画中は、 **、** **、** **および** **ボタンしか操作することができません。**

他のボタンを操作するには、 **ボタンを押して CS 録画を中止させる必要があります。**

お使いになる前に
基本的な再生操作
便利な再生操作
録画
編集
いろいろな設定の変更
その他

外部入力から録画します

本機の外部入力端子（L1 ～ L4）に接続した機器から映像を録画します。

本機の DV 端子（L4）からは DVC-SD 方式の信号のみ入力することができます。

1 本機の外部入力端子に機器をつなぎます。

『最初にお読みください』をご覧になり、
接続作業を行ってください。

2 ディスクをセットします。

録画の操作 1 ～ 5 と同様です。（P.52）

3 外部入力の音声を選びます。

CS 放送や WOWOW 放送の二重放送番組を録画する場合、
外部音声として［二カ国語］を選びます。
「外部入力の音声を選ぶ」（P.118）に従って操作してください。

4 外部入力のチャンネルに合わせます。

※ DVD（本機）の
チャンネル切り換え
ボタンです。

外部入力端子	表示チャンネル
入力 1/BS デコーダ	L1
入力 2/CS REC	L2
INPUT3	L3
DV IN/OUT	L4

DV 端子（L4）選択時には、録画をはじめるまえに、DV 入力音声の設定（P.103）を確認してください。

5 録画の操作を行います。

DV 端子（L4）を選択したときには、デジタルビデオカメラの再生を先に開始してください。
本機で映像取込中、デジタルビデオカメラの再生に無録画部分があったり、再生を停止したりすると本機の録画は一時停止します。再び録画（部分）が再生されると、本機の一時停止は解除され、録画をはじめます。

・コピーガードが入っている映像は録画できません。また、録画せず視聴する場合にも正しい映像が得られない場合があります（P.51 参照）。

デジタルビデオカメラから録画します DVD RW DVD R

本機のDV端子（L4）に接続したデジタルビデオカメラから映像を録画します。ビデオカメラの制御も本機のリモコンで操作できますので、簡単に映像を取り込むことができます。
あらかじめDV入力音声の設定を行ってから録画してください。（P.103）

- 本機のDV端子（L4）からはDVC-SD方式の信号のみ入力することができます。
- 本機で操作できないデジタルビデオカメラもあります。
- DV端子を使って外部から本機を操作することはできません。
- 本機2台をDV端子（L4）で接続して一方を操作することはできません。
- 日付、時刻の情報、カセットメモリの内容を記録することはできません。

1 本機のDV端子に機器をつなぎます。

『最初にお読みください』をご覧になり、
接続作業を行ってください。

2 ディスクをセットします。

録画の操作 1 ～ 5 と同様です。（P.52）

3 外部入力の音声を選びます。

二重放送番組を録画する場合、外部音声として［二カ国語］を選びます。
「外部入力の音声を選ぶ」（P.118）に従って操作してください。

録画をはじめるまえに、DV入力音声の設定（P.103）を確認してください。

4 編集画面を表示します。

5 ［DV取込］を選びます。

※ VRモードの場合、
［オリジナル／プレイリスト］ボタンで、
オリジナルの編集メニューに切り換えてから操作してください。

デジタルビデオカメラにテープが入っていて、ビデオ（テープ）モードになっている場合にDV取込ができます。
カメラモードの映像を取込むには、通常の本体（またはリモコン）の[録画 / ワンタッチ録画]ボタンで録画してください。

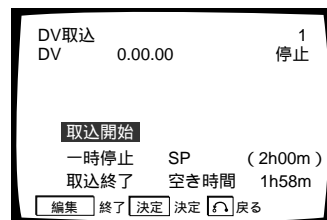
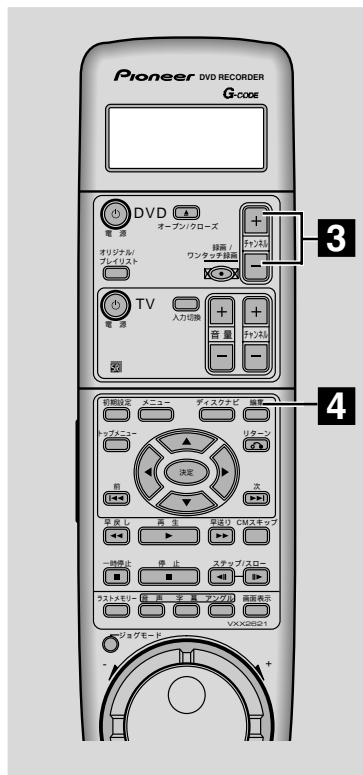
6 取り込み開始場面を選びます。

① デジタルビデオカメラを操作し、開始場面を探します。

・DV取込画面では本機のリモコンボタンをビデオカメラの操作に使用します。
次の７つのボタンが使用可能です。

DV取込 1
DV 0.00.00 停止
取込開始
一時停止 SP (2h00m)
取込終了 空き時間 1h58m
編集 終了 決定 決定 戻る

② 開始場面を決定します。

デジタルビデオカメラの再生を開始し、本機では録画を開始します。
カーソルが「取込終了」の位置に移動します。

- 取り込み実行中は[編集][戻る]ボタンで編集画面を終了することはできません。編集画面を終了したいときは一旦取り込みを終了してください。
- 取り込み実行中は上記の7つのボタンでデジタルビデオカメラを操作することはできません。

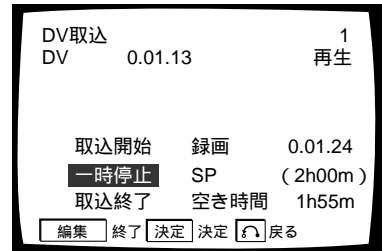
本機で映像取込中、デジタルビデオカメラの再生に無録画部分があったり、再生を停止したりすると本機の録画は一時停止します。再び録画（部分）が再生されると、本機の一時停止は解除され、録画をはじめます。

7 取り込みを一時停止します。（必要な場合）

①**カーソルを［一時停止］枠に移動し、決定します。**

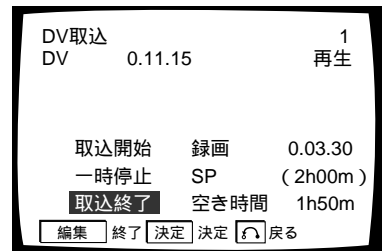
本機の録画およびビデオカメラの再生を一時停止し、カーソルが「取込開始」に移動します。一時停止中は本機のボタンでビデオカメラを操作することができます。

②**手順6を繰り返し、再び取込開始場面を探し、決定します。**

③**再び、一時停止する場合は、操作7の①から繰り返します。**

8 取り込みを終了します。

カーソルを［取込終了］枠に移動し、決定します。

画面に「ディスクに情報を記録しています」と表示した後、本機の録画およびビデオカメラの再生を停止します。

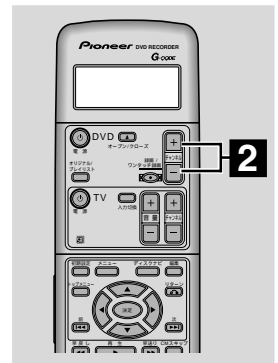
ビデオモードで録画している場合、30秒単位で録画を行うため、しばらく録画が続けられます（画面に「録画停止まで最長30秒かかります」と表示されます）。

9 ビデオカメラを取り外します。

> **取込中、以下のような状態になると異常な映像が記録されることがあります。**
> - **デジタルビデオカメラで無録画部分を再生したとき**
> - **途中でDVケーブルを抜いたり、デジタルビデオカメラの電源を切ったりしたとき**
> - **デジタルビデオカメラの再生を中止したとき**

デジタルビデオカメラに映像を出力するには

本機のチャンネルを外部入力チャンネル「L4」以外に設定するか、本機で再生を開始すると、DV端子は外部出力端子として機能します。本機で録画、編集した映像をデジタルビデオカメラに出力するときに操作してください。

あらかじめDV出力音声の設定を行ってから録画してください。（P.103）

> - **DV端子には、コピーガードが入っている映像は出力されません。**
> - **ディスク情報（P.48）を表示していると、デジタルビデオカメラに出力される映像にも情報が表示されます。本機のDV端子から出力される映像をデジタルビデオカメラで録画するときには、ディスク情報の表示を消してください。**
> - **本機のDV端子は、デジタルビデオカメラ接続端子です。他の機器（パソコン等）と接続した場合には、正しく映像の取込みや出力が行えない場合があります。**

1 デジタルビデオカメラを本機のDV端子に接続します。

2 本機で再生の操作を行い、デジタルビデオカメラで録画の操作を行います。

編集を行う前にかならずお読みください

編集について

録画するモードによって編集できる内容や操作が異なります。

● VR モードで録画した場合

録画したタイトルから好みの場面を集めてお気に入り映像集を作ったり、指定した範囲の場面を移動したり、不要な場面を消去したりと、本機１台で編集を行うことができます。

お気に入り映像集を作るには、まず録画したタイトル（オリジナルと呼ぶ）から編集用のタイトル（プレイリストと呼ぶ）を作り、プレイリストの編集を行ってください。

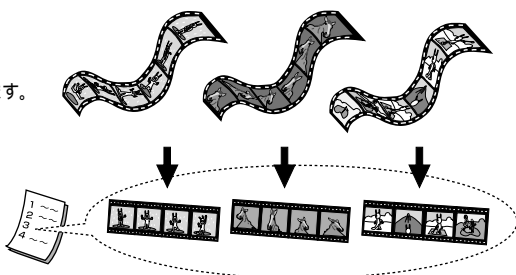
また、プレイリストとオリジナルでは、編集できる内容が異なります。オリジナルをタイトル単位で消去すると、ディスクの空き容量を増やすことができます。

●オリジナル

録画すると１つのタイトルができます。
実際に録画して作られたタイトルの映像を「オリジナル」と呼びます。

●プレイリスト

オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」と呼びます。

※　プレイリストは、オリジナルの再生順を記述したリストであり、実際にオリジナルをコピーするわけではありません。そのため、少ないディスクスペースで編集を行うことができます。

●ビデオモードで録画した場合

ビデオモードでは、プレイリストはありません。
編集できる内容は、次のとおりです。

- ディスク名の変更（P. 97）
- タイトル名の変更（P. 98）
- タイトル消去（DVD-RW ディスクで、最後に録画したタイトルを消去した場合を除き、空き時間は増えません）（P. 99）

編集の手順

VR モードで録画したタイトルを編集するときの基本的な手順を示しますので参考にしてください。

ディスクをセットします。

プレイリストを作成します。　**2 つの方法があります。**

- **A-B 選択**（P.76）...................................... オリジナルの一部から作ります。
- **タイトル選択**（P.77）.............................. オリジナルのタイトルから作ります。

作成したプレイリストを選び、お好みに合わせて編集します。

- タイトル名称の変更（P.79）
- 指定した範囲の消去（P.80）
- チャプターマーク（区切り）の消去（P.82）
- 指定した範囲を別の場所へ移動（P.83）
- オリジナルの指定した範囲を追加（P.85）
- オリジナルのタイトルを追加（P.87）など。

編集したプレイリストを再生します（P.25）。

オリジナルとプレイリスト(VR モードの場合)

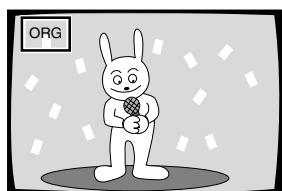
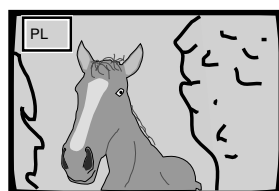
●オリジナル（ORG）

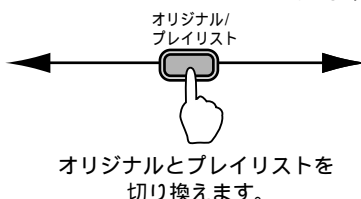
録画すると１つのタイトルができます。
実際に録画して作られたタイトルの映像を「オリジナル」と呼びます。

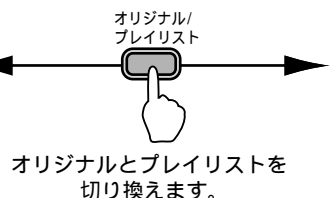
●プレイリスト（PL）

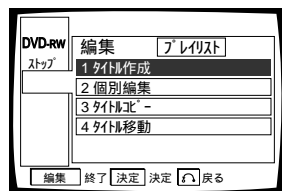
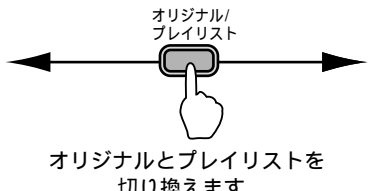
オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」と呼びます。プレイリストに切り換えると、本体表示窓に「PLAYLIST」と表示されます。(非表示のときは「オリジナル」に切り換わっています。)

オリジナル/
プレイリスト

オリジナルとプレイリストを切り換えます。

・ **本機の電源がオンの状態でオリジナルに切り換えた画面例**
ディスクナビや編集に切り換えるとオリジナルを操作する画面になります。

・ **本機の電源がオンの状態でプレイリストに切り換えた画面例**
ディスクナビや編集に切り換えるとプレイリストを操作する画面になります。

オリジナルとプレイリストを切り換えます。

・ **ディスクナビのオリジナル画面例**
オリジナルを再生するときに操作します。

※プレイリストを１つも作成していない場合、ディスクナビのプレイリスト画面への切り換えはできません。プレイリストを作成してください。

・ **ディスクナビのプレイリスト画面例**
プレイリストを再生するときに操作します。

・ **編集のオリジナル画面例**
オリジナルを編集するときに操作します。
オリジナルのタイトルは **「99」** まで作成できます。

・ **編集のプレイリスト画面例**
プレイリストを編集するときに操作します。
プレイリストのタイトルは **「99」** まで作成できます。

●オリジナルまたはプレイリストのタイトルを再生中に 編集 ボタンを押すと、再生中タイトルの個別編集に入ることができます。

●ディスクナビ画面でタイトルを選択して 編集 ボタンを押すと、そのタイトルの個別編集に入ることができます。編集を終了するときは ディスクナビ ボタンを押します。

基本的な操作について

●ボタンの働き

ここに表示されます

編集 ………. **編集を開始、終了します。**

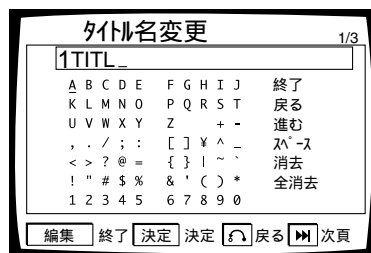
決定 ………. **選択した項目の内容を表示したり、設定内容を変更したりします。**

リターン ………. **一つ前の画面に戻ります。**

次 ………. **次ページの画面を表示します。画面の項目や選択項目などが次のページにもあるときに表示されます。**

前 ………. **前ページの画面を表示します。**

●タイトル名変更のしかた

ディスク名の入力、変更やタイトル名を変更するとき（P.79/89/91/97/98）の操作方法は次のとおりです。

① 文字種を切り換えます。

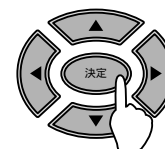
英字大文字→英字小文字→カタカナ

② 文字や動作を選びます。

③ 選んだ文字や動作を決定します。

④ 操作①②③を繰り返し、1文字ずつ入力します。

※ 本機で入力できる文字数は、次のとおりです。
- VRモードの場合
  最大30文字までです。
- ビデオモードの場合
  最大24文字までです。

⑤ 最後に「終了」の動作を選び、決定します。

[動作]

終了：タイトル入力を終了します。
戻る：カーソルを前に戻します。
進む：カーソルを先へ進めます。
スペース：空白を入力します。
消去：カーソル上の文字を1つずつ消します。
全消去：入力した文字をすべて消します。

プレイリストを作成します

編集の最初に行うのがプレイリストの新規作成です。プレイリストの作成方法を選び、操作してください。プレイリストは99まで作成可能です。プレイリストを作成する場合には、1つのプレイリストにつき最大12時間までにしてください。

※すでにプレイリストがある場合、編集画面の項目が変わります。

オリジナルの一部から作る

オリジナルから指定した範囲（A-B間）を選び、新しいプレイリストを作成します。
オリジナルの範囲は、連続するタイトルをまたいで指定することもできます。

1 編集画面を表示します。

2 プレイリストの編集に切り換えます。

プレイリストを選択

3 [タイトル作成] を選びます。

4 [A-B 選択] を選びます。

オリジナルの再生を開始し、一時停止になります。

5 オリジナルのコピー開始場面を選びます。

①A-B 間の開始場面を探します。

●「開始点や終了点の場面を探すには（P.77）」を参考に場面を探してください。

②開始場面を決定します。

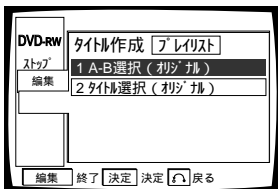
カーソルが［終了点］枠に移動します。

6 終了場面を選びます。

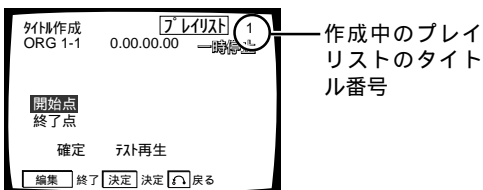
①終了したい場面を探します。

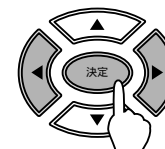
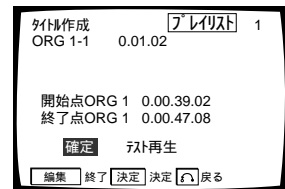
●「開始点や終了点の場面を探すには（P.77）」を参考に場面を探してください。

②終了場面を選びます。

カーソルが［確定］枠に移動します。

7 テスト再生をします。（テスト再生を省略して 8 の操作へ進むこともできます。）

①［テスト再生］枠にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

開始点から終了点までの範囲をテスト再生します。

8 A-B 間の範囲を確定します。

①［確定］枠にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

新しいプレイリストが作られると、4 の画面に戻ります。

●開始点や終了点の場面を探すには

A－B間指定などの操作で開始点や終了点の場面を探すときは、次のような再生時の操作が可能です。

●再生

［再生］ボタンを押すと、一時停止している現在のタイトルを再生します。

●チャプター内を探す（P.26／29）

チャプター内を探すなら 早戻し や 早送り ボタンで場面を探すと便利です。CMスキップ ボタンなら30秒単位で最大4分までいっきに進めることができます。

●タイトルやチャプターの頭出し（P.27／28）

選択する場面が離れているタイトルやチャプター内にあるときは、前 や 次 、サーチモード ボタンで、まずタイトルやチャプターを探します。
最後のチャプターで 次 ボタンを押すと、タイトルの最後の場面を探すことができます。（A-B選択でのタイトル作成、A-B 追加では最後のタイトルのみとなります）

●一時停止

一時停止します。開始や終了点に近い場面になったら 一時停止 ボタンを押し、いったん一時停止すると探しやすくなります。
また、一時停止中はフレーム表示が出るので、1フレーム（約1/30秒）単位での場面の指定を行うことができます。

●場面の最終選択（P.31）

一時停止した場面から ステップ/スロー ボタンでコマ送りし（1秒／1フレーム単位）、開始や終了点の場面を選びます。ジョグダイヤルでも操作可能です。

開始点／終了点の再設定

範囲を確定するまでは、開始点／終了点を再設定することができます。カーソルボタン（▲▼）で［開始点］枠または［終了点］枠にあわせてから、5または6の操作を行い、場面を選び直します。

※すでにプレイリストがある場合、編集画面の項目が変わります。

オリジナルのタイトルから作る

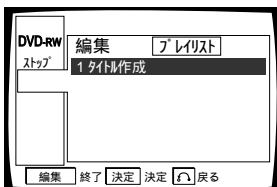
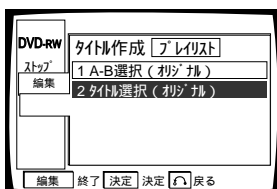
オリジナルをタイトル単位で選び、新しいプレイリストを作成します。

1 編集画面を表示します。

2 プレイリストの編集に切り換えます。

オリジナル/プレイリスト

プレイリストを選択

3 ［タイトル作成］を選びます。

4 ［タイトル選択］を選びます。

5 オリジナルのタイトルを選び、決定します。

オリジナルから新しいプレイリストが作られると、4 の画面に戻ります。

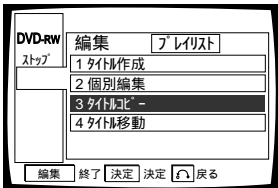
オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

プレイリストのタイトルをコピーします

プレイリストをタイトル単位でコピーし、新しいプレイリストを作成します。
既存のプレイリストと少し違うものを作るときに利用すると便利です。

1 編集画面を表示します。

2 プレイリストの編集に切り換えます。

3 [タイトルコピー] を選びます。

4 コピーするプレイリストのタイトルを選び、決定します。

新しいプレイリストが作られると、**3** の画面に戻ります。

プレイリストを編集します

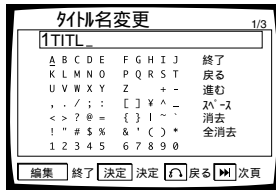
VRモード DVD RW

作成したプレイリストを編集します。
場面の追加や移動、消去を行っても、オリジナルのタイトルには影響しません。

タイトル名を変更する

プレイリストのタイトル名を変更します。
※ 本機で入力できる文字数は、最大 30 文字までです。

1 編集画面を表示します。

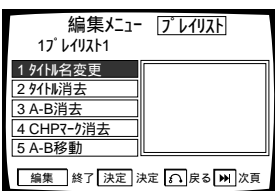
2 プレイリストの編集に切り換えます。

3 ［個別編集］を選びます。

4 編集するタイトルを選びます。

5 ［タイトル名変更］を選びます。

タイトル名変更画面が表示されます。

6 タイトル名を変更し、決定します。

※ 詳しくは、P.75「タイトル入力のしかた」をお読みください。

タイトル単位で消去する

プレイリストをタイトルごと消去します。オリジナルには影響ありません。

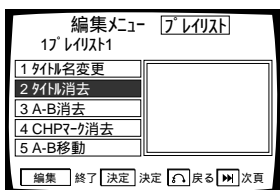
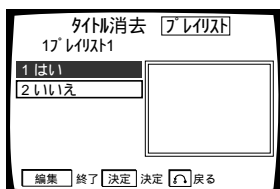
1 **編集画面を表示します。**

2 **プレイリストの編集に切り換えます。**

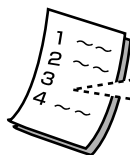
※ 誤ってオリジナルを消去しないよう、プレイリストの表示を確認してください。

3 **[個別編集]を選びます。**

4 **編集するタイトルを選びます。**

5 **[タイトル消去]を選びます。**

6 **[はい]を選び、決定します。**

選択したタイトルを消去します。

選んだ場面を消去する(A-B 消去)

開始と終了の位置を指定し、その間を消去します。A-B 消去した点には、チャプターマーク(区切り)が自動的に入ります。

1 **編集画面を表示します。**

2 **プレイリストの編集に切り換えます。**

※ 誤ってオリジナルを消去しないよう、プレイリストの表示を確認してください。

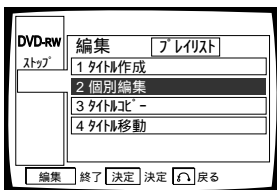
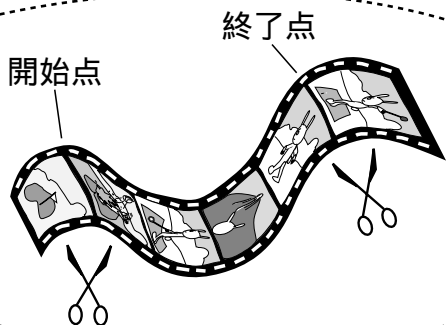
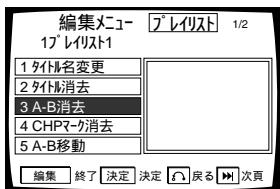
3 **[個別編集]を選びます。**

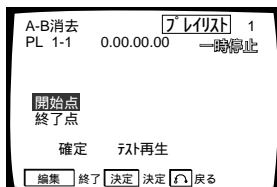
4 **編集するタイトルを選びます。**

5 ［A-B 消去］を選びます。

選択したタイトルの再生を開始し、一時停止になります。

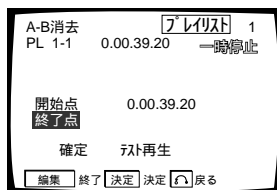
編集メニュー　プレイリスト　1/2
1プレイリスト1
1 タイトル名変更
2 タイトル消去
3 A-B消去
4 CHPマーク消去
5 A-B移動
編集 終了　決定 決定　戻る　次頁

決定

6 消去開始場面を選びます。

①消去を開始する場面を探します。

②消去開始場面を決定します。

カーソルが［終了点］枠に移動します。

7 消去終了場面を選びます。

①消去を終了する場面を探します。

②消去終了場面を選びます。

カーソルが［確定］枠に移動します。

決定

選択した範囲を消去し、5 の画面に戻ります。

場面を探すには

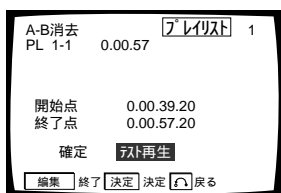
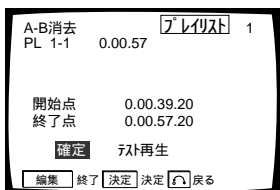
開始や終了などの場面を探すときには通常の再生時の操作が可能です。

などのボタンで操作してください。

＊詳しくはP77をお読みください

8 テスト再生をします。(テスト再生を省略して 9 の操作へ進むこともできます。)

① [テスト再生] 枠にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

指定範囲の前後約3秒間をテスト再生します。

9 消去する範囲を確定します。

① [確定] 枠にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

開始点/終了点の再設定

範囲を確定するまでは、開始点/終了点を再設定することができます。カーソルボタン (▲▼) で [開始点] 枠または [終了点] 枠にあわせてから、6 または 7 の操作を行い、場面を選び直します。

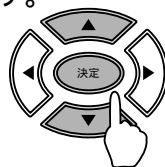
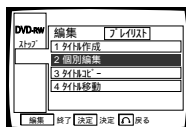
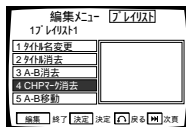
チャプターマークを消去する

チャプターマーク (区切り) を消去します。選択したタイトル内に消去可能なチャプターマークがない場合でも編集メニューの「CHPマーク消去」項目は表示、選択が可能になりますので、ご注意ください。

1 編集画面を表示します。

2 プレイリストの編集に切り換えます。

プレイリストを選択

3 [個別編集] を選びます。

4 編集するタイトルを選びます。

5 [CHPマーク消去] を選びます。

6 消去するチャプターマークを探し、消去します。

① 消去可能なチャプターマークが入っているチャプターになるとテレビ画面に "CHP MARK" が表示されます。

このマークが表示されているときが消去のタイミングです。

どちらかを押す

② チャプターマークを消去します。

チャプターマークが消去され、前のチャプターとつながります。

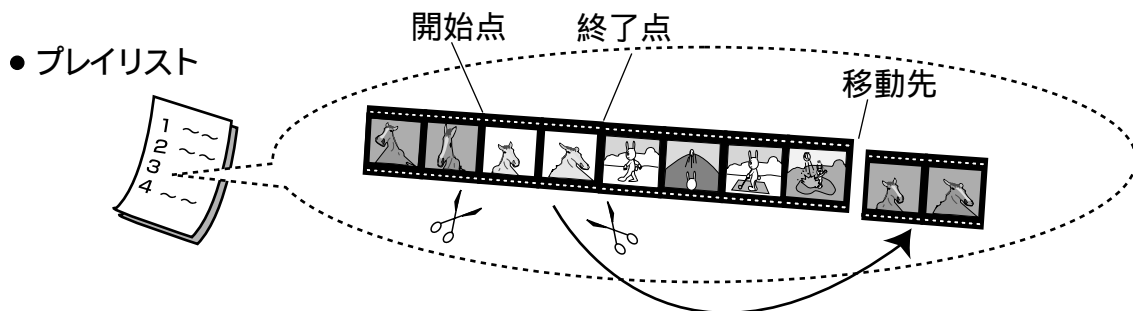
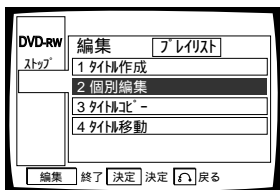
タイトルの先頭のチャプターマークは消去することができません。

選んだ場面を別の場面に移動する（A-B 移動）

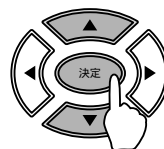
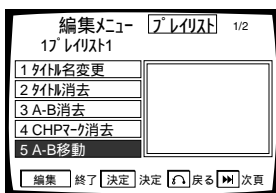
開始と終了の位置を指定し、その間の場面を同一タイトル内の別の場面へ移動します。
開始点、終了点、移動先位置にはチャプターマークが自動的に入ります。

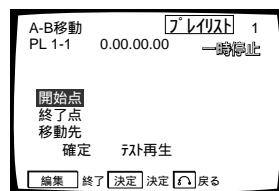
1 編集画面を表示します。

2 プレイリストの編集に切り換えます。

オリジナル/プレイリスト

3 編集画面から［個別編集］を選びます。

4 編集するタイトルを選びます。

5 ［A-B 移動］を選びます。

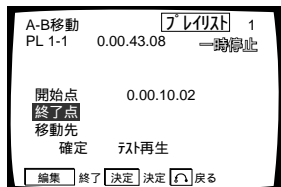
選択したタイトルの再生を開始し、一時停止になります。

6 移動開始場面を選びます。

①開始する場面を探します。

②開始場面を決定します。

カーソルが［終了点］枠に移動します。

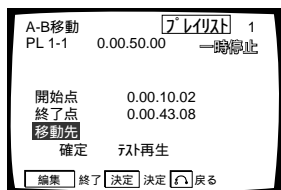
お使いになる前に
基本的な再生操作
便利な再生操作
録画
編集
いろいろな設定の変更
その他

7 移動終了場面を選びます。

①終了する場面を探します。

②終了場面を決定します。

カーソルが［移動先］枠に移動します。

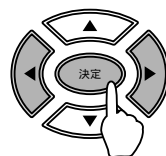
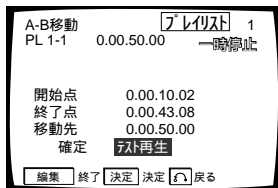
8 移動先の場面を選びます。

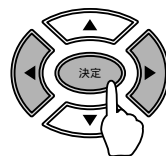
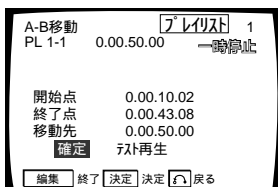
①移動先の場面を探します。

②移動先の場面を決定します。

カーソルが［確定］枠に移動します。

9 テスト再生をします。(テスト再生を省略して10の操作へ進むこともできます。)

①［テスト再生］枠にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

移動先の前 3 秒間、指定範囲、移動先の後 3 秒間を順にテスト再生します。

10 移動を確定します。

①［確定］枠にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

開始点／終了点／移動先の再設定

範囲を確定するまでは、開始点／終了点／移動先を再設定することができます。カーソルボタン（▲▼）で［開始点］枠または［終了点］枠、または［移動先］枠にあわせてから、6 または 7 または 8 の操作を行い、場面を選び直します。

場面を探すには

開始や終了などの場面を探すときには通常の再生時の操作が可能です。

知ってて便利!

などのボタンで操作してください。

＊詳しくは P77 をお読みください

オリジナルからプレイリストに場面を追加する（A-B 追加）

オリジナルから選択した範囲をプレイリストのタイトルの最後に追加します。オリジナルから選択する範囲は、連続するタイトル間をまたがって指定することもできます。追加先の開始点にはチャプターマークが自動的に入ります。

1 編集画面を表示します。

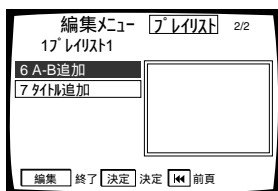
2 プレイリストの編集に切り換えます。

オリジナル/プレイリスト

3 ［個別編集］を選びます。

4 編集するプレイリストのタイトルを選びます。

5 ［A-B 追加］を選びます。

オリジナルの再生を開始し、一時停止になります。

● ［A-B 追加］は次の画面にあります。

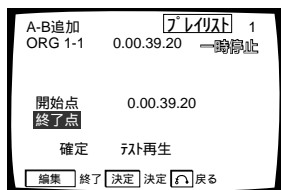
6 オリジナルの追加開始場面を選びます。

①開始する場面を探します。

②開始場面を決定します。

カーソルが［終了点］枠に移動します。

7 オリジナルの終了場面を選びます。

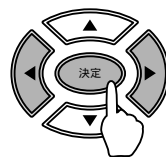
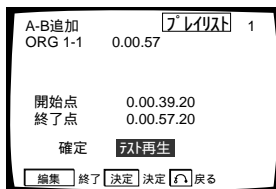
①終了する場面を探します。

②終了場面を決定します。

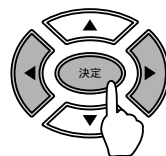
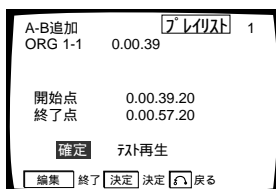
カーソルが［確定］枠に移動します。

8 テスト再生をします。

(テスト再生を省略して 9 の操作へ進むこともできます。)

①［テスト再生］枠にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

開始点から終了点までの範囲をテスト再生します。

9 追加する範囲を確定します。

①［確定］枠にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

開始点／終了点の再設定

範囲を確定するまでは、開始点／終了点を再設定することができます。カーソルボタン（▲▼）で［開始点］枠または［終了点］枠にあわせてから、6 または 7 の操作を行い、場面を選び直します。

指定する場面を探すには

開始や終了などの場面を探すときには通常の再生時の操作が可能です。

知ってて便利!

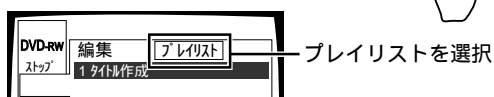
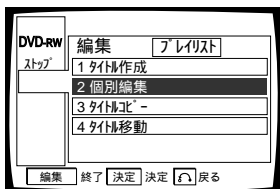
などのボタンで操作してください。

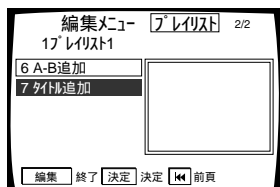
*詳しくは P77 をお読みください

タイトル単位で追加する（タイトル追加）

選択したプレイリストタイトルの最後にオリジナルをタイトル単位で追加します。タイトルを追加した点には、チャプターマークが自動的に入ります。

1 編集画面を表示します。

2 プレイリストの編集に切り換えます。

3 ［個別編集］を選びます。

4 編集するタイトルを選びます。

5 ［タイトル追加］を選びます。

● ［タイトル追加］は次の画面にあります。

6 追加するオリジナルタイトルを選び、決定します。

追加が行われると **5** の画面に戻ります。

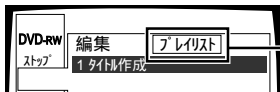
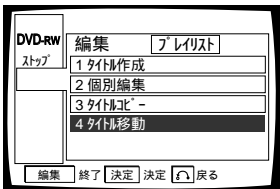
オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

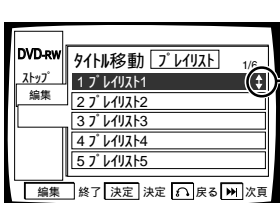
＊プレイリストを２つ以上作成していない場合、この項目は表示されません。

タイトルの並び順を変更する

プレイリストのタイトルの並び順を変更します。

1 編集画面を表示します。

2 プレイリストの編集に切り換えます。

3 [タイトル移動] を選びます。

4 移動するタイトルを選び、決定します。

矢印（上下）がタイトル欄に表示されます。

5 並び順を変更します。

①移動先となる位置にカーソルを合わせます。

②移動先を決定します。

移動先のタイトルは、新しく移動したタイトルの後に移動します。

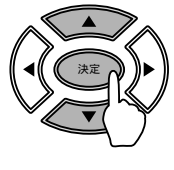
移動が行われると **3** の画面に戻ります。

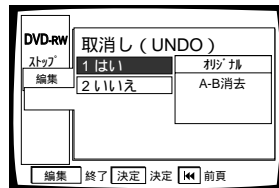
直前に行った操作を取り消す

直前に行った編集操作を取り消し、1つ前の状態に戻します。[取消し（UNDO)] がメニュー項目として表示されているときは、取り消し可能な操作がまだあります。最大５つ前までの操作を戻すことができます。

[取消し(UNDO)]機能はオリジナルとプレイリストで共用しています。そのためプレイリストで行った編集操作を、オリジナル編集画面で[取消し（UNDO)]することもできます。

1 編集画面を表示します。

2 [取消し（UNDO)] を選びます。

3 [はい] を選び、決定します。

元に戻す操作内容が右枠内に表示されます。

- **以下の操作を行った場合は、取り消しは効きません。**
  - **新たに録画を行った場合**
  - **ディスクを取り出した場合**
  - **本機の電源をオフにした場合**
  - **ディスク、タイトル（オリジナル）の保護の状況が変わった場合**
  - **初期化、ファイナライズ（または解除）を行った場合**
  - **マニュアルモードの録画レートレベルの変更（P.117）か録画時NRの変更（P.116）のときに確認を行った場合**
- **編集画面を終了したあとでも、上記の操作を行わない限り、再び編集画面で前に行った操作を取消すことができます。**

オリジナルを編集します

VRモード DVD RW

録画したオリジナルのタイトルを編集します。VR モードで録画した DVD-RWディスクでは、タイトルを消去し、ディスクの空き時間を確保したり、ディスクを保護したり、指定範囲の場面を消去したりします。

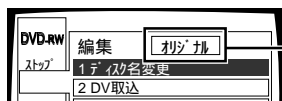
*ビデオモードの編集は、P.97 をお読みください。

ディスクの空き時間を確保するために小さなエリアを数多く消去した場合、消去した部分の合計時間と確保できた空き時間とが一致しなくなる場合があります。消去を行う場合、できるだけ大きな単位で消去することをおすすめします。

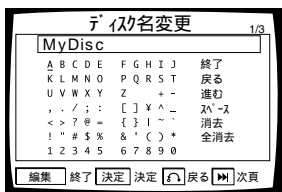
ディスク名を入力・変更する

ディスク名はディスク情報画面（P.50）で表示されます。

1 編集画面を表示します。

2 オリジナルの編集に切り換えます。

3 ［ディスク名変更］を選びます。

ディスク名変更入力画面が表示されます。

4 ディスク名を入力・変更します。

※ 詳しくは、P.75「タイトル入力のしかた」をお読みください。
※ 入力できる文字数は、最大 30 文字までです。

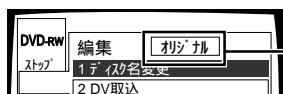
お使いになる前に
基本的な再生操作
便利な再生操作
録画
編集
いろいろな設定の変更
その他

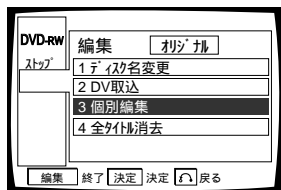
※プレイリストおよびビデオモードで録画したディスクの場合、保護する機能はありません。

編集・消去を不可にする（保護）

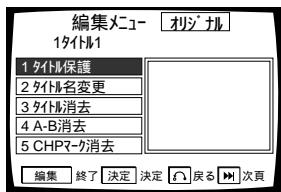
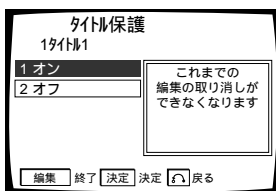
タイトルを保護します。保護したタイトルは編集・消去できなくなります。保護を解除すると再び編集や消去が可能になります。
タイトル保護を行うと、別のタイトルやプレイリストの編集の場合も含め直前の編集操作を取り消すことができなくなります。

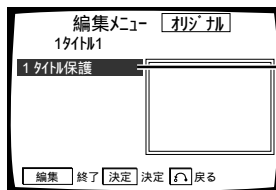
1 編集画面を表示します。

2 オリジナルの編集に切り換えます。

オリジナル/
プレイリスト

3 ［個別編集］を選びます。

4 保護するタイトルを選びます。

5 ［タイトル保護］を選びます。

保護確認画面が表示されます。

6 ［オン］を選び、決定します。

※保護されているタイトルを選び、［オフ］を選ぶと、保護を解除します。

●保護されたタイトルは

タイトル名を変更する

録画したオリジナルのタイトル名を変更します。
録画すると、日時・時刻・チャンネル番号などを含むタイトル名が自動的に付けられます。

1 編集画面を表示します。

2 オリジナルの編集に切り換えます。

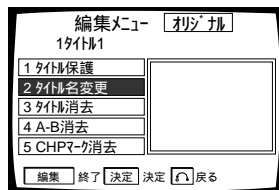
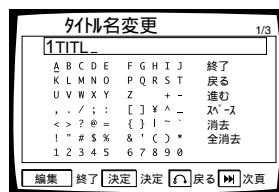
DVD-RW
ストップ
編集　オリジナル
1 ディスク名変更
2 DV取込

オリジナルを選択

3 ［個別編集］を選びます。

4 編集するタイトルを選びます。

5 ［タイトル名変更］を選びます。

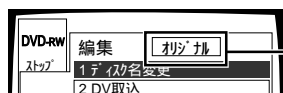
タイトル変更入力画面が表示されます。

6 タイトルを変更します。

※ 詳しくは、P.75「タイトル入力のしかた」をお読みください。
※ VRモードで録画したタイトルとして入力できる文字数は、最大 30 文字までです。

タイトル単位で消去する

オリジナルをタイトルごと消去します。ディスクがいっぱいになったら、不要なタイトルを消してください。空き時間が増えますので、繰り返し録画できるようになります。

1 編集画面を表示します。

2 オリジナルの編集に切り換えます。

3 [個別編集] を選びます。

4 編集するタイトルを選びます。

5 [タイトル消去] を選びます。

6 [はい] を選び、決定します。

選択したタイトルを消去します。

消去することで影響がでるプレイリストタイトルの番号が表示されますので、確認してから操作してください。オリジナルが消去されると、プレイリストを再生したときにその部分の映像が無くなります。

● 枠内のプレイリストのタイトル番号が表示しきれない場合、「〜」を表示します。

選んだ場面を消去する（A-B 消去）

オリジナルのタイトルから選んだ場面を消去します。いったん消去した範囲は、取消し（UNDO）を行った場合を除き、完全に消去されます。録画したオリジナルのタイトルを編集するので、操作には十分注意してください。本機能はディスクの空き時間を増やしたいときにも利用できます。その場合は、連続した約 1 分以上の映像を消去してください。また、A-B 消去した位置には、チャプターマークが自動的に入ります。

ディスクの空き時間を確保するために小さなエリアを数多く消去した場合､消去した部分の合計時間と確保できた空き時間とが一致しなくなる場合があります。消去を行う場合、できるだけ大きな単位で消去することをおすすめします。

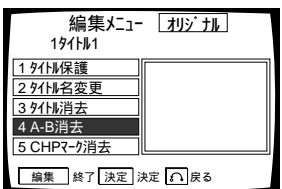
1 編集画面を表示します。

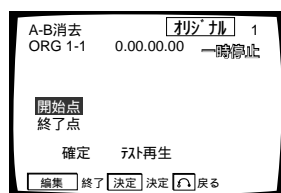
2 オリジナルの編集に切り換えます。

3 ［個別編集］を選びます。

4 編集するタイトルを選びます。

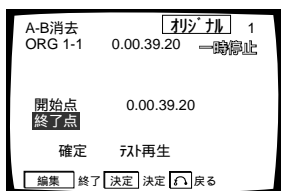
5 ［A-B 消去］を選びます。

選択したタイトルの再生を開始し、一時停止になります。

6 消去開始場面を選びます。

①消去を開始する場面を探します。

②消去開始場面を決定します。

カーソルが［終了点］枠に移動します。

7 消去終了場面を選びます。

①消去を終了する場面を探します。

②消去終了場面を決定します。

カーソルが［確定］枠に移動します。

5秒未満のA-B消去はできないことがあります。

8 テスト再生をします。(テスト再生を省略して 9 の操作へ進むこともできます。)

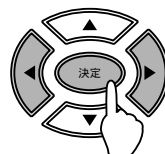
① [テスト再生] 枠にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

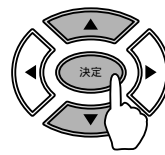
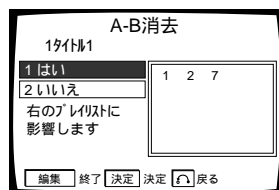
消去指定範囲の前後約 3 秒間をテスト再生します。

開始点／終了点の再設定

範囲を確定するまでは、開始点／終了点を再設定することができます。カーソルボタン（▲▼）で［開始点］枠または［終了点］枠にあわせてから、6 または 7 の操作を行い、場面を選び直します。

9 消去する範囲を確定します。

① [確定] 枠にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

② [はい] を選び、決定します。

消去することで影響がでるプレイリストタイトルの番号が表示されますので、確認してから操作してください。オリジナルが消去されると、プレイリストを再生したときにその部分の映像が無くなります。

● 枠内のプレイリストのタイトル番号が表示しきれない場合、「～」を表示します。

指定する場面を探すには

開始や終了などの場面を探すときには通常の再生時の操作が可能です。

などのボタンで操作してください。

＊詳しくは P77 をお読みください

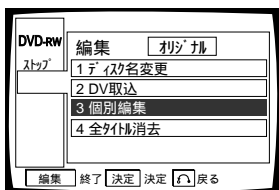
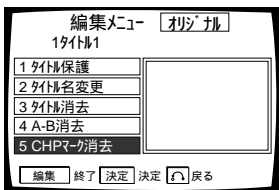
※ビデオモードのディスクの場合、この機能はありません。

チャプターマークを消去する

チャプターマーク（区切り）を消去します。

- **選択したタイトル内に消去可能なチャプターマークがない場合でも編集メニューの「CHPマーク消去」項目は表示、選択が可能になります。**
- **タイトルの先頭やA－B消去によって挿入されたチャプターマークは消去することができません。**

1 編集画面を表示します。

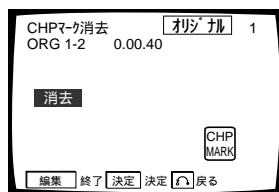
2 オリジナルの編集に切り換えます。

オリジナルを選択

3 ［個別編集］を選びます。

4 編集するタイトルを選びます。

5 ［CHP マーク消去］を選びます。

6 消去するチャプターマークを探し、消去します。

① 消去可能なチャプターマークが入っているチャプターになるとテレビ画面に“ CHP MARK ”が表示されます。
このマークが表示されているときが消去のタイミングです。

どちらかを押す

② チャプターマークを消去します。

チャプターマークが消去され、前のチャプターとつながります。

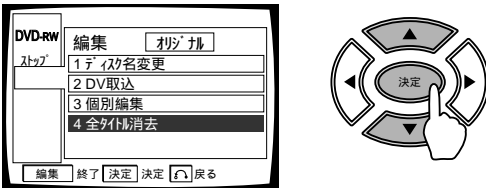
全タイトルを消去する

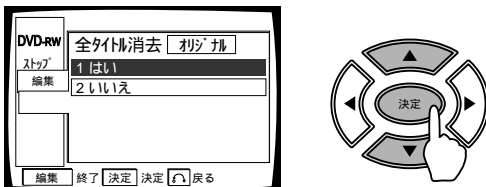
ディスク内にあるすべてのオリジナルタイトルを消去します。オリジナルがなくなるため、プレイリストタイトルも全て消去されます。

初期化（P.122）とは以下の点が異なります。
- **タイトル保護されているタイトルは消去しません。**
- **ディスク予約は消去しません。**

1 編集画面を表示します。

2 オリジナルの編集に切り換えます。

3 [全タイトル消去］を選びます。

4 [はい］を選び、決定します。オリジナルのすべてのタイトルが消去されます。

消去中はテレビ画面に「タイトルを消去しています」と表示され、消去が終わると 3 の画面に戻ります。

直前に行った操作を取り消す

直前に行った編集操作を取り消し、1つ前の状態に戻します。

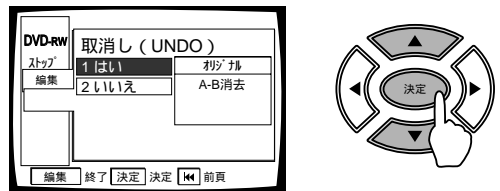
[取消し（UNDO)］がメニュー項目として表示されているときは、取り消し可能な操作がまだあります。最大5つ前までの操作を戻すことができます。

[取消し（UNDO)］はオリジナル編集とプレイリスト編集で共用しています。そのため、オリジナルで行った編集操作をプレイリスト編集画面で［取消し（UNDO)］することもできます。

1 編集画面を表示します。

2 [取消し（UNDO)］を選びます。

3 [はい］を選び、決定します。

元に戻す操作内容が右枠内に表示されます。

- **以下の操作を行った場合は、取消しは効きません。**
  - **新たに録画を行った場合**
  - **オリジナルタイトルの保護の状況が変わった場合**
  - **ディスクを取り出した場合**
  - **本機の電源をオフにした場合**
  - **ディスクの保護の状況が変わった場合**
  - **初期化、ファイナライズ（または解除）を行った場合**
  - **マニュアルモードの録画レートレベルの変更（P.117）か録画時NRの変更（P.116）のときに確認を行った場合**
- **編集画面を終了したあとでも、上記の操作を行わない限り、再び編集画面で前に行った操作を取消すことができます。**

ビデオモードで編集します

ビデオモードで録画したタイトルを編集します。ディスク名やタイトル名の変更、タイトルの消去などを行います。
ファイナライズ後のディスクは、編集できません。

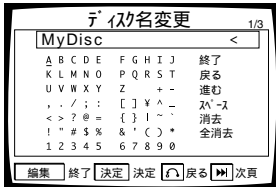
ディスク名を入力・変更する

ディスク名はディスク情報画面（P.50）で表示されます。ファイナライズ後はメニューボタンまたはトップメニューボタンで表示することができます（P.25）。

1 編集画面を表示します。

2 ［ディスク名変更］を選びます。

ディスク名変更入力画面が表示されます。

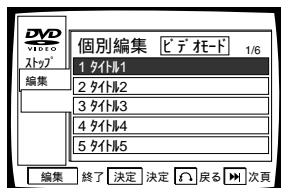
3 ディスク名を入力・変更します。

※ 詳しくは、P.75「タイトル入力のしかた」をお読みください。
※ ビデオモードでタイトルとして入力できる文字数は、最大24文字までです。25文字目に「<」を表示し、それ以上文字を入力することはできません。

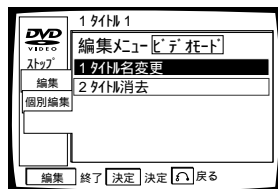
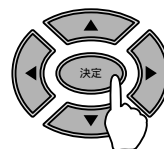
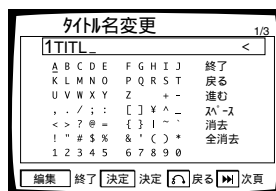
タイトル名を変更する

ビデオモードで録画したタイトル名を変更します。
録画すると、日時・時刻・チャンネル番号などを含むタイトル名が自動的に付けられます。

1 編集画面を表示します。

2 [個別編集] を選びます。

3 編集するタイトルを選びます。

4 [タイトル名変更] を選びます。

タイトル変更入力画面が表示されます。

5 タイトルを変更します。

※ 詳しくは、P.75「タイトル入力のしかた」をお読みください。

※ ビデオモードでタイトルとして入力できる文字数は、最大24文字までです。25文字目に「<」を表示し、それ以上文字を入力することはできません。

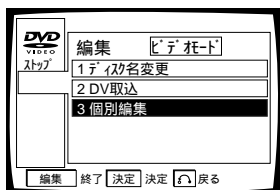
タイトル単位で消去する

不要になったタイトルをメニュー画面などに表示させないようにします。消去したタイトルは再生することもできなくなります。

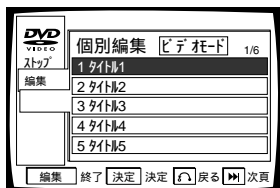
DVD-RW ディスクで、最後に録画したタイトルを消去した場合を除き、タイトルを消去しても、ディスクの空き時間は増えません。

1 編集画面を表示します。

2 [個別編集] を選びます。

3 編集するタイトルを選びます。

4 [タイトル消去] を選びます。

5 [はい] を選び、決定します。

選択したタイトルを消去し、**3** の画面に戻ります。

直前に行った操作を取り消す

直前に行った編集操作を取り消し、1 つ前の状態に戻します。
［取消し（UNDO）］がメニュー項目として表示されているときは、取り消し可能な操作がまだあります。最大5つ前までの操作を戻すことができます。

1 編集画面を表示します。

2 ［取消し（UNDO）］を選びます。

3 ［はい］を選び、決定します。

元に戻す操作内容が右枠内に表示されます。

- **以下の操作を行った場合は、取消しは効きません。**
  - **新たに録画を行った場合**
  - **ディスクを取り出した場合**
  - **本機の電源をオフにした場合**
  - **ファイナライズを行った場合**
  - **画質の確認（P.119）や録画時NRの変更（P.116）のときに確認を行った場合**
- **編集画面を終了したあとでも、上記の操作を行わない限り、再び編集画面で前に行った操作を取消すことができます。**

初期設定画面について

**本機には、使用する上でのいろいろな環境設定があらかじめ設定されています。これらの設定は使用環境に合わせ、初期設定画面で内容を変更することができます。
ここでは初期設定画面の基本的な見方やボタンの働きについて説明します。設定を行うときの参考にしてください。**

初期設定画面

●表示内容

① **セットされているディスクの種類を表示します。**

ディスクはセットされていません。

ビデオモードのディスクがセットされています。

DVD-RW VR モードのディスクがセットされています。

② **画面タイトルが順次表示され、メニューの階層が分かります。**
③ **そのときに有効なボタン名称とその働きが表示されます。設定画面によって表示される内容は変わります。**
④ **画面のタイトルが表示されます。**
⑤ **セットしたディスクにあわせ、設定できるメニュー項目が表示されます。**

●ボタンの働き

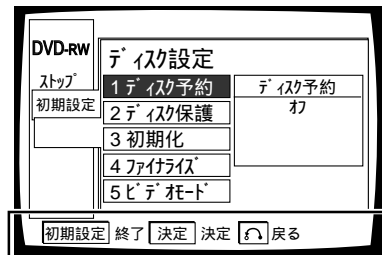
初期設定 .... **初期設定画面を表示または終了します。**

..... **選択した項目の選択肢を表示したり、設定内容を変更したりします。**

.... **1 つ前の画面に戻ります。**

.... **次ページの画面を表示します。選択項目などが次のページにもあるときに表示されます。**

.... **前ページの画面を表示します。**

設定画面の見方

ここに表示されます

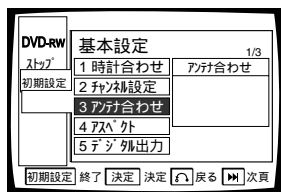
基本的な設定を行います

BS アンテナを調整する

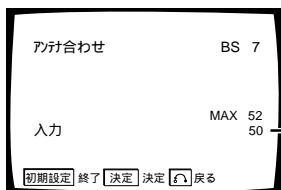
BS 放送の映像の映りが悪いときに、BS アンテナの受信角度を調整するために使用します。

共同アンテナやケーブルテレビから受信している場合は、この設定で調整できません。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［基本設定］を選びます。

3 ［アンテナ合わせ］を選びます。

4 BS アンテナの受信角度を調整します。

アンテナ合わせ画面の入力値が高くなるようにアンテナの角度を合わせます。＊

＊ 数値が小さくても、映像がきれいに映っていれば問題ありません。

赤い四角で最大値を保持します。最大値になる方向にアンテナの角度を合わせてください。

5 ［アンテナ合わせ］を終了します。

3 次元 Y/C 分離を調節する

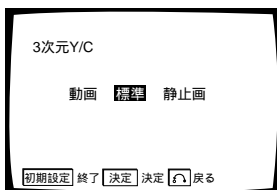
3 次元 Y/C 分離は、チューナーの映像および通常のビデオケーブルで入力された映像を鮮明にします。

画像の動きに合わせた設定にすると、より効果的です。S 映像で接続された外部入力、DV 入力の映像では調節する必要はありません。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［基本設定］を選びます。

3 ［3 次元 Y/C］を選びます。

4 好みの設定を選び、決定します。

動画：動画をより鮮明に見せる設定です。
標準：標準的な設定です。（出荷時の設定）
静止画：静止画をより鮮明に見せる設定です。

上記の効果を発揮するため、本機とテレビとの接続はＳビデオケーブル、コンポーネント映像ケーブルまたはＤケーブルの使用をおすすめします。
また、テレビとの組み合わせにより、画像が歪んだり不自然な動きをすることがあります。気になる場合は「動画」の設定にしてください。

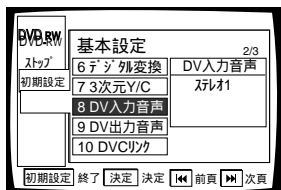
DV入力音声を選ぶ

デジタルビデオカメラの映像を取り込むときの音声を選びます。

- **ビデオカメラの音声がサンプリング周波数32kHz、12bitの場合の機能です。**
- **接続した機器によっては、切り換え時にノイズが入ることがあります。**

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［基本設定］を選びます。

3 ［DV入力音声］を選びます。

4 音声の種類を選び、決定します。

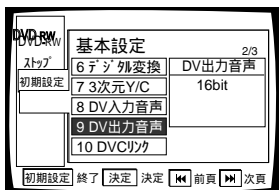
ステレオ１：録画したときの音声を取り込みます。（出荷時の設定）
ステレオ２：アフレコなどあとから追加した音声を取り込みます。

DV出力音声を選ぶ

デジタルビデオカメラに映像出力するときの音声を選びます。ステレオで良質の音声を出力するか、あとでアフレコできるようにするかを選びます。カメラによってはアフレコ機能があり、12bitで音声を記録しておくと、あとからカメラで音声を追加することができます。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［基本設定］を選びます。

3 ［DV出力音声］を選びます。

4 音声の種類を選び、決定します。

12bit：あとからアフレコする場合に選んでください。
16bit：ステレオで音声を出力します。良質の音声で出力します。（出荷時の設定）

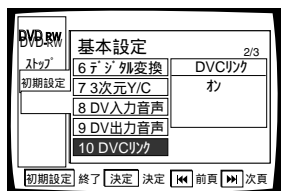
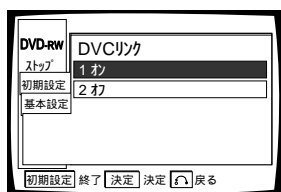
DVC リンクをオン・オフする

DV端子に接続したデジタルビデオカメラの映像が映らない、または音声が出力されない場合や DV 取込（P.71）が正しく動作しない場合にこの設定を「オフ」にしてください。

「オフ」に設定しても正しく動作しない機器もあります。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［基本設定］を選びます。

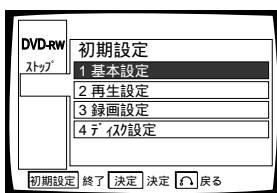
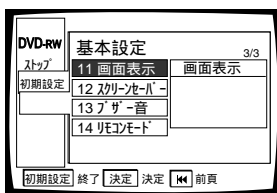
3 ［DVC リンク］を選びます。

4 ［オフ］を選び、決定します。

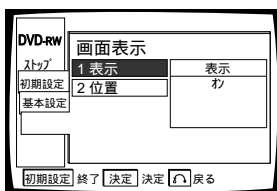
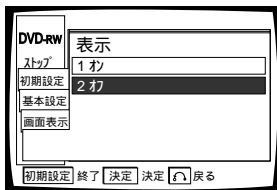
オン：1 台のデジタルビデオカメラを選んで通信を行う機能（リンク機能）を有効にします。（出荷時の設定）

オフ：リンク機能を無効にします。リンク機能に対応していない機器をつないだ場合に効果があります。

画面表示をオン・オフする

「再生」「停止」など本機の動作表示をテレビ画面に表示しないときは設定を変更してください。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［基本設定］を選びます。

3 ［画面表示］を選びます。

4 ［表示］を選びます。

5 ［オフ］を選び、決定します。

オン：本機の動作表示をテレビ画面に表示します。（出荷時の設定）

オフ：本機の動作表示をテレビ画面に表示しません。

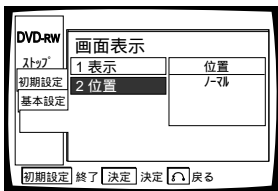
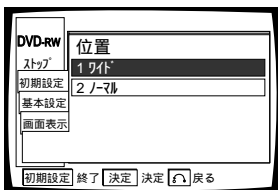
画面表示の位置を選ぶ

ワイドテレビをご使用で、本機の動作表示などがテレビ画面の上下にはみ出すような場合に設定を変更してください。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 [基本設定] を選びます。

3 [画面表示] を選びます。

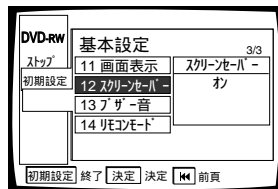
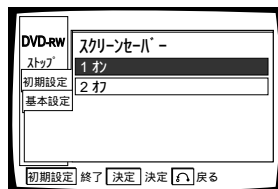
4 [位置] を選びます。

5 [ワイド] を選び、決定します。

ワイド　：ワイドテレビを使用しているときに選びます。
ノーマル：普通のテレビを使用しているときに選びます。(出荷時の設定)

スクリーンセーバーをオン・オフする

本機の動作表示などが約 5 分間表示されたままの場合、自動的にスクリーンセーバーが働いてモニタの焼き付きを防ぎます。スクリーンセーバーをオフにするときは設定を変更してください。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 [基本設定] を選びます。

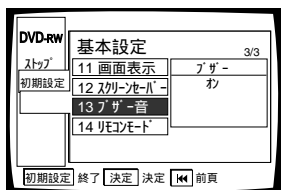
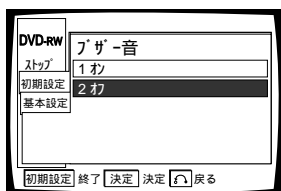
3 [スクリーンセーバー] を選びます。

4 [オフ] を選び、決定します。

● 出荷時の設定は「オン」になっています。

ブザー音をオン・オフする（Gコード予約時）

Gコード予約を行うときにリモコンから本機にGコード情報が転送されると確認のブザー音が鳴ります。このブザー音をオフにするときは設定を変更してください。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

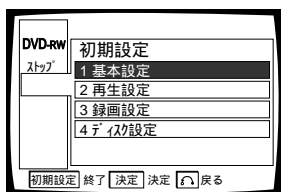
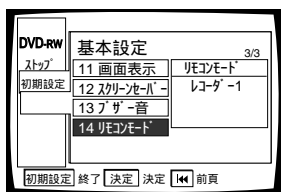
2 ［基本設定］を選びます。

3 ［ブザー音］を選びます。

4 ［オフ］を選び、決定します。

オン：Gコード予約時のブザー音を鳴らします。（出荷時の設定）
オフ：G コード予約時のブザー音をオフにします。

複数のレコーダーを同時に使用する

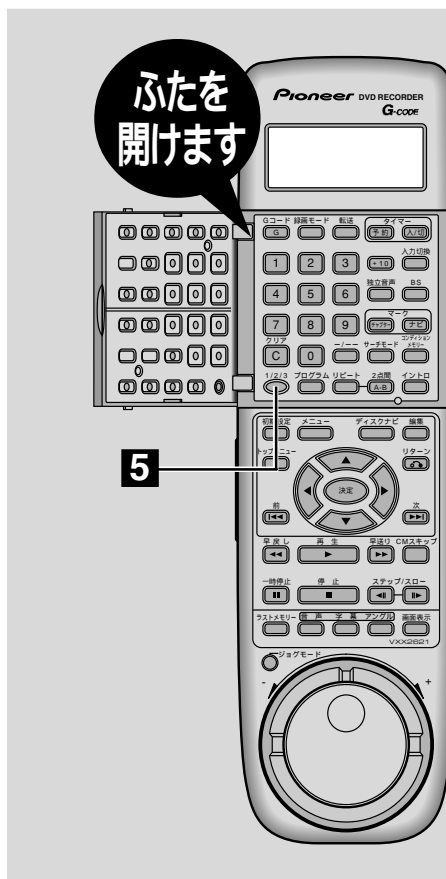
本機を複数台お使いの場合に操作してください。本機とリモコンを対応させて誤動作しないようにします。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 [基本設定］を選びます。

3 [リモコンモード］を選びます。

4 本機の番号を選び、決定します。

5 リモコンの番号を設定します。

操作 4 で選んだ番号を設定します。
ボタンを押し続けると、リモコン液晶部の表示が「1→2→3」の順に番号が替わります。

● 出荷時の設定は「1」になっています。

再生に関する設定を行います

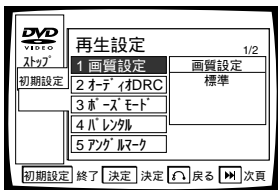
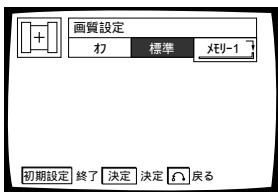
画質を調整する

より良い画質で映像をご覧になりたいとき、またはDVDの内容に合った画質で映像をご覧になりたいときに調整します。再生中にテレビの画面を見ながら調整することもできます。**（P.42）**

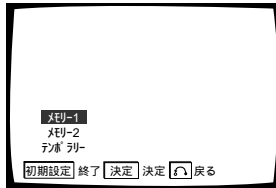
ビデオモード（DVD-VIDEOを含む）、VRモードの場合のそれぞれ別々に設定・記憶します。

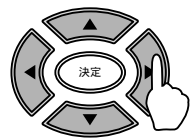
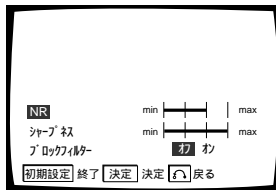
1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［再生設定］を選びます。

3 ［画質設定］を選びます。

4 好みの画質を選び、決定します。

オフ：画質調整をしません。
標準：本機の標準的な画質設定に戻します。（出荷時の設定）
メモリー1/メモリー2/テンポラリー
：好みの画質に調整します。その設定内容を記憶させ、あとから簡単に画質の切り換えを行うことができます。

［メモリー1/メモリー2/テンポラリー］を選んだ場合は、操作 5 へ進みます。

5 設定を記憶させる場所を選び、決定します。

メモリー1、メモリー2
：画質設定の内容を本機に記憶します。
テンポラリー
：画質設定の内容を一時的に記憶します。現在の映像を一時的に調整したい場合に選びます。
また、コンディションメモリーで呼び出された設定もここにセットされます。

6 調整する項目を選び、調整します。

NR　：輝度に対して効果を発揮します。
シャープネス　：エッジ（輪郭）を強調します。

MIN ⟺ 小 ⟺ 効果 ⟺ 大 ⟺ MAX

ブロックフィルター
：MPEG特有のブロックノイズに対して効果を発揮します。オンまたはオフの設定のみです。

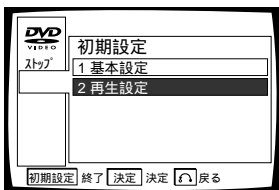
● ビデオモードのディスク（DVD-VIDEOを含む）をセットしているときは、［NR］や［シャープネス］の画質微調整が可能です。VRモードのディスクをセットしているときは、すべて画質調整のオンまたはオフのみの設定になります。

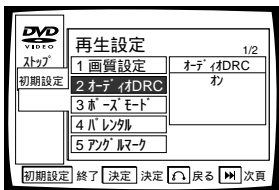
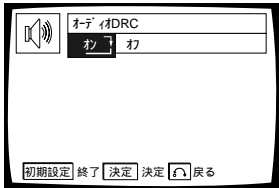
7 調整した内容を記憶し、画質設定を切り換えます。

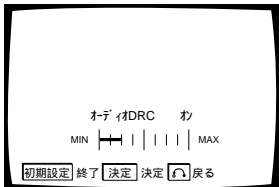
DVD VIDEO　DVD RW　DVD R

音の強弱の幅を調節する

音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るような場合、その効果が大きくなるように変更するといいでしょう。再生中に調節することもできます。（P.44）

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［再生設定］を選びます。

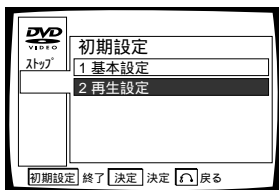
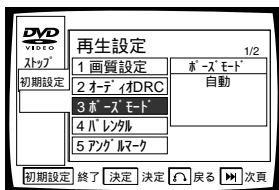
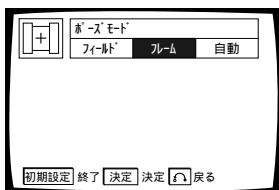
3 ［オーディオ DRC］を選びます。

4 ［オン］を選びます。

● 出荷時の設定は「オフ」になっています。

5 効果の量を調整し、決定します。

効果小 ⟷ 効果大

静止画の見え方を変更する

再生中に一時停止したときなどの静止画の見え方を変更します。再生中に変更することもできます。（P.45）

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［再生設定］を選びます。

3 ［ポーズモード］を選びます。

4 好みの設定を選び、決定します。

フィールド　：静止画状態のとき画面のブレを少なくします。
フレーム　：静止画像は鮮明ですが、多少ブレることがあります。
自動　：再生しているディスクにあわせ、フィールドまたはフレームのどちらかに自動切り換えします（出荷時の設定）。

※セットするディスクやモードの種類によって、再生設定画面に表示される項目内容が異なります。

※ビデオモードのディスク（DVD-VIDEO を含む）をセットした場合に変更が可能です。

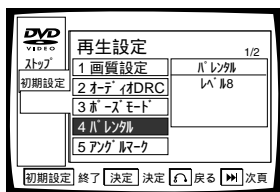
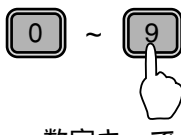
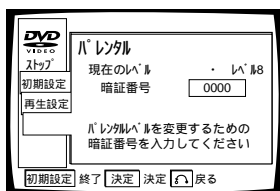
視聴制限をする（パレンタルロック）

暴力シーンなどを含むDVD-VIDEOの中には、視聴制限を設けたものがあります。（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます。）本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを 6 に設定しておくと、レベル 7、レベル 8 のディスクを見るときに暗証番号の入力が必要です。

●レベルと暗証番号を設定する

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［再生設定］を選びます。

3 ［パレンタル］を選びます。

4 4 桁の暗証番号を入力します。

数字キーで入力します

※ 暗証番号を忘れないようにしてください。もし、忘れてしまった場合は、すべての設定を出荷時の状態に戻すことで再び設定することができます（P.125）。

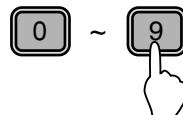
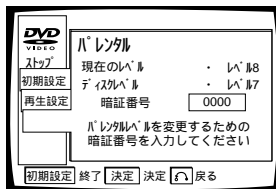
5 入力を決定します。

6 パレンタルレベルを選び、決定します。

- レベルは 1 ～ 8 まであります。ディスクに合わせて選んでください。
  出荷時の設定は「レベル 8」になっています。

●視聴制限できるディスクを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと、再生は始まりません。

1 数字ボタンで暗証番号を入力します。

数字キーで入力します

2 入力を決定します。

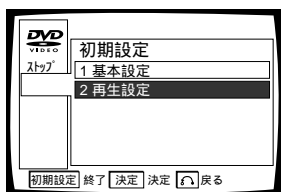
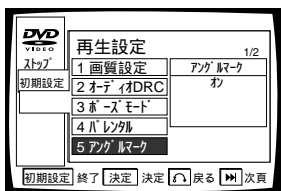
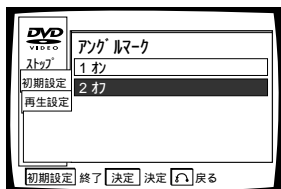
再生が始まります。

※ビデオモードのディスク（DVD-VIDEOを含む）をセットした場合に変更が可能です。

アングルマーク表示をオン・オフする

複数のアングルから映した映像が収録されている場面になると表示される マークをオン、オフできます。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［再生設定］を選びます。

3 ［アングルマーク］を選びます。

4 ［オフ］を選び、決定します。

オン：アングルマークを表示します。
（出荷時の設定）
オフ：アングルマークを表示しません。

※ビデオモードのディスク（DVD-VIDEOを含む）をセットした場合に変更が可能です。

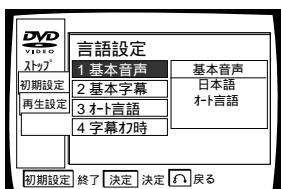
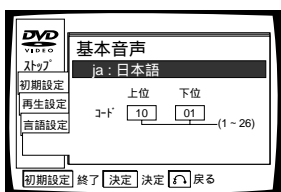
音声言語を変更する

DVD-VIDEOを再生するときの基本となる音声を日本語以外にしたいときは設定を変更します。再生中に音声を変更することができますが、ディスクを交換すると再びここで設定した音声の言語に戻ります。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［再生設定］を選びます。

3 ［言語設定］を選びます。

4 ［基本音声］を選びます。

5 基本音声の言語を変更し、決定します。

● 言語コードで入力することもできます。P.114「言語コード表」をご覧ください。

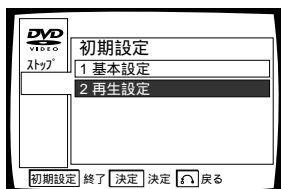
※セットするディスクやモードの種類によって、再生設定画面に表示される項目内容が異なります。

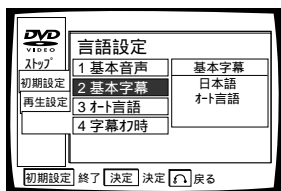
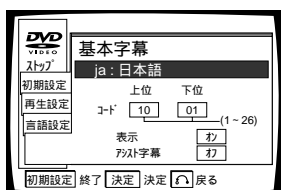
※ビデオモードのディスク（DVD-VIDEOを含む）をセットした場合に変更が可能です。

字幕言語を変更する

DVD-VIDEOを再生するときの基本となる字幕を日本語以外にしたいときは設定を変更します。再生中にも字幕を変更することができますが、ディスクを交換すると再びここで設定した字幕の言語に戻ります。

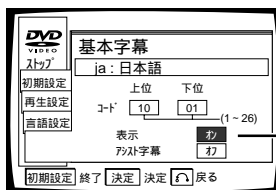
1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［再生設定］を選びます。

3 「言語設定」を選びます。

4 「基本字幕」を選びます。

5 基本字幕の言語を変更し、決定します。

● 言語コードで入力することもできます。P.114「言語コード表」をご覧ください。

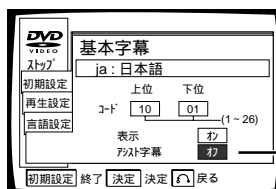
6 基本字幕に関するその他の設定を変更します。

※ 変更の必要がある場合のみ操作してください。

①基本字幕の表示をオン・オフします。

「表示」の項目を選択

オン：表示する
（出荷時の設定）
オフ：表示しない

②アシスト字幕の表示をオン・オフします。

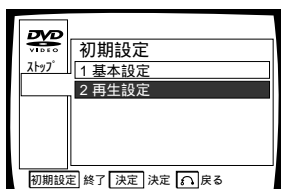
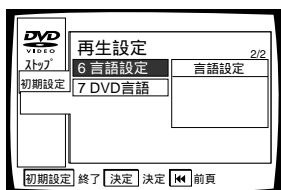
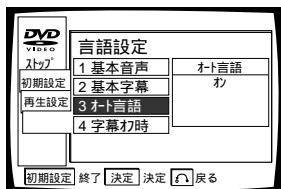
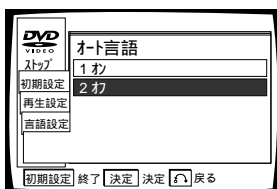
ディスクによっては、耳の不自由な方のために場面状況を解説した字幕（アシスト字幕）が記録されていることがあります。その場合、本設定をオンにしておくと、アシスト字幕を優先して表示します。

「アシスト字幕」の項目を選択

オン：表示する
オフ：表示しない
（出荷時の設定）

音声と字幕を自動的に設定する

ディスクに合わせて基本となる音声や字幕が自動設定されるようになっています。この自動設定をオフしたいときは、設定を変更してください。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［再生設定］を選びます。

3 ［言語設定］を選びます。

4 ［オート言語］を選びます。

5 ［オフ］を選び、決定します。

オン：ディスクによって自動的に設定を行います。（出荷時の設定）

一般的な洋画の場合 ...... オリジナル音声、日本語字幕。

邦画の場合 .... オリジナル音声として日本語、字幕はなし。

オフ：基本音声、基本字幕の設定になります。

ディスクによってはオート言語機能が正しく働かない場合があります。基本音声と基本字幕が同じ言語でない場合や基本字幕の表示オフが選択されている場合、またはアシスト字幕のオンが選択されている場合はオート言語機能は働きません。

※セットするディスクやモードの種類によって、再生設定画面に表示される項目内容が異なります。

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Dutch (nl)	1412
Russian (ru)	1821
Chinese (zh)	2608
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801

言語名（言語コード）	入力コード
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Portuguese (pt)	1620
Quechua (qu)	1721
Rhaeto-Romance (rm)	1813

言語名（言語コード）	入力コード
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swedish (sv)	1922
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

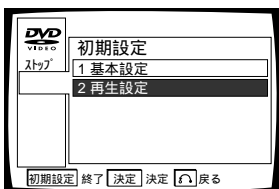
＊言語表記はISO639:1988(E/F)に準拠

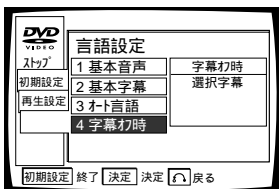
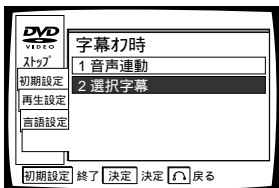
※ビデオモードのディスク（DVD-VIDEOを含む）をセットした場合に変更が可能です。

強制的に表示される字幕言語を設定する

基本となる字幕言語の設定（P.112）で字幕の表示をオフにした場合でも、ディスクによっては一部の字幕が強制的に表示される場合があります。この強制的に表示される字幕の言語を基本音声ではなく基本字幕に合わせたい場合は、設定を変更してください。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［再生設定］を選びます。

3 ［言語設定］を選びます。

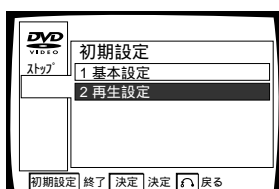
4 ［字幕オフ時］を選びます。

5 ［選択字幕］を選び、決定します。

音声連動：基本音声の言語になります。
選択字幕：基本字幕の言語になります。
（出荷時の設定）

※ビデオモードのディスク（DVD-VIDEOを含む）をセットした場合に変更が可能です。

DVDのメニュー表示言語を変更する

DVD-VIDEOに記録されている独自メニューを表示するときの言語を設定することができます。日本語以外にしたいときは、設定を変更してください。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［再生設定］を選びます。

3 「DVD言語」を選びます。

4 好みの言語を選び、決定します。

● 出荷時の設定は「日本語」になっています。

録画に関する設定を行います

※ビデオモードの場合、表示されるメニュー項目が異なります。
※ DVD-RW、DVD-R ディスクをセットした場合に変更が可能です。

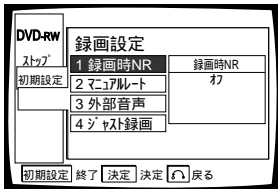
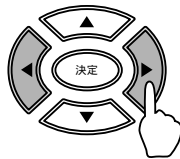
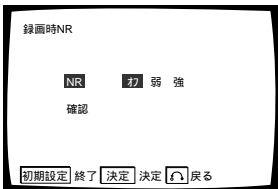
録画時のノイズを取り除く効果を変更する

録画するときのノイズリダクション効果を変更します。ノイズリダクションは、録画する映像にノイズがある場合そのノイズを軽減する効果があります。ノイズリダクションをオフ、または効果の強弱を変えるときに設定を変更してください。

録画する映像のノイズが少ない場合は「オフ」に設定します。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 [録画設定] を選びます。

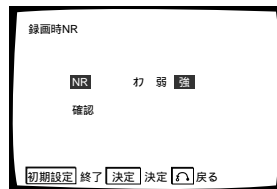
3 [録画時 NR] を選びます。

4 好みの設定を選びます。

● 出荷時の設定は「オフ」になっています。

5 録画時の画質を確認します。

① [確認]を選び、決定します。

② 選んだ画質で映像が表示されます。

③ 決定します。

6 選んだ設定を決定します。

[NR]を選んで決定します。

※ VR モードのディスクをセットした場合に変更が可能です。

マニュアルモードの録画レートレベルを変更する

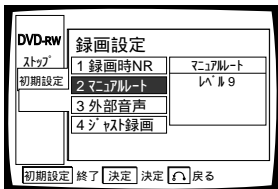
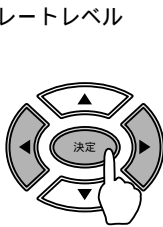
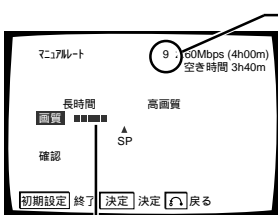
MN（マニュアルモード）で録画するときの録画レートレベルを変えたいときに設定を変更します。
出荷時の設定は、「レベル 9（240 分)」になっています。マニュアルレートを変更しておくと、録画時にモードを変更するだけで簡単に好みのレートに切り換えることができます。
録画モード切り替え時に変更することもできます。（「テレビ番組を録画します 7」P.53 参照）

● P.51「録画レートのレベルは」を参考にお読みください。

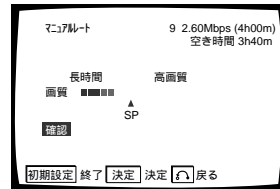
この設定を変更すると、本機の録画モードが自動的にマニュアルモードに切り換わります。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 [録画設定] を選びます。

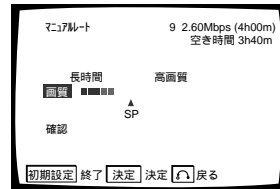
3 「マニュアルレート」を選びます。

4 好みのレートレベルを選びます。

画質が大きく変化するレートレベルの境界は色が変わります。

5 録画時の画質を確認します。

① [確認]を選び、決定します。

② 選んだ画質で映像が表示されますので、確認します。

③ 終了します。

● レートレベルを再設定するときは、（戻る）ボタンを押します。操作 4 に戻ります。

6 選んだ設定を決定します。

[画質]を選んで決定します。

※ビデオモードの場合、表示されるメニュー項目内容が異なります。
※ DVD-RW、DVD-R ディスクをセットした場合に変更が可能です。

外部入力の音声を選ぶ

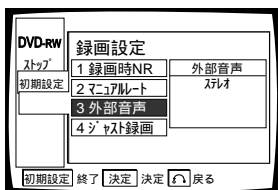
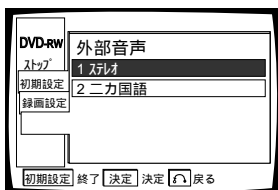
本機につないだ外部機器から入力される音声を選びます。

外部機器から二カ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）付きの映像を録画する場合は、必ず「二カ国語」を選択してください。「ステレオ」で録画すると、再生時に２つの音声が重なって聞こえます。「二カ国語」で録画すると、VR モードでは再生時に主音声と副音声を切り換えることができます。またビデオモードでは、「２カ国語時」（P.120）で設定している方の音声のみが記録されます。

※ デジタル出力の場合、再生時に二カ国語放送の音声を切り換えることはできません。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［録画設定］を選びます。

3 ［外部音声］を選びます。

4 音声の種類を選び、決定します。

ステレオ：　左右のスピーカーから音声を出します（出荷時の設定）。
二カ国語：　主音声、副音声を切り換えることができます。ファイナライズしていないビデオモードのディスクがセットされているときには、二カ国語時で設定している音声で再生します。

※ VR モードのディスクをセットした場合に変更が可能です。

ジャスト録画機能をオン・オフする

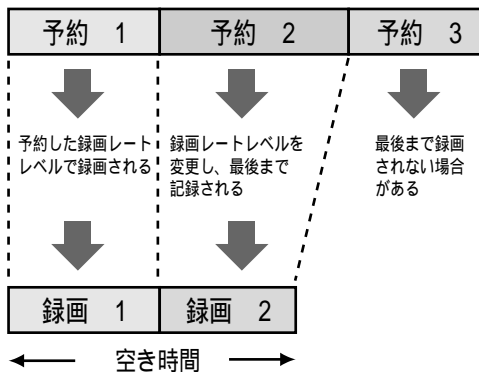
ディスクの空き時間不足で予約録画の番組が録画しきれないとき、予約録画開始前に自動的に録画レートレベルを変更し、できるだけその番組が録画できるようにします。そのため録画する際に画質が落ちる場合があります。
出荷時の設定は「オフ」になっていますので、ジャスト録画機能を働かせたい場合には「オン」に設定してから予約録画してください。

- **予約録画（タイマー、G コード予約）またはディスク予約録画のときのみ有効です。手動操作による録画、ワンタッチ録画、CS 録画のときにはジャスト録画機能は働きません。**
- **録画レートレベル1でも空き時間が足りない場合は、レベル1で可能なところまで録画します。**
- **予約録画をすべて録画する機能ではありません。予約した順に録画し、次に予約されている番組が設定されている録画レートでは録画しきれないときにジャスト録画が働きます。そのあとに予約されている番組は最後まで録画されない場合があります。**

1 **停止中に初期設定画面を表示します。**

2 **[録画設定] を選びます。**

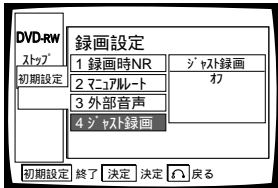
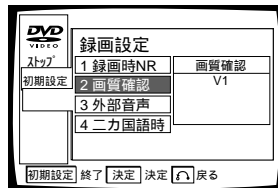
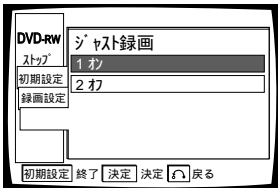
3 **[ジャスト録画] を選びます。**

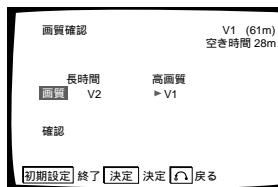
4 **[オン] を選び、決定します。**

※ビデオモードのディスクをセットした場合に変更が可能です。

画質を確認する

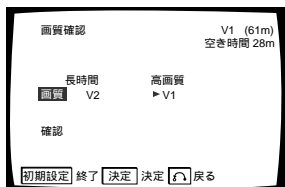
ビデオモードで録画するときの画質（「V1」または「V2」）を確認、変更します。出荷時には「V1」に設定されています。

1 **停止中に初期設定画面を表示します。**

2 **[録画設定] を選びます。**

3 **[画質確認] を選びます。**

4 **確認する画質を選びます。**

① 「V1」または「V2」に▶を合わせます。

②「確認」を選び、決定します。
録画するときの画質を確認してください。

③「終了」を選び、決定します。

5 確認した画質を録画モードに設定する

［画質］を選んで決定します。

● 録画モードを変更しない場合、(戻る) ボタンを押してください。

※ファイナライズしていないビデオモードのディスクをセットした場合に変更が可能です。

二カ国語のときの音声を選ぶ

録画する番組が二カ国語放送の場合、主音声または副音声のどちらの音声を記録するかを選びます。

録画時にはここで選択した音声のみが記録され、再生時に音声の切り替えはできません。

※ VRモードの場合、どちらの音声も記録されますので、再生時に切り換えることができます。

1 停止中に初期設定画面を表示します。

2 ［録画設定］を選びます。

3 ［二カ国語時］を選びます。

4 音声を選び、決定します。

● 出荷時の設定は「主音声」になっています。

ディスクに関する設定を行います

※ VR モードのディスクをセットした場合に変更が可能です。

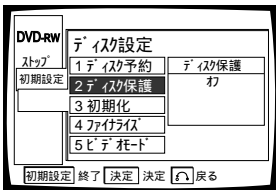
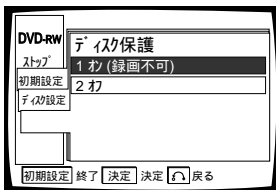
録画・編集を不可にする（ディスク保護）

録画したディスクを保護します。保護したディスクは、録画・編集などディスクの内容を変更する操作ができなくなります。また、ディスク保護を解除するときも、この操作を行います。保護を解除したディスクは再び録画や編集が可能になります。

1 VR モードのディスクを本機にセットします。

2 停止中に初期設定画面を表示します。

3 ［ディスク設定］を選びます。

4 ［ディスク保護］を選びます。

5 ［オン］を選び、決定します。

オン：ディスクを録画、編集不可に設定します。
オフ：録画、編集不可の設定を解除します。

6 確認として「はい」を選び、決定します。

※ DVD-RW ディスクをセットした場合に変更が可能です。

ディスクを初期化する（内容を全て消去）

ディスクの内容をすべて消去します。

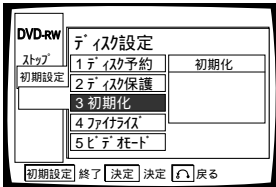
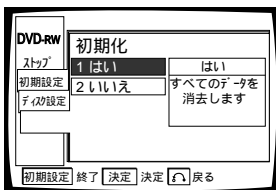
大切な内容を消去しないように中身を確認してから行ってください。

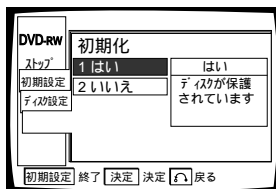
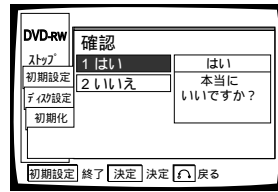
1 DVD-RW ディスクを本機にセットします。

2 停止中に初期設定画面を表示します。

3 ［ディスク設定］を選びます。

4 ［初期化］を選びます。

DVD-RW
ｽﾄｯﾌﾟ
初期設定
ﾃﾞｨｽｸ設定
1 ﾃﾞｨｽｸ予約
2 ﾃﾞｨｽｸ保護
3 初期化
4 ﾌｧｲﾅﾗｲｽﾞ
5 ﾋﾞﾃﾞｵﾓｰﾄﾞ
初期化
初期設定 終了 決定 決定 戻る

VR モードの場合

5 ［はい］を選び、決定します。

● ディスク保護がオンのときは下の画面が表示されます。ここで［はい］を選ぶと 6 へ進みます。
※ ディスク保護は効きません。

6 もう一度［はい］を選び、決定します。

ﾃﾞｨｽｸを初期化しています
しばらくお待ちください
残り1分

※ 初期化が終わると、操作 3 の画面へ戻ります。それまでお待ちください。

ディスクをファイナライズする

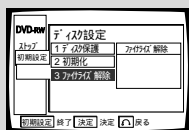
ビデオモードで録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生する時やVRモードで録画したディスクが他のDVD-RW対応プレーヤーで再生されない場合にファイナライズを行い、再生できるようにします。

＊ 詳しくは、P.12「ファイナライズについて」を参照してください。

＊ 通常のDVD-VIDEOプレーヤーは、VRモードの再生に対応していません。

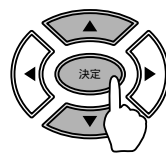
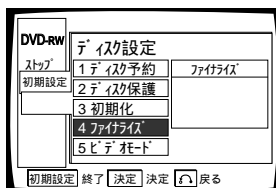
- **本機で一度ファイナライズしたディスクは再びファイナライズする必要はありません。（一度ファイナライズしたディスクでは、操作 4 の画面で［ファイナライズ］の項目が表示されません。）**
- **本機でファイナライズした VR モードのディスクは、通常通り録画や編集などを行うことができます。**
- **本機でファイナライズしたビデオモードのディスクには、ディスクのメニューが作成されます。そのあとは、録画、編集することができません。**

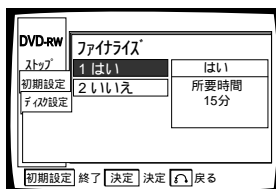
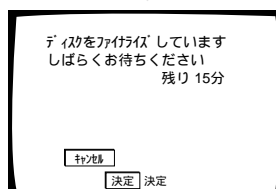
他機でファイナライズされた DVD-RW ディスクをセットし、［ディスク設定］を選んだ場合に、［ファイナライズ解除］という項目が表示されることがあります。（下図）

この時、［ファイナライズ解除］を行うと本機で録画や編集が可能になります。

1 ディスクを本機にセットします。

2 停止中に初期設定画面を表示します。

3 ［ディスク設定］を選びます。

4 ［ファイナライズ］を選びます。

VR モードの場合

5 時間を確認し、よろしければ［はい］を選びます。

※ ディスクの種類および録画されている時間・タイトル数によって所要時間には幅があります。VR モードのディスクで数分～ 1 時間、ビデオモードディスクで数分～ 20 分くらいで、未録画部分が多いほどファイナライズに時間がかかります。

- 途中で止めたいときには、［キャンセル］が表示されているときに選び、決定します。
- ビデオモードのディスクでは、途中でファイナライズをキャンセルすることはできません。

※ ファイナライズが終わると、操作 3 の画面へ戻ります。それまでお待ちください。

※ DVD-RW ディスクをセットした場合に変更が可能です。

ビデオモードに変更する

DVD-RWディスクの記録フォーマットを変更します。VR モードからビデオモード、ビデオモードから VR モードに変更することができますが､どちらも初期化が行われますので、すべての内容が消去されます。

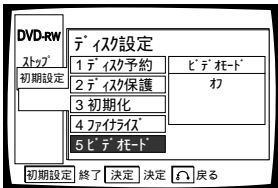
Ver1.0のディスクではビデオモードに変更できません（P.10）。

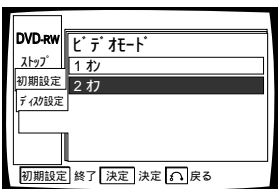
1 DVD-RW ディスクを本機にセットします。

2 停止中に初期設定画面を表示します。

3 ［ディスク設定］を選びます。

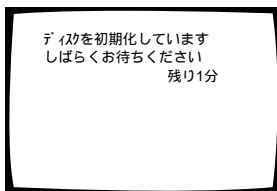
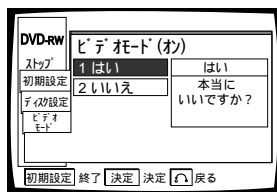
4 ［ビデオモード］を選びます。

DVD-RW
ｽﾄｯﾌﾟ
初期設定
ﾃﾞｨｽｸ設定
1 ﾃﾞｨｽｸ予約
2 ﾃﾞｨｽｸ保護
3 初期化
4 ﾌｧｲﾅﾗｲｽﾞ
5 ﾋﾞﾃﾞｵﾓｰﾄﾞ
ﾋﾞﾃﾞｵﾓｰﾄﾞ
ｵﾌ
初期設定 終了 決定 決定 戻る

VR モードの場合

5 ［オン］または「オフ」を選び、決定します。

オン：VRモードのDVD-RWディスクをビデオモードに変更します。ビデオフォーマットに初期化し直すため、すでに録画されている内容はすべて消去されます。

オフ：ビデオモードのDVD-RWディスクをVRモードに変更します。VRフォーマットに初期化し直すため、すでに録画されている内容はすべて消去されます。

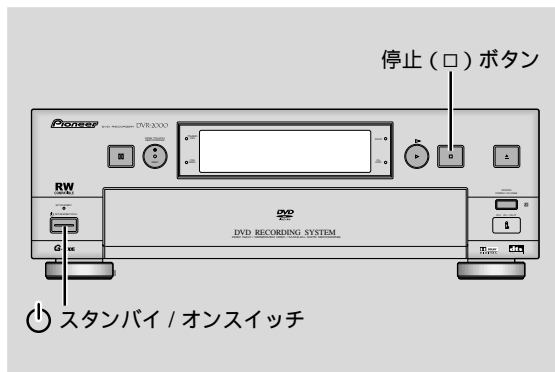
6 ［はい］を選び、決定します。［上下・決定］

ﾃﾞｨｽｸを初期化しています
しばらくお待ちください
残り1分

※ 初期化が終わると、操作 **3** の画面へ戻ります。それまでお待ちください。

すべての設定を出荷時に戻します

この操作を行うと、時刻の設定、ラストメモリー（P.32）、コンディションメモリー（P.46）、プログラム（P.36）など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前には十分にご注意ください。

1 **停止中に、停止（□）ボタンを押しながら、本体の ⏻ スタンバイ / オンスイッチを押してパワーオフします。**

すべての初期設定が出荷時の設定に戻ります。

困ったとき！？

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。
ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。

P.xx は『最初にお読みください』のページ数です。

電源が入らない

・電源コードをコンセントに正しく接続してください（P.9/12）。

電源が自動的にオン / スタンバイになる

・ジャストクロック機能による動作であり、故障ではありません（P.36）。

ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう

・ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください（P.22）。
・ディスクをクリーニングしてください(P.9)。
・DVD-VIDEOの場合、リージョン No.が一致しているか確認してください (P.12/131)。

画面が映らない

・接続が正しいか確認してください (P.4～19)。
・TVまたはAVアンプ側で本機をつないだ入力端子を選択してください。
・ディスクをクリーニングしてください (P.9)。
・DVD-VIDEOの場合、リージョン No.が一致しているか確認してください(P.12/131)。

再生できない

・ディスクをクリーニングしてください (P.9)。
・ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください (P.22)。
・DVD のリージョン No. が一致しているか確認してください (P.12/131)。
・本機の内部の結露を除去してください (P.133)。
・PAL/SECAM 方式のディスクは再生できません。
・ディスクを表裏正しく入れてください。

設定内容が消える

・電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードはかならず本体の⏻スタンバイ／オンボタン、またはリモコンの電源ボタンを押して、表示窓の「-OFF-」表示が消えてから、抜いてください。

画面が止まり、操作ボタンを受け付けない

・停止(■)ボタンを押してから、もう一度再生してください。

マークが画面に出る

・ディスクの情報を読み書きしていますので、もうしばらくお待ちください (P.11)。

マークが画面に出る

・ディスクがその操作を禁止しています (P.11)。

マークが画面に出る

・プレーヤーがその操作を禁止しています (P.11)。

リモコンで操作できない

・本体後面のコントロール入力端子が接続されてるときは、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください (P.14)。
・[リモコンモード]でリモコンの設定番号と本機の設定番号が合っていることを確認してください (P.107)。
・リモコンの使用範囲で操作してください (P.19)。
・リモコンの電池を新しいものと交換してください (P.3)。

スピーカーから音が出ない、音が歪む

・テレビまたはAVアンプなどの音量が「MIN」になっている場合はボリュームを上げてください。
・一時停止またはスロー再生になっていたら再生にしてください (P.23/30)。
・DTS 収録の DVD の音声は、デジタル出力端子のみから出力されます。本機のデジタル出力をDTS対応アンプまたはデコーダーのデジタル入力端子へ接続してください (P.11)。デジタル出力の設定がオンになっているか確認してください。（P.37）。
・初期設定画面の［基本設定］→［デジタル変換］→［リニアPCM］の設定が「96kHz」になっていないか確認してください。ディスクによっては、リニアPCM音声の96kHzデジタル出力を禁止しているものがあります (P.38)。
・音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください（P.9/11/13/14/16/17/19）。
・接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。
・接続プラグや端子が汚れていたらふいてください。
・[REC LEVEL]ツマミが MIN になっていませんか？(P.50)
・[REC LEVEL]ツマミをMAX側に回しすぎていませんか（音が歪む）？ (P.50)
・ディスクをクリーニングしてください (P.9)。

外部映像入力時にワイド画面に切り換わらない

・コピーガード入りの信号ではありませんか？（P.51）
・本機のL1～L3は、アスペクト信号（ID-1）に対応して、ワイド切り換えを行います。よって接続されている機器がID-1に対応していない場合は、ワイドにならない場合があります（P.39）。

外部映像入力時に画像が乱れる

・コピーガード入りの信号ではありませんか？（P.51）
コピーガード入りの信号は本機を通さず、直接TVに接続することをおすすめします。

画面が縦または横に伸びている

・お使いのテレビに合わせて画面の縦横比の設定を行ってください（P.39）。
・上記で設定できない場合は、テレビ側で設定してください。

DVDプレーヤーで再生できない

・ビデオモードのディスクの場合は、ファイナライズを行ってください。
・再生できないDVDプレーヤーがあります。
・VRモードのディスクは、RW対応のDVDプレーヤーでないと再生できません。（ファイナライズをする必要があることもあります。）

二カ国語の音声が切り換えられない

・アナログ接続を行ってください(P.11)。
・デジタル出力にしている場合、切り換えることができません(P.11)。
・ステレオモードで録画されたものは、再生時には切り換えできません(P.118)。
・ビデオモードで録画されたものは再生中に切り換えできません。
・ファイナライズされていないビデオモードディスクがセットされている場合は、録画設定の二カ国語時を切り換えてください（P.120）。

DVD再生中に画像が乱れる、または暗い

・本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクを再生すると、一部画像に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません (P.9)。

DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる

・本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません (P.9)。

テレビなどが誤動作する

・ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

録画ができない

・録画ディスクの空き時間は足りているか確認してください(P.50/58)。
・ディスクが保護されていないか確認してください(P.121)。
・オリジナルのタイトル数が99になっていないか確認してください(P.50/58)。
・録画が禁止された映像を録画しようとしていないか確認してください(P.9/51)。
・予約待ちの間または予約録画中に停電がなかったか確認してください。
・予約録画の時間が重なっていないか確認してください(P.58/59)。
・録画チャンネルを合わせるときに、DVD（本機）のチャンネル切り換えボタンを操作したか確認してください（P.52）。

DVD-RWディスクにビデオモードで録画できない

・Ver 1.0のDVD-RWディスクにはビデオモードでの録画はできません。Ver 1.1以降のディスクを使用してください（バージョンはジャケットの裏面などに表示されています）。

BS放送の映像が出ない・乱れる

・BSアンテナ電源スイッチは「入」になっているか確認してください（P.7）。
・BSアンテナの向きはずれていないか確認してください。

ディスクナビ画面、編集画面がずれる

・DVDレコーダー「DVR-1000」で録画、編集したディスクを本機で再生するとディスクナビ画面や、編集画面が多少ずれることがありますが、これは故障ではありません。

DV端子に接続したカメラの映像が映らない/音が出ない

・コピーガードが入っている映像は見られません。
・接続を確認してください(P.17/18)
・一旦電源を切り、ふたたび入れ直してみてください。
・DVケーブルを接続し直してください。
・DVCリンクをオフにしてみてください（P.104）。
・DV入力音声を切り換えてください（P.103）。
・初期設定画面の[基本設定]→[デジタル変換]→[リニアPCM]の設定が96kHzになっていないか確認してください（P.38）。

DV端子に接続したカメラが本機のリモコンで操作できない

・DVCリンクをオフにしてください（P.104）。
・接続したカメラの機種によっては、操作できないものもあります。

ご注意：静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。
このようなときは、電源コードを一度抜いてしばらくしてから、再び差し込むことで正常に動作する場合があります。
これで解決しないときは、最寄りの弊社サービスステーションにご相談ください。

テレビ画面や本体表示窓にこんな表示が出たら

（テレビ画面） **このディスクは録画できません。ファイナライズ解除してください。**

他社レコーダーなどでファイナライズされたディスクに録画しようとした場合に表示されます。
「初期設定」の中の「ディスク設定」で「ファイナライズ解除」してください（P.123）。

（テレビ画面） **ディスクが一杯です**
（本体表示窓） **DISC FULL**

録画した結果、ディスクがいっぱいになったとき、あるいは空き時間がないディスクに録画しようとした場合に表示されます。
DVD-RWディスクの場合はオリジナルタイトルの消去（P.92）、A-B消去（P.93）などを行うと空き時間を増やせます。

（テレビ画面） **ディスクが保護されています**

ディスク保護がオンされているディスクに録画や編集をしようとした場合に表示されます。
録画・編集を実行したい場合は、「初期設定」の中の「ディスク設定」でディスク保護を解除してください（P.121）。

（テレビ画面） **初期化できませんでした**
（テレビ画面） **ファイナライズできませんでした**
（テレビ画面） **ファイナライズ解除できませんでした**

以上の表示が出た場合は、一度ディスクを取り出してディスクのキズ、汚れなどを確認して、汚れなどがある場合は、汚れを取り除いてから再度実行してください。

（テレビ画面） **ディスクを修復できませんでした**

録画中に停電があった場合、停電回復後データの修復を自動的に行いますが、その修復ができなかった場合表示されます。
この場合、停電発生時に録画していたタイトルは失われた可能性があります。

（テレビ画面） **録画スタンバイ中です**
（本体表示窓） **STAND BY**

DVD-Rディスクで録画を準備中のときに表示されます。

（テレビ画面） **ディスクに情報を記録しています**
（本体表示窓） **STOP WAIT**

録画終了時やディスクの取り出し時に表示されます。

（テレビ画面） **録画停止まで最長30秒かかります**

ビデオモード録画中で停止ボタンを押したときに、30秒単位になるまで録画を継続しているときに表示されます。

（テレビ画面） **これ以上タイトル録画できません**

VRモードのオリジナルタイトルまたはビデオモードのタイトルが、すでに99存在するときに表示されます。

（テレビ画面） **このディスクは録画できません**

一度ディスクを取り出して、ディスクのキズや汚れなどを確認し、汚れなどがある場合は汚れを取り除いてください。

（テレビ画面） **DVカメラが接続されていません**

デジタルビデオカメラが接続されていないか、デジタルビデオカメラの電源がオフされているときに表示されます。

（テレビ画面） **パワーオフされています**

デジタルビデオカメラの電源がオフされているときに表示されます。（ほとんどの場合、「カメラが接続されていません」のほうが表示されます）

（テレビ画面） **複数のカメラは接続できません**

本機のDV端子にデジタルビデオカメラが二台以上接続されています。本機のDV端子は、一台のデジタルビデオカメラの接続しかサポートしていません。

（テレビ画面） **カセットがありません**

デジタルビデオカメラにカセットが入っていない場合に表示されます。

(テレビ画面) **停止または再生モードにしてください**

デジタルビデオカメラがカメラモードか録画一時停止中のときに表示されます。

VTR モードにするか録画を停止してください。

(テレビ画面) **DV カメラの録画を停止してください**

デジタルビデオカメラが録画中のときに表示されます。DV 取込を行う場合には、デジタルビデオカメラの録画を一度停止してください。

(テレビ画面) **再生が停止されました**

デジタルビデオカメラのカセットを最後まで再生して停止した場合などに表示されます。

(テレビ画面) **このソースは録画が許されていません**

コピーガード信号が入った映像が入力されたときに表示されます。

(テレビ画面) **DV カメラが動作しませんでした**

デジタルビデオカメラが動作しなかったときに表示されます。この場合、DVC リンク(P.104)をオフにすると正しく動作する場合があります。

(テレビ画面) **録画スタンバイできませんでした**

録画準備に失敗したときに表示されます。
一度ディスクを取り出して、ディスクのキズや汚れなどを確認し、汚れなどがある場合は汚れを取り除いてください。

用語解説

A モード
BSで送信される音声の種類のひとつで、音質はFM放送なみです。4 チャンネルのうち 2 チャンネルを使って独立音声が放送されることがあります。
サンプリング周波数：32 kHz
量子化：14/10 ビット　準瞬時圧伸方式

B モード
BS で送信される音声の種類のひとつです。
CD なみの高音質が楽しめるので、音楽番組などで使われます。
サンプリング周波数：48 kHz
量子化：16 ビット　直線量子化方式

DTS
Digital Theater Systems の略です。DTS はドルビーデジタルと異なるサラウンドシステムの 1 つです。

DTSディスクを楽しむには、本機のデジタル出力端子とDTS対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVD では、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものがあります。

PCM
Pulse Code Modulation の略でデジタル音声のことをいいます。CD や DVD のデジタル音声が PCM です。

VBR コントロール
Variable Bit Rate コントロールの略で、動きの早い部分や色の移り変わりの激しいところなどの複雑な映像には符号量を多く割り当て、逆の場合には少なく割り当てるというようにビットレート（一定時間に転送する符号量）を可変で制御することです。
いつも同じ符号量を割り当てる CBR（Constant Bit Rate）コントロールに比べ、同じ時間の映像を同じ容量を使って録画した場合、飛躍的に画質が向上します。

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4：3 ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは 16：9 の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

アンテナレベル
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどに影響を受けます。

検波
衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

コピーガード
複製防止機能のことです。著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画する事ができません。

コンディションメモリー
コンディションとは、状態などを指します。本機は、再生しているときのさまざまな状態を記録しておき、再び同じディスクを楽しむときに、再設定をせずに再生できる機能を持っています。

シネスコサイズ
映像ソフト画面の縦横比が 1:2.35 になっているものをこのように呼びます。ビスタサイズよりも横長になります。一般的には黒帯に字幕の入る映画などの画像サイズです。

字幕言語
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国分記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめます。

スクランブル
映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器（デコーダなど）が必要です。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮すると、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

チューナー

電波を受け入れて各チャンネルに合わせるための機器です。本機はテレビチューナー（VHF/UHF）および BS チューナーを内蔵しています。

デコーダ

BS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

独立音声放送

BS放送では、ひとつのチャンネルでテレビ画面の音声とは別の、音声だけの放送がされている場合があります。これが独立音声放送です。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大 5.1 チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

視聴制限

暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

光デジタル出力

通常、音声は電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、音声をデジタル信号に変えて、光ファイバーに出力できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります）。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の縦横比が 1:1.85 になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の 1 つを番組ディレクターが選んで各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。

ビットストリーム

衛星から送られてくるデジタル信号のことです。信号には音声信号とデータ信号が含まれています。

リージョン No.

DVD プレーヤーと DVD ディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。
●本機のリージョン NO. は後面部に表示されています。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書はかならず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から１年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

P.126/127「困ったとき！？」に従って調べていただき、かならず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

連絡していただきたい内容について

・品名　DVD レコーダー
・型番　DVR-2000
・お買上げ日
・故障の状況　「できるだけ具体的に」
　　　　　　　「ディスクのタイトル」
・ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」
・お名前
・電話番号
・訪問ご希望日

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

正しく、末永くお使いいただくために

再生中および録画中は本機を絶対に動かさない

再生中および録画中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり、動かしたり、たたいたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

再生中および録画中は電源コードを絶対に抜かない

再生中および録画中に電源コードを抜いてしまうと本機が故障したりディスクを破損する恐れがあります。STANDBY インジケーターが消灯しているときには電源コードを抜かないでください。

本機を移動する場合

本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、かならずディスクを取り出し、ディスクテーブル開閉(⏏)ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから、電源を「STANDBY」にし、STANDBYインジケーターが点灯してから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動しますと故障の原因となります。

設置する場所

● 組み合わせて使用するテレビや他の機器のそばの安定した場所を選んでください。
● テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

● 直射日光のあたる所
● 湿気の多い所や風通しの悪い場所
● 極端に暑い所や寒い所
● 振動のある所
● ほこりの多い所
● 油煙、蒸気、熱などがあたる所(台所など)

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

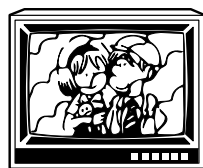
熱を受けないように

アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合は、アンプや他の機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

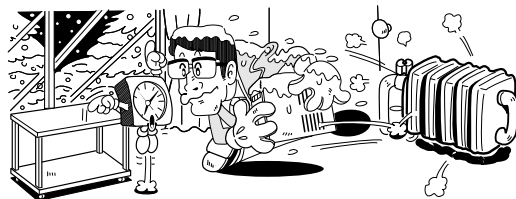
ガラスドアを閉めたまま、リモコンのオープン / クローズボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

本機を使わないときは電源を切っておく

テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビやラジオをつけると画面にしま模様が出たり、雑音が出る場合がありますが、本機やテレビ、ラジオの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、本機の電源コードを抜いた状態でしばらく放置させ、完全に本機が乾燥するまで待ってから電源を入れてください。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

仕　様

一般

電源 .... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 75 W
（BS アンテナ電源使用時）
スタンバイ時消費電力 .... 3 W 以下
（ただし、FL OFF 時）
外形寸法（W×D×H）........ 420 × 389 × 144 mm
本体質量 .... 8.5 kg
許容動作温度 .... ＋ 5℃〜＋ 35℃
許容動作湿度 .... 5%〜 85%（結露のないこと）
テレビジョン方式
　ＮＴＳＣ方式 .... 525 本 60 フィールド

記録

記録フォーマット .... DVD-VideoRecording
DVD-VIDEO
記録可能ディスク .... DVD-ReRecordable
（リライタブル）
DVD-Recordable
（レコーダブル）

映像記録 .... 量子化 8 ビット
サンプリング周波数 .... 13.5 MHz
圧縮方式 .... MPEG

音声記録 .... 量子化 20 ビット
サンプリング周波数 .... 48 kHz
圧縮方式 .... Dolby Digital

記録時間
　DVD-RW（VR モード）
　標準 .... 約 2 時間
　マニュアルレート .... 約 1 〜 6 時間
　DVD-R・DVD-RW（ビデオモード）
　V1 .... 約 1 時間
　V2 .... 約 2 時間

再生

再生可能ディスク .... DVD-VIDEO
DVD-ReRecordable
（リライタブル）
DVD-Recordable
（レコーダブル）

チューナー

受信チャンネル
　ＶＨＦ .... 1 〜 12 ch
　ＵＨＦ .... 13 〜 62 ch
　CATV .... C13 〜 C 38 ch
　ＢＳ .... 1、3、5、7、9*、11、13、15 ch
　* 本機は BS9 のハイビジョン放送は受信できません。

タイマー

プログラム数 .... 1ヶ月 8 プログラム
時計 .... クオーツロック、12 時間デジタル表示
停電補償時間 .... 約 48 時間

入出力端子

VHF/UHF アンテナ入出力 .... VHF/UHF 1軸
75 Ω F 型コネクター
ＢＳアンテナ入出力 .... 75 Ω F 型コネクター
アンテナ電源出力 .... DC15 V、最大 4 W
映像入力.. 入力 1、2（リア）、3（フロント）の 3 系統
ピンジャック：1 V p-p（75 Ω不平衡）
映像出力 .... 出力 1、2 の 2 系統
ピンジャック：1 V p-p （75 Ω不平衡）
Ｓ映像入力... 入力 1、2（リア）、3（フロント）の 3 系統
　4 ピンミニＤＩＮ .... Y＝1 V p-p（75 Ω 不平衡）
C＝0.286 V p-p（75 Ω 不平衡）
Ｓ映像出力 .... 出力1、2 の 2 系統
　4 ピンミニＤＩＮ .... Y＝1 V p-p（75 Ω 不平衡）
C＝0.286 V p-p（75 Ω 不平衡）
音声入力... 入力 1、2（リア）、3（フロント）の3系統
（L/R）
　ピンジャック .... 2 V rms
（入力インピーダンス 22 k Ω以上）
音声出力 .... 出力1、2 の 2 系統（L/R）
　ピンジャック .... ２００mV rms
（1 kHz -20dB、出力インピーダンス 1.5 k Ω以下）
ＳＲ入力／出力 .... ミニジャック各 1
デジタル音声出力
　光 角型光ジャック１系統
　ピンジャック .... 0.5 V p-p（75 Ω 不平衡）
検波入力／出力
　ピンジャック .... 0.67 V p-p（75 Ω 不平衡）
ビットストリーム入力／出力
　ピンジャック .... 0.5 V p-p （75 Ω 不平衡）
コンポーネント出力
　Y .... ピンジャック 1 V p-p（75 Ω 不平衡）
　C_B、C_R .... ピンジャック 0.7 V p-p（75 Ω 不平衡）
DV 入出力 .... 4 ピン（i.LINK/IEEE1394 準拠）1 系統
D1 出力
　Y .... 1Vp-p（75 Ω不平衡）
　C_B、C_R .... 0.7Vp-p（75 Ω不平衡）

■ 付属品

RF アンテナケーブル 1
オーディオケーブル 1
ビデオケーブル 1
電源コード 1
単 3 形乾電池 2
アンテナアダプタ（F 接栓用変換器）........................ 1
ワイヤレスリモコン 1
クリーニングクロス 1
取扱説明書（本書）.. 1
最初にお読みください 1
操作早見表 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
保証書 1
安全上のご注意 1
ご注意 1

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

設定項目別さくいん

初期設定画面や編集の設定画面では、さまざまな設定を行うことができます。項目名や選択肢からではどんな設定を行うのか分からないとき、本書で説明しているページを、このさくいんで知ることができます。

● 設定を変える項目 （[初期設定]ボタン）

・セットしているディスクの種類やモードによって表示される項目が変わります。はじめに、セットしたディスクの種類やモードを確認してください（P.10/11）。

・（　）の数字は別冊『最初にお読みください』のページ数です。

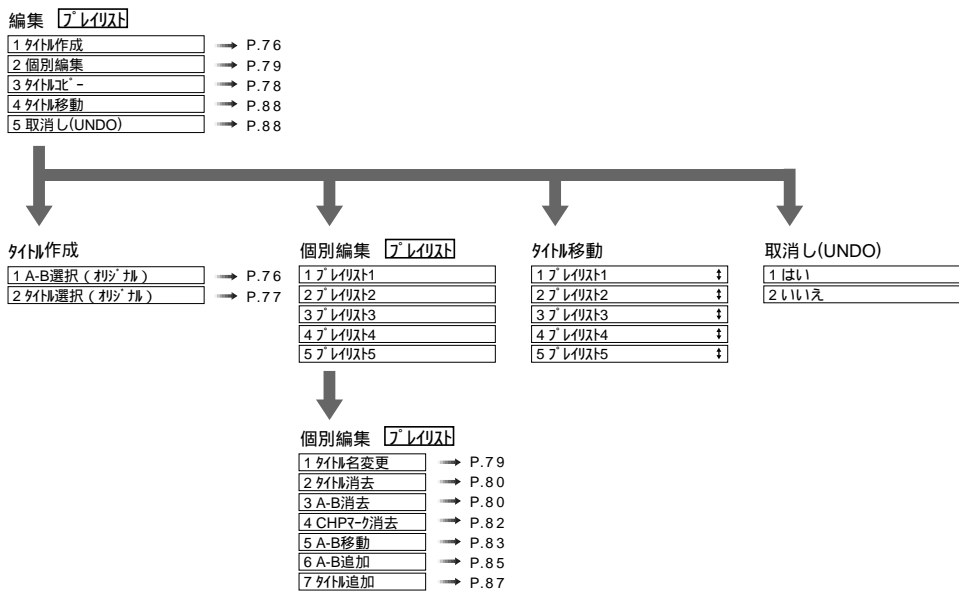
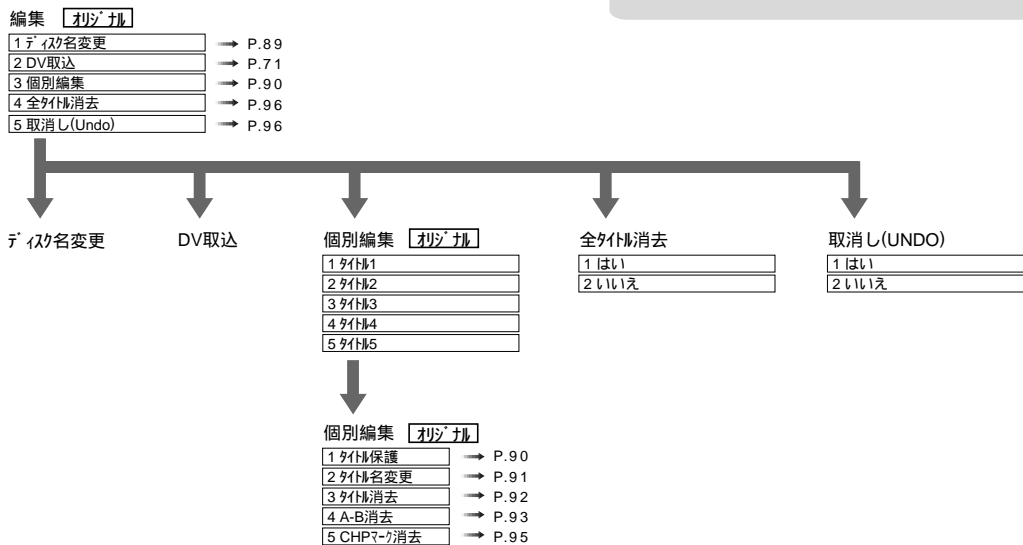
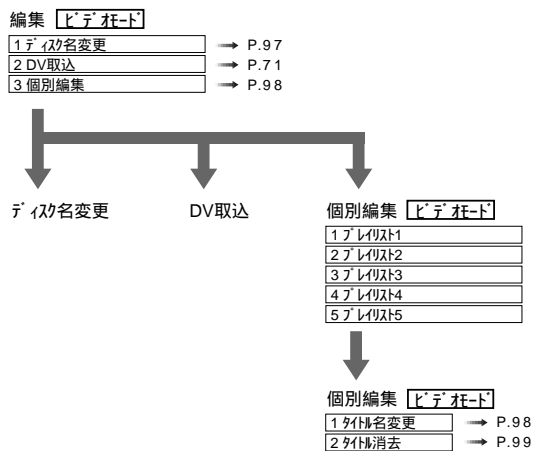
ディスクをセットしていないとき

VRモードのディスクをセットしているとき

ビデオモードのディスク（DVD-VIDEOを含む）をセットしているとき

※1　DVD-RWまたはDVD-Rのときに表示されます。
※2　DVD-RWの時のみ表示されます。

●編集の項目 ([編集]ボタン)

VRモードのディスクをセットしているとき

・オリジナルとプレイリストの項目の切り換えは、[オリジナル/プレイリスト] ボタンで行います。
・複数のタイトルを作成していないと表示されない項目があります。

ビデオモードのディスクをセットしているとき

・ファイナライズ（P.12、P.123）を行った後は、これらのメニューは表示されません。

さくいん

※（　）の数字は、別冊『最初にお読みください』のページを示しています。

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら 行

わ 行

ア ルファベット (A～Z)

著作権について

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープやディスクを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人　日本音楽著作権協会（JASRAC・音権協）

本　　部	TEL	03(3481)2121	(大代表)
北海道支部	TEL	011(221)5088	(代表)
盛岡支部	TEL	019(652)3201	(代表)
仙台支部	TEL	022(264)2266	(代表)
長野支部	TEL	026(225)7111	(代表)
大宮支部	TEL	048(643)5461	(代表)
上野支部	TEL	03(3832)1033	(代表)
東京支部	TEL	03(3562)4455	(代表)
西東京支部	TEL	03(3232)8301	(代表)
東京ｲﾍﾞﾝﾄ・ｺﾝｻｰﾄ支部	TEL	03(5286)1671	(代表)
立川支部	TEL	0425(29)1500	(代表)
横浜支部	TEL	045(662)6551	(代表)
静岡支部	TEL	054(254)2621	(代表)
中部支部	TEL	052(583)7590	(代表)
北陸支部	TEL	076(221)3602	(代表)
京都支部	TEL	075(251)0134	(代表)
大阪支部	TEL	06 (6244)0351	(代表)
神戸支部	TEL	078(322)0561	(代表)
中国支部	TEL	082(249)6362	(代表)
四国支部	TEL	0878(21)9191	(代表)
九州支部	TEL	092(441)2285	(代表)
鹿児島支部	TEL	099(224)6211	(代表)
那覇支部	TEL	098(863)1228	(代表)

（2000年9月現在）

本機の接続、操作、技術相談に関するお問い合わせは(全国共通フリーコール)

テクニカルサポートセンター　**0088-22-8102**

受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00（ただし、土曜日、日曜日、祝日、弊社休日は除く）

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　フリーフォン **0070-800-8181-22**

● カタログのご請求窓口　フリーフォン **0070-800-8181-33**

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

お客様メモ

高調波ガイドライン適合品

● おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年　月　日	型番	DVR-2000

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TOGFF/00J00001>　<VRA1184-A>